

漁港関係工事工種体系化の手引き・数量算出要領

令和6年(2024年) 2月20日(改定版)

[2023.10]

北海道建設部

工事工種体系とは

北海道建設部及び建設管理部が施工する土木事業の契約・積算について、透明性・客観性を向上し、発注者・受注者間の共通認識の形成を図るため、「契約図書を誰がつくっても同一のものになる」ように、請負工事、測量・調査・設計業務の発注に際して作成される数量総括表(設計図書)や設計書・見積用参考資料(参考資料)について、その構成・記述方法の標準化を行っています。この構成・記述方法の標準化が「工事工種体系化」です。

漁港関係工事数量算出要領とは

北海道建設部では、建設管理部が施工する土木工事にかかる工事費用の積算及び契約における透明性・客観性を向上し、発注者・受注者間の共通認識の形成を図るため、「工事工種体系化」を定めています。

この「工事工種体系化」により工事費用を積算するために、各工種ごとに算出する数量の項目、区分及び算出方法を定めたものが「漁港関係工事数量算出要領」です。

漁港関係工事工種体系化の手引き・数量算出要領 の 改定・追加・訂正

適用年月日 (令和6年(2024年)4月1日以降積算基準日適用)

ページ	改 定	現 行	備考
1–19	7. 工事工種体系化および数量集計表の標準様式	7. 工事工種体系化および数量集計表の標準様式	
1 10	7-1 工事工種体系化の基本	7-1 工事工種体系化の基本	
	数量は「漁港関係工事工種体系化の手引き」に記載されている、「工事工種体系化構成表」により 算出することを基本とし、数量集計表の標準様式に従い作成しなければならない。 詳細については「漁港関係工事工種体系化の手引き」による。	数量は「漁港関係工事工種体系化の手引き」に記載されている、「工事工種体系化構成表」により 算出することを基本とし、数量集計表の標準様式に従い作成しなければならない。 詳細については「漁港関係工事工種体系化の手引き」による。	
	7-2 階層 (レベル) 構造の統一	7-2 階層(レベル)構造の統一	
	工事工種体系化では、工事区分(レベル1)、工種(レベル2)、種別(レベル3)、 細別(レベル4)、規格(レベル5)、 <u>積算要素(明示すべき積算条件)(レベル6)</u> と階層構造を 統一している。 各階層の名称および記載順序は、必ず「工事工種体系化構成表」に従い記入する。 ただし、構成表にない項目については適宜、名称を作成することができる。	工事工種体系化では、工事区分(レベル1)、工種(レベル2)、種別(レベル3)、 細別(レベル4)、規格(レベル5)と階層構造を統一している。 各階層の名称および記載順序は、必ず「工事工種体系化構成表」に従い記入する。 ただし、構成表にない項目については適宜、名称を作成することができる。	数量区分の扱いを明確化
	7-3 単位および数位について	7-3 単位および数位について	
	単位の表示および数量の数位は、「5-5 集計数位、計算数位および単位表示」および「第2章 工種ごとの数量算出方法」による。	単位の表示および数量の数位は、「5-5 集計数位、計算数位および単位表示」および「第2章 工種ごとの数量算出方法」による。	
	7 — 4 合計数量欄について	7 - 4 合計数量欄について	
	通常は 「5-5集計数位、計算数位および単位表示」 により丸めた数量を記入する。 複数工区があり集計が必要な場合は、それぞれの工区数量を数量欄右側の3列に記入し、 左端の数量欄にそれらを集計して丸めた物を記入する。 ただし、異なる施設(北防波堤と南防波堤、-3.5m岸壁と-3.0m岸壁など) は集計しないこと。	通常は 「5-5集計数位、計算数位および単位表示」 により丸めた数量を記入する。 複数工区があり集計が必要な場合は、それぞれの工区数量を数量欄右側の3列に記入し、 左端の数量欄にそれらを集計して丸めた物を記入する。 ただし、異なる施設 (北防波堤と南防波堤、-3.5m岸壁と-3.0m岸壁など) は集計しないこと。	
	7 — 5 数 <u>量集計表及び</u> 内訳数量表(当り数量)について	7-5 内訳数量表(当り数量)について	数量集計表
	(1) 数量集計表及び内訳数量表等の標準様式については「土木工事数量算出要領」による。	(1) 細別(レベル4)の数量の中で、細別の中身に細分化が必要なもの、また単位あたりの数量に置き換える必要があるものは、内訳数量表を作成する。(標準様式参照)	内訳数量表 標準様式削
	(2) 細別(レベル4)の数量の中で、細別の中身に細分化が必要なもの、また単位あたりの数量に 置き換える必要があるものは、内訳数量表を作成する。 (標準様式参照)	(2) 数量集計表の内訳数量表欄には、対応する内訳数量表番号を記入する。	(土木参照とす
	(3) 数量集計表の内訳数量表欄には、対応する内訳数量表番号を記入する。		
	(4) 積算委託業務の成果品または設計図書として数量集計表を作成する場合、積算に必要な条件・区分を上記7-2のレベル1~6に準じて算出・記載すること。 ただし、委託業務(積算委託業務を除く)の成果品として数量集計表を作成する場合、レベル6については、当該委託業務では知り得ない情報については条件値の記載を求めないものとする。 (残土や産業廃棄物の運搬距離及びDID区間の有無、時間的制約の有無、その他これらに類するもの)		数量区分(扱いを明確
	1-19	7. 工事工種体系化および数量集計表の標準様式 7-1 工事工種体系化の基本 数量は「海港関係工事工種体系化の手引き」に記載されている。「工事工種体系化構成表」により 第出することを基本とし、数量集計表の標準様式に洗い物成したければならない。 詳細については「漁港関係工事工程体系化の手引き」による。 7-2 開閉 (レベル) 構造の統一 工事工程体系化では、工事区分 (レベル1)、工権 (レベル2)、権別 (レベル3)、 網別 (レベル4)、規格 (レベル5)、提展更素 (明示する食類享集件) (レベル3)、 網別 (レベル4)、規格 (レベル5)、提展更素 (明示する食類享集件) (レベル6)。と附層構造を 終一している。 多種層の多数および歌盤の表位は、「5-5 集計数位、計算数位および単位表示」および 「第2章 工程ごとの数量算出方法」による。 7-3 単位および数位については適宜、名称を作成することができる。 7-4 合計数量欄について 通常は「5-5集計数位、計算数位および単位表示」により丸めた製量を収入する。 接近工区があり集計が必要な場合は、それぞれの工区装置を收集機信側の3列に犯入し、 左腸の表量限にそれらを無計してよりた動を記入する。 大だし、異なる施設 (北方変成と特別支援、-3.6m)学屋と-3.0m)学屋と2.1m)が建など) は集計しないこと。 7-5 数量集計表を认内限数量表 (当り数量) について (1) 数量集計表を以内限数量表 (当り数量) について (1) 数量集計表の変形あるものは、内限を重要を付加るです。(場下降に基金と) 変き換える必要があるものは、内限を重要を付加るで、(場下降に基金)による。 (2) 細別 (レベル4) の数量の中で、細別の中食に細分化が必要なもの、また単位あたりの数量に 置き換える必要があるものは、内限を重要を付加する。(場下降に基金) (2) 数量集計表のの影響を表さして変しままままを作成する場合。レベル をとして工程、当該を表音高では知り得ない情報とついて発生でを集まままを作成する場合。レベル 6については、当該を表音高では知り得ない情報については全体性の影像を形成しまなからないものとする。 (第1・電車を発売の実施を発金の実施を発金と) の単生として変量を開発を作成する場合。レベル 6については、当該を表音高では知りまたり回じに関する。場面的時間の名集、その他とよるに対する。 (第1・電車を発売の実施を開始を発力の実施を開始を対して対しまままままままままままままままままままままままままままままままままま	1-19 7. 工事工程体系のおよび製量計算の標準検索 7-1 工事工程体系のおよび製量計算の標準検索 第21 「高端標本工事工程体系の担条 第21 「高端標本工事工程体系の担条 第21 「高端標本工事工程体系の担条 第21 「高端標本工事工程体系の中では、に対すがいる。「工事工程体系の構造」により 当21 つることをから、、無性対象の重要に対すられている。「工事工程体系の構造」により 当21 つることをから、、無性対象の重要に対象の重要に対象がいる。「工事工程体系の構造」により 32 につるが、「事業で (いへのり、) 様型の技 7-2 間間(いへのり、) 様型の技 7-2 間間(いへのり、) 様型の技 7-2 間間(いへのり、) 様型の技 7-2 間間(いへのり、) 間(いへのり、) 間(いへのう)、他別(かつの)。 通知(いへのも)、機能性・ことが表現をしている。 最近などの関係を対象に対する。「主意はないないない。 「おりましている」、 第21 につるの表現を対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対

漁港関	関係工事 コ	「種体系化の手引き・数量算出要領 の 改定	・追加・訂正	適用年月日 (令和6年(2024年)4月1日以降積算。	基準日適用)
区分	ページ	改 定		現 行	備考
第巻	1-20, 21	削除	T(T(S)	数量集計表 ***********************************	数量集計表、内訳数量表の標準様式削除(土木参照とする)

漁港関係工事工種体系化の手引き・数量算出要領 の 改定・追加・訂正

適用年月日 (令和6年(2024年)2月1日以降積算基準日適用)

分 頁・行						現行	Ţ				1
邻 仮設工-7	全工事共通(仮設工)		工具	F工 種	体	系化構成表					
扁	工種・種別・細別(レベル2)	3,4)規格 (レベル		単位 姜		単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考		
係	除雪工	i w		31 V		X:		X:			
種	(現場内除雪(機	戒))		(時間)	1	除雪費、凍結防止剤散布費		c			
の	(現場内除雪(人)	ל((ל	304	(人日)	1	除雪費					
<u> </u>	(仮囲い屋根部)			(m3)	1	除雪費					
	(工事用道路除雪	I)		10072750	1	除雪費					
<u> </u>	(工事工区内除雪	I)	1	(ine)	-	除書費		E			
種	(人力除雪)			(m3)	1	除重費					
成	(ダンプ搬出除雪)		(m3)	1	搬出除雪費	除雪回数: 搬出先(運搬距離):	3回 〇〇捨場(4.7km)			
港	(防滑材散布)			(t)	1	防滑材散布費				7	
(世	雪寒施設工	01		0. 1.		10		A.	10		
	(ウェザーシェルタ	—)		(基)	1	ウェザーシェルター費					
	(雪寒仮囲い(Pタイ	プ))		(m2)	1	防寒囲い設置・撤去費	足場種類:	手摺先行型枠組足場			
	(雪寒仮囲い(W·PWタイ	プ))		(式) 1	1式	防寒囲い設置・搬去費	枠組足場部面積(S1); 枠組み足場部以外(S2);	OOm2 OOm2			
	(防寒養生)	構造物種別:	鉄筋構造物	(m3)	1	小規模構造物 仮囲い内防寒養生費		100000000000000000000000000000000000000			
	(例本技工/	signature and temporary	Section 114 mar 155	11107	•	仮囲い内断業等生物				II.	
	(例)を校工/	197-000 197-000-197-1	W-1964 11 False 59	Mines	•	改 次 分	=======================================				
_	全工事共通(仮設工)		工員	工種		改 京 系化構成表					
	全工事共通(仮設工)工種・種別・細別(レベル2、3		工員	工種	体数位	改分	明示すべき積算条件	記載例	備考		
	全工事共通(仮設工) 工種・種別・細別(レベル2,3 除雪工	(, 4) 規格 (レベル	工員	事 <u>工</u> 種 ^{単位} 奏	数位	改 元 系化構成表 単価構成内容		記載例	備考		
	全工事共通(仮設工) 工種・種別・細別(レベル2,3 除雪工 (現場内除雪(機材	(4) 規格 (レベル成))	工員	事工 種 単位 麦	数位	改 页 系化構成表 単価構成内容		記載例	備考		
	全工事共通(仮設工) 工種・種別・細別(レベル2,3 除雪工 (現場内除雪(機材 (現場内除雪(人力	(4) 規格 (レベル成))	工員	単位 奏 (時間) (人日)	数位 1 1	改 页 系化構成表 単価構成内容		記載例	備考		
	全工事共通(仮設工) 工種・種別・細別(レベル2,3 除雪工 (現場内除雪(機材) (現場内除雪(人力) (仮囲い屋根部)	(, 4) 規格 (レベル 成))	工員	単位 麦 (時間) (人日) (m3)	数位 1 1 1	改 方 系化構成表 単価構成内容 除雪費、凍結防止剤散布費 除雪費		記載例	備考		
	全工事共通(仮設工) 工種・種別・細別(レベル2、3 除雪工 (現場内除雪(機材 (現場内除雪(人力 (仮囲い屋根部) (工事用道路除雪、	(, 4) 規格 (レベル 成)) コ))	工員	単位 妻 (時間) (人日) (m3) (m)	数位 1 1 1	改 方 系化構成表 単価構成内容 除雪費、凍結防止刺散布費 除雪費 除雪費		記載例	備考		
	全工事共通(仮設工) 工種・種別・細別(レベル2、3 除雪工 (現場内除雪(機材(現場内除雪(人力(仮囲い屋根部)) (工事用道路除雪、(工事工区内除雪、	(, 4) 規格 (レベル 成)) コ))	工員	単位 麦 (時間) (人日) (m3) (m) (m2)	数位 1 1 1 1 1	改 方 系化構成表 单価構成内容 除雪費、凍結防止剤散布費 除雪費 除雪費 除雪費		記載例	備考		
	全工事共通(仮設工) 工種・種別・細別(レベル2.3 除雪工 (現場内除雪(機材 (現場内除雪(人力) (仮囲い屋根部) (工事用道路除雪、(工事工区内除雪、(人力除雪)	(4) 規格 (レベル 成)) コ)) エ)	工員	単位 妻 (時間) (人日) (M3) (m) (m2) (m3)	数位 1 1 1 1 1		明示すべき積算条件		備考		
_	全工事共通(仮設工) 工種・種別・細別(レベル2、3 除雪工 (現場内除雪(機材 (現場内除雪(人力) (仮囲い屋根部) (工事用道路除雪) (エ事エ区内除雪) (人力除雪) (ダンプ搬出除雪	(4) 規格 (レベル 成)) コ)) エ)	工員	単位 妻 (時間) (人日) (m3) (m) (m2) (m3) (m3)	数位 1 1 1 1 1 1 1	改 方	明示すべき積算条件	記載例 3回 ○○拾塲(4.7km)	備考		
	全工事共通(仮設工) 工種・種別・細別(レベル2、3 除雪工 (現場内除雪(機材 (現場内除雪(人力) (仮囲い屋根部) (工事用道路除雪。 (エ事エ区内除雪。 (人力除雪) (ダンプ搬出除雪 (防滑材散布)	(4) 規格 (レベル 成)) コ)) エ)	工員	単位 奏 (時間) (人日) (m3) (m) (m2) (m3)	数位 1 1 1 1 1 1 1		明示すべき積算条件		備考		
	全工事共通(仮設工) 工種・種別・細別(レベル2.3 除雪工 (現場内除雪(機材(現場内除雪(人力(仮囲い屋根部)(エ事工区内除雪:(人力除雪)(人力)除雪)(グンプ搬出除雪(防滑材散布)雪寒施設工	(,4) 規格 (レベル 或)) コ)) エ) エ)	工員	単位 奏 (時間) (人日) (m3) (m) (m2) (m3) (m3) (t)	数位 1 1 1 1 1 1 1 1	改 方	明示すべき積算条件		備考		
	全工事共通(仮設工) 工種・種別・細別(レベル2.3 除雪工 (現場内除雪(機材(現場内除雪(人力(仮囲い屋根部)(工事工区内除雪(人力除雪)(人力)除雪)(グンプ搬出除雪(防滑材散布)雪寒施設工(ウェザーシェルタ	(,4) 規格 (レベル 成)) コ)) エ) エ)	工員	#位 奏 (時間) (人日) (m3) (m) (m2) (m3) (m3) (t)	数位 1 1 1 1 1 1 1 1	改 万 系化構成表 単価構成内容 除雪度、凍結防止剤散布費 除雪度 除雪度 除雪度 除雪度 除雪度 除雪度 防当度 防当度 防当度 防当度 防当度 防当度 防当度 防当	明示すべき積算条件 除雪回数: 搬出先(連兼距離):	3回 ○○拾墳(4.7km)	備考		
	全工事共通(仮設工) 工種・種別・細別(レベル2.3 除雪工 (現場内除雪(機材(現場内除雪(人力(仮囲い屋根部)(エ事工区内除雪:(人力除雪)(人力)除雪)(グンプ搬出除雪(防滑材散布)雪寒施設工	(,4) 規格 (レベル 成)) コ)) エ) エ)	工員	単位 要 (時間) (人日) (m3) (m) (m2) (m3) (t) (基) (m2)	数位 1 1 1 1 1 1 1 1	改 方	明示すべき積算条件 除書画数: 搬出先(運搬距離): 足嫌種類:	3回 ○○拾塘(4.7km) 手摺先行型枠組足場	備考		
	全工事共通(仮設工) 工種・種別・細別(レベル2.3 除雪工 (現場内除雪(機材(現場内除雪(人力(仮囲い屋根部)(工事工区内除雪(人力除雪)(人力)除雪)(グンプ搬出除雪(防滑材散布)雪寒施設工(ウェザーシェルタ	(, 4) 規格 (レベル 成)) コ)) エ) エ)	工員	単位 支 (時間) (人日) (M3) (M) (M2) (M3) ((M3) ((M3) ((M3) (t)	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	改 万 系化構成表 単価構成内容 除雪度、凍結防止剤散布費 除雪度 除雪度 除雪度 除雪度 除雪度 除雪度 防当度 防当度 防当度 防当度 防当度 防当度 防当度 防当	明示すべき積算条件 脱雪回数: 搬出先(連樂距離): 足嫌種類: 枠銀度場前開精(SI):	3回 ○○拾墳(4.7km)	備考		

漁港関係工事工種体系化の手引き・数量算出要領

総 目 次

- 第1部 漁港関係工事工種体系化の手引き 第1編 漁港関係工事工種体系化の手引き
 - 第1章 工事工種の体系化について
 - 1. 工事工種の体系化とは
 - 2. 工事工種体系構成表について
 - 3. 単価構成内容について
 - 4. 工事工種体系構成表の活用にあたって
 - 5. 土工の解説
 - 6. 作業土工の解説
 - 7. 仮設物の解説
 - 8. 工事工種体系構成表からの設計書の作成例
 - 第2章 工事工種体系構成表 (漁港·漁港海岸)
 - 1. 漁港整備
 - 2. 漁港海岸整備
 - 3. 全工事共通
 - 第2編 漁港調査設計・測量業務体系化の手引き
 - 第1章 調査設計・測量業務体系化について
 - 1. 調査設計・測量業務体系化とは
 - 2. 体系構成表について
 - 3. 調査設計・測量業務体系におけるレベル定義
 - 4. 設計等における数値の扱い
 - 5. 適用工種区分コード
 - 第2章 業務工種体系構成表
 - 1. 設計業務
 - 2. 測量 調査業務
 - 3. 地質調査業務
- 第2部 漁港関係工事数量算出要領
 - 第1章 基本事項
 - 第2章 工種毎の数量算出方法
 - 第3章 施設別・構造別数量算出例
 - 第4章 施設別標準図作成例

第 1 部 漁港関係工事工種体系化の手引き

第 1 編

漁港関係工事工種体系化の手引き

第1章 工事工種の体系化について

- 1. 工事工種の体系化とは
- 2. 工事工種体系構成表について
- 3. 単価構成内容について
- 4. 工事工種体系構成表の活用にあたって
- 5. 土工の解説
- 6. 作業土工の解説
- 7. 仮設物の解説
- 8. 工事工種体系構成表からの設計書の作成例

工事工種の体系化とは 1

工事工種の体系化は、客観性、透明性を確保することを目的とした枠組みであり、階層的に工種を細 分化し、「設計書の構成」、「目的物の名称・品質」、「設計上の表示単位」を標準的に規定したもの である。

(1) 階層の統一

- ・積算の枠組みといえる階層(レベル)構造を統一する。
- ・階層数、各階層の内容を共通的に定義する。
- ・共通仕様書と構成・名称を統一(編・章・節・条の4つに対する、レベル0・1・2・3の階層の 合致)して、使いやすいものとする。

レベル	名称	内容	例
0	事業区分	事業執行上の区分	漁港整備、漁港海岸整備
1	工事区分	通常1件の工事として発注される区分	防波堤、護岸、岸壁・物揚場 堤防・護岸、突堤、消波堤
2	工種	一定の構造を持つ部分を施工するための一連作業の総称	海上地盤改良工、基礎工、 海岸土工、表法被覆工
3	種別	レベル2とレベル4をつなぐ区分 (可能な限り、施工順序に従った構成)	床掘工、基礎捨石工、場所打コ ンクリートエ、消波ブロックエ
4	細別	工事を構成する基本的な単位目的物・仮設物を示す 単位とともに契約数量を表示するレベル	グラブ浚渫[純土量]、 基礎捨石、消波ブロック製作
5	規格	レベル4で情成りる例科寺の例貝・規格、リ広、 刧約 明ニオスタ州 たニオ	C-O、混合セメント(B種)、 5.0×2.5×1.5m、 W=42.32 t (根固プロックの場合)

(2) 用語及び単位の統一

- ・用語及び個々の用語に含まれる内容(単位当り単価構成内容)を統一する。
- ・単位の表示を統一する。
- (3) 工事目的物の明確化
 - ・工事目的物ごとに構成要素を細分し明確にする。
- (4)契約項目の明確化
 - ・契約上、制約される事項・数量なのか、任意な事項・数量なのかを明確にする。
- (5) 工事工種体系構成表の作成
 - ・階層数や階層定義、細分方法などの構成方法、用語名称や数量単位などの表示方法を工種ごとに 標準化、規格化を行ない、工事工種体系構成表を作成した。
 - ・このようにして規定された工事工種体系構成表より、個々の積算者が積算上必要な項目を抽出して 設計書を作成する方法とした。

【客観性の確保】誰が設計書を作成しても同一条件の現場では、同じ内容表示の設計書となる

【透明性の確保】誰が見ても設計の内容がわかりやすいものとなる

【妥当性の確保】発注者一設計者一施工者の間において、設計書構成の統一により共通認識がもてる

これらのことにより、1工事の計画→調査設計→積算→工事の施工→完成までの一連業務において、 積算を取り巻く環境が整備される。

2 工事工種体系構成表について

- (1) 一つの工事目的物ごとに構成し、契約対象(単位を含む)を明確にしなければならない。
- (2) 工種等の順序は標準的な施工手順を想定している。
- (3) 細別(レベル4)を、"契約数量を示すレベル"として位置付ける。 なお、構成表の細別欄が括弧書きの場合は、一般的に契約対象とならない。 これらについては、設計図書の工事数量総括表で細別、単位、数量を()書きで明示する。 (例 床掘、埋戻、型枠、足場、仮設工など)
- (4) 規格(レベル5)では、細別(レベル4)の単価構成内容にかかる材料等の材質、規格及び寸法などの契約上必要な条件を明示しなければならない。
- (5) 適用欄により、細別(レベル4)にかかる積算にあたり、想定した現場条件(積算条件)等を 明示することができる。この場合、当該条件にかかる特記仕様書を省略できる。
- (5) 契約数量を分かりやすくするため、細別 (レベル4) では名称そのままとしているが、 工種 (レベル2) 及び種別 (レベル3) では名称を"〇〇工"としている。

3 単価構成内容について

- (1) 細別 (レベル4) を構成する費用 (単価構成内容) を統一化することを目的としている。 (下の例では裏埋土工の土砂掘削という細別 (レベル4) を構成する費用に、 作業土工である "掘削、土砂等運搬等、整地等"にかかる費用も含まれている)
- (2) 単価構成内容のうち、"〇〇費"とある場合は、機・労・材(損料等を含む)の全てを含む費用である。ただし、"〇〇材料費"等とある場合は、歩掛が材料費等を含まない施工費のみの場合であり、必要に応じて別途材料費等を計上しなければならない。
- (3) 単価構成内容のうち、"均しコンクリート、型枠"のように"〇〇費"とつかない場合は、 別途その費用にかかる細別(レベル4)が定められている。 (下の例では土砂掘削という細別(レベル4)には、別途定めてられいる"掘削"や"土砂等運搬費" 等の細別(レベル4)が単価構成内容として必要となる。
- (4) 歩掛等における「設置費」「据付費」「布設費」等の表現について、単価構成内容では「設置費」に 統一している。
- (5)歩掛等における「賃料」「損料」等の表現について、単価構成内容では「賃料等」に統一している。
- (6) 単価構成内容で示す費用は、標準的な構成であるが、その全てを計上しなければならないわけではなく、施工にあたり不要な費用は計上しない。

構成表の選択例 別途定められている細別例

	一番の私のと		プライグへの一句を	נגו ניני		
	工種種別	細別	規格	単位	単価構成内容	明示すべき積算条件
	(レベル2, 3)	(レベル4)	(レベル5)			
I						
	裏埋土工					
		土砂掘削	土質	m3	掘削、土砂等運搬、整地、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	

工種種別	細別	規格	単位	単価構成内容	明示すべき積算条件
(レベル2, 3)	(レベル4)	(レベル5)			
	掘削		m3	掘削費(ブルドーザー、バックホウ)	
	土砂等運搬		m3	運搬費(作業土工、残土、土材料)	
	整地	土質	m3	残土受け入れ地での処理費、 敷均(ルーズ)	

4 工事工種体系構成表の活用にあたって

- (1) それぞれの工事区分は、標準的な工種及び施工順序で構成しているが、必要な工種がない場合、 他の工事区分の工種から選択する。
- (2) 一つの細別 (レベル4) に対して、複数の規格 (レベル5) がある場合は、 (下の例のようにU型側溝において、300Bと450の2種類の規格を用いる場合など) それぞれの規格 (レベル5) ごとに細別 (レベル4) を作成する。

設計書の例

工種種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
(レベル2, 3)	(レベル4)	(レベル5)					
	プレキャスト						
	U型側溝	U-300B	100	m			
	プレキャスト						
	U型側溝	U-450	30	m			

(3)施工場所が違う等の理由により複数の工事目的物として積算する必要があるため、 同じ工種等が複数となる場合(下の例のように離岸提が2基ある場合など)は、 工種等に括弧書きによる補助表現を付けて分かりやすくする。

設計書の例

工種種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
(レベル2, 3)	(レベル4)	(レベル5)	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		–		
(2 72, 0)	(2 72 17	(2 ,750,					
離岸提本体工 [No1]							
捨石工							
海岸ブロックエ							
	消波ブロック製作	C-5S 混合セメント(B種) 公称質量8t	80	個			
離岸提本体工 [No2]							
捨石工							
海岸ブロックエ							
	消波ブロック製作	C-5S 混合セメント (B種) 公称質量8t	120	個			

補助表現の例

レベル2	補助表現
護岸工	[右岸]
	[左岸]
床固め工	[1号]
	[2号]
擁壁工	[WR1]
	[WL2]
護岸工	[拡大変更]

レベル3	補助表現
管渠工	[第1号]
	[第2号]
掘削工	[高水敷]
	[低水路]
区画線工	[排水性舗装区間]
	[一般舗装区間]

レベル4	補助表現
土砂掘削	[流用土]
	[残土]
連節ブロック	[新材使用]
	[有材使用]
ケーブル配管	[地中部]
	[露出部]

5 土工の解説

(1)土の「利用形態」により下のとおり分類する。

	上の利用が思いる		レベル4(施エパッケージ)													
					Ο Λ1	は、	各積	賃算.	上のじて	分類 積質	[に言	†上 ⁻ + ⊢ ·	する。	作業 作業	٥	各々の積算上の分類に
種別名称	作業区分	の分類		積算上の分類ごとの内容	掘	土砂等運搬	整地費	路体(築堤)盛土	押	積込(イカ	土材料	床掘	埋戻	残土等	合まれる作業内容を事項「土の流れの概念図」 「土の流れの概念図」 における作業項目の番号 の組合せで表わしたもの。 ()は行う場合がある 作業を意味する。
			現		192	(√)~(∞)	(T)(5)	・路床盛+	2~81	12(14)	14)	11	14)	14)	16	
		, ,	I	掘削してその土を自工区に流用するが、流用箇所への運搬を伴なわない もの	0											1
	田 土 田		П	掘削してその土を 自工区流用箇所へ運搬するもので、 仮置場を経由しないもの	0	0										1)+2)
10			ш	掘削してその土を自工区流用箇所 へ運搬するもので、 仮置場を経由するもの	0	0	Δ									1)+(5)+(13)
掘削工	掘削 (土砂) <u>、</u> (岩塊玉石)	発生	I	掘削してその土を 他工区流用箇所へ運搬するもので、 仮置場へ運搬しない場合	0	0										1)+3)
	土		П	掘削してその土を 他工区流用箇所へ運搬するもので、 仮置場へ運搬する場合	0	0	Δ									1+5+(13)
			I	掘削してその土を 残土受入地へ運搬するもので、 仮置場を経由しないもの	0	0									Δ	1+4+(15)+(16)
		±	п	掘削してその土を残土受入地へ 運搬するもので、 仮置場を経由するもの	0	0	Δ			0	Δ				Δ	(1)+(5)+((3))+(4)+(8)+ ((5))+((6))
	路体(築堤)・路床盛土	流用土	I	自工区の土で盛土するもので、 仮置場を経由しないもの				0								9
盛	(流用土)	土	П	自工区の土で盛土するもので、 仮置場を経由するもの		0		0		0	Δ					4 + 6 + 9
土土工	路体(築堤)・路床盛土 (発生土)			他工区から運搬した土で 盛土するもの	Δ	Δ		0		Δ						(12)+(9)
	路体(築堤)・路床盛土 (採取土)			土取場から運搬した土で 盛土するもの	Δ	Δ		0		Δ						10+12+9
	路体(築堤)・路床盛土 (購入土)			購入した土で盛土するもの (裏込、埋戻を含む)	Δ	Δ		0		Δ		0				11)+(12)+(9)
	床掘	掘	削	土の運搬を伴わない掘削、 もしくは他工区または残土受入地に 直接運搬するための掘削	0								Δ			1
作業	10 1 - Man	掘	置削	仮置場への土の運搬を伴う掘削	0	0	Δ						Δ			1+5+(13)
エ	埋戻	埋	!地 !戻	土の積込、運搬を伴わない埋戻										0		9
			!搬 !戻	仮置場から自工区で発生した 仮置土を運搬して行う埋戻		0				0	Δ			0		14+6+9
作業		発生土	I	作業土工の残土を 他工区に直接搬出するもの 作業土工の残土を仮置場から		0										3
残土	作業残土処理	エ	П	作業土工の残土を収直場から 他工区に搬出するもの 作業土工の残土を残土受入地に		0				0	Δ					(1) + (7)
処 理 T		残 土	I	作業土工の残土を残工受入地に 直接搬出するもの 作業土工の残土を仮置場から		0	Δ									<u>(4)+(15)+(16)</u>
_	エ		П	残土受入地に直接搬出するもの		0	Δ			0	Δ				Δ	(4)+(8)+(15))+(16)

(2) 定義

掘削:現地盤から施工基面までの土砂等を掘り下げる作業で、「埋戻」を伴わない箇所での作業で

ある。 (掘削から処分までの一連作業である)

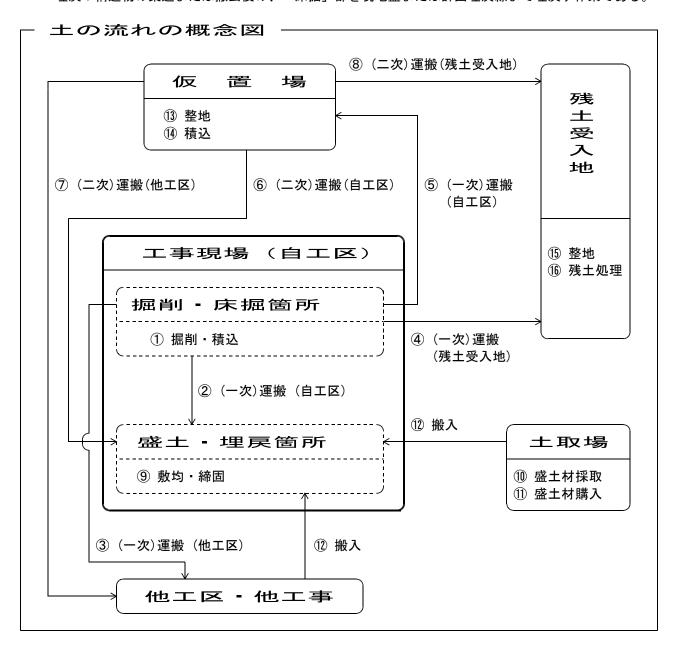
盛土:現地盤または計画埋戻線より上に土砂を盛り立てる作業である。

(採取、購入の場合は、採取費、購入費を含む)

床掘:構造物の築造または撤去を目的に、現地盤または施工基面から土砂等を掘り下げる作業で、

「埋戻」を伴う箇所での作業である。

埋戻:構造物の築造または撤去後の、「床掘」部を現地盤または計画埋戻線まで埋戻す作業である。



6 作業土工の解説

- (1)目的物の施工に伴う床掘、埋戻及び基面整正をいう。
- (2) これらの施工数量は受注者の任意なものであり、"契約対象とならない土工"であるため、 従来の土工と区別した。
- (3) 作業土工については、工事全体分を一括して計上するのでなく、 それぞれの目的物ごと(レベル2ごと)に計上する。

仮設物の解説 7

- (1)目的物ごとにまとめるという概念から、一つの構造物(工種・種別)に付随する仮設物は、 該当する構造物ごとに計上する。(例 足場、支保)
- (2) 工事全体、または複数の構造物にかかわる仮設物は、全工種共通の仮設工に計上する。 (例 工事用道路、橋梁上部足場)
- (3) 工事によって、上記(1)、(2) のどちらのケースにもなる仮設物については、 次のとおりとする。(例 土留・締切、雪寒施設)
 - 1) 一つの構造物に付随する場合は、該当する構造物ごとに計上する。
 - 2) 複数の構造物にかかわる場合、または構造物ごとに分割することが煩雑になる場合は、 全工種共通の仮設工に計上する。

工事工種体系構成表からの設計書の作成例 8

(1) 工事工種体系構成表から、施工に必要な工種、種別、細別を選択する。

10 6도 -# 4

堤防・護岸		工事二	工種体系	構成表	
工種種別 (レベル2,3)	細別 (レベル4)	規 格 (レベル5)	単位	単価構成内容	明示すべき積算条件
海岸土工					
掘削工					
	掘削	土質	m3	掘削費(プルドーザ、バックホウ)	
盛土工					
	路体(築堤)盛土	土質	m3	敷均+締固費、敷均締固費	
残土処理工					
	整地	土質	m3	残土受け入れ地での処理・敷均 (ルーズ)	
基礎工					
作業土工					
	(床掘)	_	(m3)	掘削費	
	(埋戻)	_	(m3)	埋戻費	
	(基面整正)	_	(m2)	基面整正費	
捨石工					
	捨石	石材種類	m3	石材投入費、陸上投入費	
	捨石本均し	_		捨石均し費	均し精度
	捨石荒均し	_	m2	捨石均し費	均し精度
水中コンクリートエ					
	(型枠)	_	(m2)	鋼製型枠組立組外費	
	漏洩防止材	シート種類、強度	m2	漏えい防止シート設置費	
	水中コンクリート	コンクリート配合記号 セメント種別	m3	コンクリート運搬費 水中コンクリート打設・養生費	

(2) (1) で選択した構成表による設計書作成例

工事費内訳書

本工事 01 1頁

費目 本工事 01 堤防・護岸工事 (レベル 1)

工種・種別・細別	+8 +6 (1 2 1 5)	** =	₩ <i>I</i> ±	単価	A 55	<u></u>
(レベル 2) (レベル 3) (レベル 4)	規 格 (レベル 5)	数量	単位	平 1四	金額	摘要
本工事費					21, 777, 000	
海岸土工					526, 000	
掘削工					132, 000	
掘削 [流用土]		33	m3	328	10, 824	工内第 1号
掘削 [残土]		180	m3	678	122, 040	工内第 2号
盛土工					8, 000	
路体(築堤)盛土		30	m3	299	8, 970	工内第 3号
作業残土処理工					386, 000	
残土処理工		650	m3	594	386, 100	工内第 4号
基礎工					7, 820, 000	
作業土工					825, 000	
(床掘)		1, 010	(m3)	421	425, 210	工内第 5号
(埋戻)		360	(m3)	789	284, 040	工内第 6号
(基面整正)		390	(m3)	298	116, 220	工内第 7号
					1, 797, 000	
捨石	中割石	290	m3	4, 523	1, 311, 670	工内第 11号
捨石本均し		17	m2	6, 989	118, 813	工内第 9号
捨石荒均し		180	m2	2, 039	367, 020	工内第 12号
水中コンクリートエ					5, 198, 000	
(型枠)		27	(m2)	13, 930	376, 110	工内第 13号
漏洩防止材	織布 引張強度密度 1,260N/3cm以上	26	m2	1, 926	50, 076	工内第 16号
水中コンクリート	C-9S	186	m3	25, 134	4, 674, 924	工内第14号

第2章 工事工種体系構成表 (漁港·漁港海岸)

1. 漁港整備 航路·泊地 栈 橋 · 係 船 杭 浚渫工 海上地盤改良工 土捨工 本体工(鋼杭式) 埋立工 上部工 仮設工 付属工 防波堤・防砂堤・導流堤 舗装工 海上地盤改良工 維持補修工 構造物撤去工 基礎工 本体工(ケーソン式) 雑工 本体工(ブロック式) 仮設工 船揚場 本体工(場所打式) 本体工(捨石式、捨ブロック式) 海上地盤改良工 本体工(鋼矢板式) 基礎工 本体工(鋼杭式) 先端止壁工 被覆•根固工 被覆•根固工 裏込・裏埋工 上部工 付属工 斜路工 消波工 船置工 維持補修工 排水構造物工 構造物撤去工 付属工 雑工 土工 仮設工 打止工 護岸・岸壁・物揚場 構造物撤去工 海上地盤改良工 雑工 仮設工 基礎工 本体工(ケーソン式) 用地 本体工(ブロック式) 用地土工 本体工(場所打式) 陸上地盤改良工 本体工(捨石式、捨ブロック式) 法面工 本体工(鋼矢板式) 擁壁工 本体工(鋼杭式) 排水構造物工 被覆•根固工 表面処理工 上部工 仮設工 付属工 道路 消波工 突 堤 裏込・裏埋工 陸上地盤改良工 土工 舗装工 水叩工 排水構造物工 打止工 維持補修工 構造物撤去工

雑工 仮設工

2. 漁港海岸整備

堤防・護岸・胸壁

海岸土工

軽量盛土工

地盤改良工

護岸基礎工

表法被覆工

本体工(場所打式)

天端被覆工

波返工

裏法被覆工

根固工

消波工

カルバート工

排水構造物工

斜路工

陸閘工

打止工

付属物設置工

構造物撤去工

仮設工

突 堤

海岸土工

軽量盛土工

基礎工

本体工

根固工

消波工

構造物撤去工

仮設工

消波堤

海岸土工

基礎工

本体工

構造物撤去工

仮設工

離岸堤

基礎工

本体工

消波工

構造物撤去工

仮設工

人エリーフ

本体工

構造物撤去工

仮設工

養 浜

海岸土工

軽量盛土工

砂止工

仮設工

3. 全工事共通

仮 設 工

共通仮設費

航路·泊地

工事工種体系化構成表

山口	҈∙泊地		-	上事	ᅡ <u>ᆜ</u> ᅩ	里体糸化愽队团	又		
工租	重・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格 (レベル5)	規格記入例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
_	エ								
ポ	ンプ浚渫エ	1	1		ı	1	T	1	
	ポンプ浚渫[純土量]	土質: N値:	粘土質土砂 30未満	m3	1	ポンプ浚渫費	排送距離:	1.4km	
	(ポンプ浚渫[余掘土量])	土質: N値:	粘土質土砂 30未満	(m3)	1	ポンプ浚渫費	排送距離:	1.4km	
	(ポンプ浚渫船拘束)	_		(式)	1式	ポンプ浚渫船拘束費	拘束日数:	0.5日	拘束費対象船を 括積み上げ計上
グ	ラブ浚渫エ	I .	l .		ı		•		<i>'</i> a
	グラブ浚渫[純土量]	土質: N値:	砂質土砂 10未満	m3	1	グラブ浚渫費(普通地盤用)	土厚区分:	1m以上2m未満	
	(グラブ浚渫[余掘土量])	土質: N値:	砂質土砂 10未満	(m3)	1	グラブ浚渫費(普通地盤用)	土厚区分:	1m以上2m未満	
	(グラブ浚渫船拘束)	_		(式)	1式	グラブ浚渫船(普通地盤用) 拘束費	拘束日数:	1日	拘束費対象船を 括積み上げ計上
硬	土盤浚渫工	l	l		l	1,3,432	1	<u> </u>	<u>ක</u>
	硬土盤浚渫[純土量]	土質: N値:	レキ混じり土砂 30~50未満	m3	1	硬土盤浚渫費			
	(硬土盤浚渫[余掘土量])	土質: N値:	レキ混じり土砂 30~50未満	(m3)	1	硬土盤浚渫費			
	(グラブ浚渫船拘束)	_		(式)	1式	グラブ浚渫船(硬土盤用)拘束費	拘束日数:	2日	拘束費対象船を 一括積上げ計上 る
岩	盤浚渫工					•			
	(砕岩)	土質:	岩盤	(m3)	1	砕岩費			余砕量を含む
	砕岩浚渫[純土量]	土質:	岩盤	m3	1	砕岩後浚渫費			
	(砕岩浚渫[余掘土量])	土質:	岩盤	(m3)	1	砕岩後浚渫費			
	(グラブ浚渫船拘束)	_		(式)	1式	グラブ浚渫船(岩盤用)拘束	拘束日数:	1日	拘束費対象船を 一括積上げ計上
バ	シックホウ浚渫エ		l			153	1		岩盤(軟岩・中質 硬質)は砕岩後の 浚渫に適用する
	バックホウ浚渫 [純土量]	土質: N値:	砂質土砂 10未満	m3	1	バックホウ浚渫費			
	(バックホウ浚渫 [余掘土量])	土質: N値:	砂質土砂 10未満	(m3)	1	バックホウ浚渫費			
	<u> (バックホウ浚渫船拘束)</u>	_		(式)	1式	バックホウ浚渫船拘束費	拘束日数:	1日	拘束費対象船を 一括積上げ計上
陸	上機械浚渫工	I	I		ı				<u>م</u>
	陸上機械浚渫	土質:	土砂	m3	1	バックホウ床掘費 クラムシェル床掘費			
捨	—————————————————————————————————————					7 7 - 17 - 17 17 1 May			
	· :砂管設備工								
	(排砂管設備)	排砂管径: 受け枠設置 高:		(m)	1 (小数1位 切り上 げ)	零号設置・撤去費(浮上/立 上がり) 受枠設置・撤去費(海上/陸 上) 排砂管設置・撤去費(海底管 /海上受枠上/陸上受枠上/ フロータ管) 排砂管設備費 排砂補助費 排砂管保守費			
+	運船運搬工	I	I	1	<u> </u>	N N E W 기 됩	1	<u> </u>	1
Ī	土運船運搬[純土量]	土質:	砂質土砂	m3	1	土運船運搬費	搬出先(運搬距離):	△△陸揚場(0.5km)	
	(土運船運搬[余掘土量])		砂質土砂	(m3)	1	土運船運搬費	搬出先(運搬距離):	△△陸揚場(0.5km)	
						i e	1	i	1

航路·泊地

工事工種体系化構成表

机路	•汨地		-	上事	ᅡᆂ	割4分米16件以2	又		
工種	・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格 (レベル5)	規格記入例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
揚	土土捨工								
	<u>エエルエ</u> バージアンローダ揚土 [純土量]	土質:	砂質土砂	m3	1	バージアンローダ揚土費	排送距離:	500m	
	(バージアンローダ揚 土	土質:	砂質土砂	(m3)	1	バージアンローダ揚土費	排送距離:	500m	
	(バージアンローダ船拘束)	_		(式)	1式	バージアンローダ船拘束費	拘束日数:	1日	拘束費対象船を 一括積上げ計上 る
	空気圧送揚土 「純土量〕	土質:	砂質土砂	m3	1	空気圧送揚土費	排送距離:	500m	
	<u></u>	土質:	砂質土砂	(m3)	1	空気圧送揚土費	排送距離:	500m	
	······ (空気圧送船拘束)	_		(式)	1式	空気圧送船拘束費	拘束日数:	1日	拘束費対象船を 一括積上げ計上 る
	リクレーマ揚土 「純土量]	土質:	砂質土砂	m3	1	リクレーマ揚土費			
	(リクレーマ揚土 [余掘土量])	土質:	砂質土砂	(m3)	1	リクレーマ揚土費			
1 [(リクレーマ船拘束)	_		(式)	1式	リクレーマ船拘束費	拘束日数:	1日	拘束費対象船を 一括積上げ計上 る
	バックホウ揚土[純土量]	土質:	砂質土砂	m3	1	バックホウ揚土費			
	(バックホウ揚土 [余掘土量])	土質:	砂質土砂	(m3)	1	バックホウ揚土費			
	揚土土捨[純土量]	土質: 運搬距離:	砂質土砂 0.3km	m3	1	運搬費 整地費	搬出(流用)先: (運搬距離/整地の 有無):	〇〇仮置場 (0.3km/無)	
	(揚土土捨[余掘土量])	土質: 運搬距離:	砂質土砂 0.3km	(m3)	1	運搬費 整地費	搬出(流用)先: (運搬距離/整地の 有無):	〇〇仮置場 (0.3km/無)	
	土砂運搬[純土量]	土質: 運搬距離:	砂質土砂 4.7km	m3	1	積込費 運搬費 整地費 残土処分費	搬出(流用)先: (運搬距離/整地の 有無): 残土処分費の有無:	〇〇処分場 (4.7km/有) 無	
	(土砂運搬[余掘土量])	土質: 運搬距離:	砂質土砂 4.7km	(m3)	1	積込費 運搬費 整地費 残土処分費	搬出(流用)先: (運搬距離/整地の 有無): 残土処分費の有無:	〇〇処分場 (4.7km/有) 無	
且立	エ								
埋	立工								
	ポンプ土取	土質:	砂質土砂	m3	1	ポンプ土取費 ポンプ浚渫船拘束費	排送距離: 拘束日数:	1.4km 1日	
	グラブ土取	土質:	砂質土砂	m3	1	グラブ土取費 グラブ浚渫船(普通地盤用) 拘束費	土厚区分: 拘束日数:	1m以上2m未満 1日	
	ガット土取	土質:	砂質土砂	m3	1	ガット土取費			許容範囲が定めれている場合は ラブ床掘を適用す
排	砂管設備工	(+拴工:排劢会	L 言設備工を適用	١					_ <u> </u> &
_	運船運搬工	(THT: 1970)	3 欧洲土と週刊						+
-		土質:	砂質土砂	2	-1	土運船運搬費	搬出先(運搬距離):	△△陸揚場(0.5km)	-
\vdash	土理船運搬	工具:	沙貝工沙	m3	1	工建加建恢复	加山元(建加岭南)	△△陸扬場(U.SKIII)	
· · ·	土埋立工		-1 1 1	_			III 37 55 ±11	<u></u>	
	バージアンローダ揚土	土質:	砂質土砂	m3	1	バージアンローダ揚土費	排送距離:	500m	拘束費対象船を
	(バージアンローダ船拘束)			(式)	1式	バージアンローダ船拘束費	拘束日数:	1日	一括積上げ計上
	空気圧送揚土	土質:	砂質土砂	m3	1	空気圧送揚土費	排送距離:	500m	拘束費対象船を
1 4	(空気圧送船拘束)	_		(式)	1式	空気圧送船拘束費	拘束日数:	1日	一括積上げ計上
╽┟	リクレーマ揚土	土質:	砂質土砂	m3	1	リクレーマ揚土費			ちまませるかち
	(リクレーマ船拘束)	_		(式)	1式	リクレーマ船拘束費	拘束日数:	1日	拘束費対象船を 一括積上げ計上 る
\vdash	バックホウ揚土	土質:	砂質土砂	m3	1	バックホウ揚土費			
固	化工								
	事前混合処理	_		m3	1	試運転調整費 事前混合処理			
灵設	エ	(全工種共)	₫:仮設工を	適用)					
	т	内容により	一 他の丁璠:	種別(ال تحرا	 2, 3)が必要となる場1	↓	5.7.2.	
		F F 3-EF IC-0-7	、ルンノーで生作	エかい	- 10	~ , ○////・北安(少句)	- 10 NE EL NE/N Y (

	規格(レベル5):記載例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件:記載例	備考
上地盤改良工						
床 <u>掘工</u>			1			1
(ポンプ床掘)	土質: 粘土質土砂 N値: 30未満	(m3)	1	ポンプ床掘費	排送距離: 1.4km	
(ポンプ浚渫船拘束)	_	(式)	1式	ポンプ浚渫船拘束費	拘束日数:0.5日	拘束費対象船を 一括積上計上
(グラブ床掘)	土質:砂質土砂 N値:10未満	(m3)	1	グラブ床掘費(普通地盤用)	土厚区分:1m以上2m未満	
(グラブ浚渫船拘束)	_	(式)	1式	グラブ浚渫船 (普通地盤用)拘束費	拘束日数:1日	拘束費対象船を 一括積上計上
(硬土盤床掘)	土質:レキ混じり土砂 N値:30~50未満	(m3)	1	硬土盤床掘費		
(グラブ浚渫船拘束)	_	(式)	1式	グラブ浚渫船 (硬土盤用)拘束費	拘束日数:2日	拘束費対象船を 一括積上計上
(砕岩床掘)	土質:岩盤	(m3)	1	砕岩費 砕岩後床掘費		
(グラブ浚渫船拘束)	_	(式)	1式	グラブ浚渫船(岩盤用)拘束費	拘束日数:1日	拘束費対象船を 一括積上計上
(バックホウ床掘)	土質:砂質土砂 N値:10未満	m3	1	バックホウ床掘費		
(バックホウ浚渫船拘束)	_	(式)	1式	バックホウ浚渫船拘束費	拘束日数:1日	拘束費対象船を 一括積上計上
(陸上機械床掘)	土質:土砂	(m3)	1	バックホウ床掘 クラムシェル床掘		
(人力床掘)	土質:砂質土砂 N値:10未満	(m3)	1	人力岩盤床掘費 人力砂礫床掘費 人力砂床掘費		
非砂管設備工						
(排砂管設備)	排砂管径: 受け枠設置高:	(m)	1 122	零号設置・撤去費(浮上/立上がり) 受枠設置・撤去費(海上/陸上) 排砂管設置・撤去費(海底管/海 上受枠上/陸上受枠上/フロータ 管) 排砂管設備費 排砂管制助費 排砂管保守費		
土運船運搬工						
(土運船運搬)	土質:砂質土砂	(m3)	1	土運船運搬費	搬出先: △△陸揚場 運搬距離: 0.5km	
(土運船拘束)	_	(式)	1式	土運船拘束費	拘束日数:1日	拘束費対象船を 一括積上計上
場土土捨工						
(バージアンローダ揚土)	土質:砂質土砂	(m3)	1	バージアンローダ揚土費	排送距離:500m	
(バージアンローダ船拘束)	_	(式)	1式	バージアンローダ船拘束費	拘束日数:	拘束費対象船を 一括積上計上
(空気圧送揚土)	土質:砂質土砂	(m3)	1	空気圧送揚土費	排送距離:500m	
(空気圧送船拘束)	_	(式)	1式	空気圧送船拘束費	拘束日数:1日	拘束費対象船を 一括積上計上
(リクレーマ揚土)	土質:砂質土砂	(m3)	1	リクレーマ揚土費		
(リクレーマ船拘束)	_	(式)	1式	リクレーマ船拘束費	拘束日数:1日	拘束費対象船を 一括積上計上
(バックホウ揚土)	土質:砂質土砂	(m3)	1	バックホウ揚土費		
(揚土土捨)	土質:砂質土砂 運搬距離:0.3km	(m3)	1	運搬費 整地費	搬出(流用)先:〇〇仮置場 運搬距離:0.3km 整地の有無:無	
(土砂運搬)	土質:砂質土砂 運搬距離:4.7km	(m3)	1	積込費 運搬費 整地費 残土処分費	搬出(流用)先:〇〇処分場 運搬距離:4.7km 整地の有無:有 残土処分費の有無:無	
置換工						1
置換材	置換材料:砂	m3	1	置換材投入費		
置換材均し	均し精度: ±30cm	m2	1	置換材均し費		
王密•排水工	径: <i>ϕ</i> 400			T		
サンドドレーン	打設長:20m	本	1	サンドドレーン費	## D# 4 C	拘束費対象船を
(サンドドレーン船拘束)		(式)		サンドドレーン船拘束費	拘束日数:1日 	一括積上計上
敷砂敷砂	種類:砂	m3	1	敷砂投入費		
敷砂均し	均し精度:	m2	1	敷砂均し費(水中)		載荷土砂撤去は
載荷土砂	種類:砂	m3	1	載荷土砂 (投入費/均し費(水中)/撤去費)		「床掘工」、 「浚渫・土捨工」を通

防波堤•防砂堤•導流堤

種・種別・細別(レベル2-4)	規格(レベル5):記載例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件:記載例	備考
帝固工						
サンドコンパクションパイル	径: <i>ф</i> 400 打設長: 20m	本	1	サンドコンパクションパイル費		
(サンドコンパクション船拘束)	_	(式)	1式	サンドコンパクション船拘束費	拘束日数:2日	拘束費対象船を 一括積上計上
盛土土砂撤去	種類: 砂	m3	1	ポンプ床掘 グラブ除掘 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般		
敷砂	種類:砂	m3	1	敷砂投入費		
敷砂均し	均し精度:	m2	1	敷砂均し費(水中)		
深層混合処理杭	改良材料: セメントミルク 杭径: Ø800 杭長:8m	本	1	深層混合処理杭打設費	セメント使用量:0.38t/日 深層混合処理船規格:2.2m2	
(深層混合処理船拘束)	_	(式)	1式	深層混合処理船拘束費	拘束日数:2日	拘束費対象船を 一括積上計上
				ポンプ床掘 グラブ床掘 硬主盤床掘 硬岩後床掘 砕岩後床掘 各種作業船拘束費 零号/浮上零号/立上がり零号 海上受枠/陸上受枠 排砂管(海底管・受枠上)		
盛土土砂撤去	種類:砂	m3	1	プロータ管設置撤去 排砂管設備 排砂管設備 排砂管限守 土運船運搬 バージアンローダ・揚土 空下と「展大」 リクレーマ揚土 バックホウ揚土 バックホウ揚土 社砂等運搬 整地		
盛土土砂撤去	種類:砂	m3	1	フロータ管設置撤去 排砂管設備 排砂管保守 土運船運搬 水気圧送揚土 リクレーマ揚土 バックホウ揚土 積込(ルーマ 積込(ルーマ 積込(ルーマ 大・で で で で で で で で で で で が で が で が で が で が		

防波堤•防砂堤•導流堤

.種·種別·細別(レベル2-4)	規格(レベル5):記載例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件:記載例	備考
礎工						
基礎盛砂工						
盛砂	種類:砂	m3	1	盛砂投入費		
盛砂均し	均し精度:	m2	1	盛砂均し費(水中)		
洗 <u>掘防止工</u>						
洗掘防止	材質:アスファルトマット 寸法:8m×2m	m2	1	アスファルトマット設置費 帆布設置費 合成樹脂マット設置費		
グラベルマット	石材種類:中割石	m3	1	石材投入費(現場投入渡し)		流用材を海上投入 び陸上投入する場 は、別途積上
グラベルマット均し	均し精度: ±50cm	m2	1	捨石均し費 (水中/陸上)		
大型網かご製作	網かご種別:10t型 吊ワイヤ付 寸法:3×2×1m 詰石種類:中割石	個	1	大型網かご製作費		
大型網かご据付	網かご種別:10t型 吊ワイヤ付 寸法:3×2×1m	個	1	大型網かご転置費 大型網かご横持ち費 大型網かご獲持付費(1スイング) 大型網かご運搬据付費を上連 携/海上一連/陸海一貫方式)	施工:陸海一貫方式 運搬距離:陸上運搬2.0km 据付:海上運搬3.5km	
基礎捨石工						
基礎捨石	石材種類:中割石	m3	1	石材投入費(現場投入渡し)		流用材を海上投入 び陸上投入する場 は、別途積上
捨石本均し	均し精度: ±5cm	m2	1	捨石本均し・荒均し費 (水中/陸上) 機械均し費 バックホウ均し費		
捨石荒均し	均し精度: ±30cm	m2	1	捨石本均し・荒均し費 (水中/陸上) 機械均し費 バックホウ均し費		
袋詰コンクリートエ						
袋詰コンクリート	コンクリート配合:C-● セメント種別:混合セメント(B種)	m3	1	袋詰コンクリート費	麻袋計上有無:有	
基礎ブロックエ						
基礎ブロック製作	コンクリート配合: C-● セメント種別: 混合セメント(B種) 寸法: 2.0×2.5×1.5m 質量: 17.25t	個	1	ルーフィング設置費 鋼製枠組足場架払費 内足場架払費 鉄筋 吊鉄筋加工組立費 鋼製型枠組立組外費 コンクリート打設費		
基礎ブロック据付	寸法: 2.0×2.5×1.5m 質量: 17.25t	個	1	ブロック転置費 ブロック横持ち費 ブロック据付ち費(1スイング) ブロック運搬据付費(陸上連携/ 海上一連/陸海一貫方式)	施工: 陸海一貫方式 運搬距離: 陸上運搬2.0km 据付: 海上運搬3.5km	
水中コンクリートエ	(場所打式本体エ-水中コンクリー	-トエを	適用)			
水中不分離性コンクリー	トエ					
(型枠)	_	(m2)	1	鋼製型枠組立組外費 (陸上施工/海上施工)	施工機種:起重機船鋼D50t吊	
水中不分離性コンクリート	コンクリート配合:C-● セメント種別:混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート運搬費 水中コンクリート打設(ポンプ車)	日打設量区分:100m3/日以上	コンクリート運搬費上部工を適用

□種・種別・細別(レベル2-4)	規格(レベル5):記載例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件:記載例	備考
体工(ケーソン式)						
ケーソン製作工						
(ケーソン製作用台船)	種類:FD 規格:2,000t積	(式)	1式	ケーソン製作用台船(係留費/運 転費) 補助ヤード施設費		
(底面)	種類:アスファルトルーフィング	(m2)	1	ルーフィング設置費		
(マット)	種類:ゴム系マット 厚さ:30mm	(枚 or m2)	1	アスファルトマット設置費 (工場製作/現場製作) ゴム系マット(再生)設置費		
(支保)	_	(m)	1	支保組立組外費		
(足場)	_	(m2)	1	鋼製枠組足場架払費 内足場架払費		
鉄筋	規格:SD345 呼び径:D16	kg	1	鉄筋加工組立費 吊鉄筋・吊バー組立費		
(型枠)	_	(m2)	1	鋼製型枠組立組外費		
コンクリート	コンクリート配合: RC-● セメント種別: 混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート打設費		
ケーソン進水据付工		•				
バラスト	種類:砂	m3	1	中詰材投入 陸上採取積込運搬 ストック場積込運搬 岸壁積込運搬投入 中詰均し費		
止水板	種類:鋼製幅: 厚さ:	箇所	1	止水板取付·取外費		
上蓋	寸法: 4.25×3.6×0.2m	涵	1	上蓋使用料 ケーソン設置用上蓋取付取外費 回航用上蓋取付・取外費		
進水	_	回 or 函	1	プーノン連小学順負(市座し力式) 大一ソン進水費(函台台車/吊降 し/ケーソン製作用台船方式/斜路滑台式) (進水/函台整正/斜路水中滑台 即なけ取り乗り		
(仮置)	_	(函)	1	ケーソン仮置費 ケーソン係留費		
(回航・えい航)	_	(函)	1	ケーソン回航費 ケーソンえい航費 ケーソン回航準備費	基地港(距離): △△港(3km)	
据付	_	涵	1	式)ケーソン据付費(ウィンチ/吊降し	えい航距離:3.5km	
中詰工						
砂·石材中詰	砂·石材規格:0~80mm級切込 砕石	m3	1	中詰投入(現場投入渡し/海中採取、陸上採取・積込・運搬/ストック場・積込・運搬/岸壁積込・運搬投入)費中詰均し		
コンクリート中詰	コンクリート配合: C-● セメント種別: 混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート打設費 ケーシング賃料等 配管設置撤去 配管賃料等		陸上部の場合は上部エ上部コンクリートエのコクリートを適用 水中部の場合は、場所 式本体工、水中コンクリートエのの リートエの水中コンクリートエの水中コンクリトを適用
蓋コンクリートエ						上部工の上部コンク リートエを適用
蓋コンクリート	コンクリート配合:C-● セメント種別:混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート コンクリート運搬費 コンクリートミキサー船拘束費 材料接岸積込費	海上運搬距離:1.5km 打設量区分:60~120m3/日	
蓋ブロックエ						
蓋ブロック製作	コンクリート配合: C-● セメント種別: 混合セメント(B種) 寸法: 3.65×3.00×0.50m 質量: 12.59t	個	1	ルーフィング設置費 鋼製枠組足場架払費 内足場架払費 用鉄筋加工組立費 鋼製型枠組立組外費 コンクリート打設・養生費		
蓋ブロック据付	寸法: 3.65×3.00×0.50m 質量: 12.59t	個	1	ブロック転置費 ブロック機持ち費 ブロック据付費(1スイング) ブロック運搬据付費(陸上連携/ 海上一連/陸海一貫方式)	施工:陸海一貫方式 運搬距離:陸上運搬2.0km 据付:海上運搬3.5km	
間詰コンクリート	コンクリート配合: C-● セメント種別: 混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート打設 コンクリート運搬費	海上運搬距離:1.5km 打設量区分:60~120m3/日	

防波堤·防砂堤·導流堤

防波堤•防砂堤•導流堤						
工種・種別・細別(レベル2-4)	規格(レベル5):記載例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件:記載例	備考
本体工(ブロック式)						
本体ブロック製作工						
本体ブロック製作	コンクリート配合: C-● セメント種別: 混合セメント(B種) 寸法: 4.5×3.5×2.5m 質量: 39.37t	個	1	ルーフィング設置費 鋼製枠組足場架払費 内足場架払費 吊鉄筋・吊バー 吊鉄筋・吊バー組立 鋼製型枠組立組外費 コンクリート打設費		
本体ブロック据付エ						.
本体ブロック据付	寸法: 4.5×3.5×2.5m 質量: 39.37t	個	1		施工:陸海一貫方式 運搬距離:陸上運搬2.0km 据付:海上運搬3.5km	
鋼製函工						
鋼製函製作	規格: SS400 寸法: 10.0×8.5×8.5m 質量: 50.03t	涵	1	鋼製函製作費 (工場製作/現場製作)		
鋼製函据付	寸法:10.0×8.5×8.5 質量:50.03t	拯	1	鋼製函転置費 鋼製函横持ち費 鋼製函据付費(1スイング) 鋼製函運搬据付費(陸上連携/ 海上一連/陸海一貫方式)	施工: 陸海一貫方式 運搬距離: 陸上運搬2.0km 据付: 海上運搬3.5km	本体工(ブロック式) 本体ブロック設置を近 用
中詰工						
砂·石材中詰	砂·石材規格:0~80mm級切込 砕石	m3	1	中詰投入(現場投入渡し/海中採取/陸上採取・積込・運搬/ストック場・積込・運搬/岸壁積込・運搬投入費中詰均し		
蓋コンクリートエ	(本体工(ケーソン式)-蓋コンクリー	-トエを	適用)			
蓋ブロックエ	(本体工(ケーソン式)-蓋ブロック	Lを適用])			
本体工(場所打式)						
場所打コンクリートエ	(上部エ-上部コンクリートエを適	用)				
水中コンクリートエ						
(岩盤基面整正)	岩質:軟岩	(m2)	1	岩盤基面整正費		
(岩盤等掻均し)	_	(m2)	1	かき落とし費		
継鉄筋	規格: SD345 呼び径: D16 長さ: 1.0m	本	1	コンクリート削孔費(水中) 薬液定着アンカー取付費 ワンタッチアンカー取付費 鉄筋加工組立費(陸上/海上)		
(足場)	_	(m2)	1	鋼製枠組足場架払費		本体工(ブロック式) ス 体ブロック製作工の 足場を適用
(型枠)	_	(m2)	1	鋼製型枠組立組外費 (陸上施工/海上施工)	施工機種:起重機船鋼D50t吊	
漏洩防止材	シート種類: 織布 引張強度: 1,260N/3cm以上	m2	1	漏洩防止シート設置費		
水中コンクリート	コンクリート配合:C-● セメント種別:混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート運搬費 水中コンクリート打設・養生費 (ケーシング/ポンプ車)	日打設量区分:100m3/日以上	コンクリート運搬費は上部工を適用
H形鋼	材質: SS400 寸法: H100×100×6×8 長さ: 1.0m	本	1	H形鋼費		
(ケーシング損料)	_	(式)	1式	ケーシング賃料等	ケーシング長:5.1m 供用日数:28日	
(配管設置撤去)	_	(m)	1	配管設置撤去費(水中/陸上)	施工機種:起重機船鋼D50t吊	
(配管損料)	-	(式)	1式	配管賃料等	配管超過延長区分:65m 運転日数区分:39日 日打設量区分:100m3/日以上 曲管本数区分:2本	
水抜きパイプ	規格: VU φ 50 長さ: 1.5m フィルター材の有無: 有	本	1	水抜きパイプ材料費 フィルター材料費		
水中不分離性コンクリー	・トエ	(基礎	エーオ	k中不分離性コンクリートコ	□を適用)	

	▼ 近 で 近 で 歩 で 場	規格(レベル5):記載例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件:記載例	
* //	<u> </u>	· ·					
_	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	(基礎工-洗掘防止工を適用)					
4	本格括石工 「				捨石投入費		
	本体捨石	石材種類:中割石	m3	1	被覆石投入費		
	本体捨石均し	均し精度: ±30cm	m2	1	捨石本均し・荒均し費(水中/陸上) 被覆均し費(水中/陸上) 機械均し費 捨石均し船拘束費 バックホウ均し費 水中バックホウ拘束費		
揑	・ ジロックエ						
	捨ブロック製作	コンクリート配合: C-● セメント種別: 混合セメント(B種) 質量: 公称質量30t	個	1	異形ブロック製作費(製作転置含む)		
	捨ブロック据付	質量:公称質量30t	個	1	ブロック据付費(1スイング)	施工: 陸海一貫方式 運搬距離: 陸上運搬2.0km 据付: 海上運搬3.5km	
場	所打コンクリートエ			1			
	基礎砕石	種類:0~80mm級切込砕石	m3	1	基礎砕石敷均費 捨コンクリート費		
	(型枠)	_	(m2)	1	鋼製型枠組立組外費	施工機種:起重機船鋼D50t吊	
	伸縮目地	種類:樹脂発泡体厚さ10mm 規格:0.06g/cm3以上級	m2	1	目地材設置費		
	コンクリート	コンクリート配合: C-● セメント種別: 混合セメント(B種)	m3	1		海上運搬距離:1.5km 打設量区分:60~120m3/日	
本体	本工(鋼矢板式)						
_	到矢板工						
	(先行掘削)	_	(本)	1	先行掘削費		
	鋼矢板	鋼矢板規格: SYW295 型式: IV型 長さ: 10m	枚	1		運搬距離:0.3km 打込長区分:9~12m	
控	2工						
	(先行掘削)	_	(本)	1	先行掘削費		
	控鋼矢板	規格: SYW295 形式: IV型 長さ: 10m	枚	1	鋼矢板・鋼管矢板 (材料費/荷卸費/運搬費) 鋼管矢板打設費 杭打船拘束費 杭打船ハンマ付替 導材賃料等・設置撤去費 鋼矢板・鋼管矢板切断費	運搬距離:0.3km 打込長区分:9~12m	
	控鋼杭	規格 : SS400 形式 : H250×250×9×14mm 長さ: 10m	本	1	鋼杭 (材料費/荷卸し費/運搬費/打設 費) 杭打船ハンマ付替 杭打船拘束費 H形鋼杭打設 導材賃料等 導材設置撤去 鋼杭切断	運搬距離:0.3km 打込長区分:9~12m	
	腹起	規格:SS400 寸法:125×65×6×8mm	m	1	腹起材取付費(陸上/海上)		
	タイ材	タイロッド材質:高張力690 径: φ25mm	組	1	受杭打設費 胴木取付費 タイロッド取付費 タイワイヤー取付費(陸上/海上) 受杭打設(木杭)		

防波堤•防砂堤•導流堤

工種・種別・細別(レベル2-4)	規格(レベル5):記載例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件:記載例	備考
体工(鋼杭式)						
鋼杭工						
(先行掘削)	_	(本)	1	先行掘削費		
鋼杭	規格:SS400 形式:H250×250×9×14mm 長さ:10m	本	1		運搬距離: 0.3km 打込長区分: 9~12m	
被覆石工						
被覆石	石材種類:大割石	m3	1	被覆石投入費(現場投入渡し)		流用材を海上投入及 び陸上投入する場合 は、別途積上
被覆均し	均し精度: ±50cm	m2	1	被覆均し費(水中/陸上)		
袋詰コンクリートエ	(基礎エ-袋詰コンクリートを適用)					
被覆ブロックエ						
被覆ブロック製作	コンクリート配合:C-● セメント種別:普通ポルトランドセ メント 質量:公称質量2t	個	1	異形ブロック製作費(製作転置含む)		
被覆ブロック据付	質量:公称質量2t	個	1	ブロック据付費(1スイング)	施工: 陸海一貫方式 運搬距離: 陸上運搬2.0km 据付: 海上運搬3.5km	
根固ブロックエ						
根固ブロック製作 (施エパッケージ)	コンクリート配合: C-● セメント種別: 普通ポルトランドセ メント 規格: 5.0 × 2.5 × 1.6m 質量: 42.32t	個	1	根固ブロック製作費 鋼製枠組足場架払費 鉄筋加工組立費 吊鉄筋加工組立費		
根固ブロック製作	コンクリート配合: C-● セメント種別: 普通ポルトランドセ メント 規格: 5.0 × 2.5 × 1.6m 質量: 42.32t	個	1	ルーフィング設置費 鋼製枠組足場架払費 吊鉄筋加工組立費 鋼製型枠組立組外費 コンクリート打設・養生費		
根固ブロック据付	規格:5.0×2.5×1.6m 質量:42.32t	個	1	ブロック転置費 ブロック横持ち費 ブロック据付費(1スイング)	施工: 陸海一貫方式 運搬距離: 陸上運搬2.0km 据付: 海上運搬3.5km	
水中コンクリートエ(本作	- 体工(場所打式)-水中コンク	フリー	トエを			•
	トエ (本体工(場所打式)-					

種・種別・細別(レベル2-4) -	規格(レベル5):記載例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件:記載例	備考
^{部工}						
上部コンクリートエ 「	T			支保組立組外費		
(支保)	_	(m)	1	(重力/鋼矢板/組杭/桟橋式) (陸上/海上)		
(支保【潮待ち】)	_	(m)	1	支保組立組外費 (重力/鋼矢板/組杭/桟橋式) (陸上/海上)		
(足場)	_	(m2)	1	鋼製枠組足場架払費 (重力/鋼矢板/組杭/桟橋式) (陸上/海上)		
(足場)	_	(m)	1	キャットウォーク		
鉄筋	鉄筋材料規格: SD345 径: D16	kg	1	鉄筋加工組立費(陸上/海上) 鋼板製作 溶接費(陸上/海上)		
鉄筋【潮待ち】	鉄筋材料規格: SD345 径: D16	kg	1	鉄筋加工組立費(陸上/海上) 鋼板製作 溶接費(陸上/海上)		
継鉄筋	鉄筋材料規格: SD345 径: D25 長さ: L=1.0m	本	1	コンクリート削孔費 薬液定着アンカー取付費 ワンタッチアンカー取付費 鉄筋加工組立費(陸上/海上)		
(型枠)	_	(m2)	1	鋼製型枠組立組外費 木製型枠組立組外費 (重力/鋼矢板/組杭/桟橋式) (陸上/海上)		
(型枠【潮待ち】)	_	(m2)	1	鋼製型枠組立組外費 木製型枠組立組外費 (重力/鋼矢板/組杭/桟橋式) (陸上/海上)		
伸縮目地	種類:樹脂発泡体厚さ10mm 規格:0.06g/cm3以上級	m2	1	目地材設置費		
伸縮目地【潮待ち】	種類:樹脂発泡体厚さ10mm 規格:0.06g/cm3以上級	m2	1	目地材設置費		
コンクリート	コンクリート配合:C-● セメント種別:普通ポルトランドセ メント+促進剤	m3	1	コンクリート打設費 (ポンプ車/クレーン車/ミキサー車) 配管設置撤去費 コンクリート運搬費 コンクリート打設費 (自積バケット/合費 コンクリート記合費 コンクリートミキサー船拘束 材料接岸積込 コンクリート打設費(コンクリートま キサー船) 基礎砕石敷均 持てコンクリート	海上運搬距離:1.5km 打設量区分:60~120m3/日	
	コンクリート配合:C-● セメント種別:普通ポルトランドセ メント+促進剤		1	コンクリート打設費 (ポンプ車/クレーン車/ミキサー車) 車) 配管設置撤去費 コンクリート運搬費 コンクリート打設費 (自積バケット/台船バケット) コンクリート混合費 コンクリートミキサー船拘束 材料接岸積込 コンクリート計設費(コンクリートミキサー船) 基礎砕石敷均 捨てコンクリート	海上運搬距離:1.5km 打設量区分:60~120m3/日	
(補助ヤード施設)	-	(式)	1式	補助ヤード施設費		
L <mark>部ブロックエ</mark>	T			T		
上部ブロック製作	コンクリート配合: C-● セメント種別: 混合セメント(B種) 寸法: 2.0×2.5×1.5m 質量: 17.25t	個	1	ルーフィング設置費 鋼製枠組足場架払費 内足場架払費 吊鉄筋加工組立費 鋼製型枠組立組外費 コンクリート打設・養生費		
上部ブロック据付	寸法: 3.5×2.5×1.0m 質量: 17.25t	個	1	ブロック転置費(陸上/海上) ブロック横持ち費 ブロック据付費(1スイング) ブロック運搬据付費(陸上連携/ 海上一連/陸海一貫方式)	施工: 陸海一貫方式 運搬距離: 陸上運搬2.0km 据付: 海上運搬3.5km	

防波堤·防砂堤·導流堤

種・種別・細別(レベル2-4)	規格(レベル5):記載例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件:記載例	備考
禹工						
系船柱工						
係船柱	規格:曲柱3t,反射鋲付	基	1	係船柱取付 架台取付 係船柱塗装費		
票識工						
灯標	規格:2m 耐波浪型	個	1	灯浮標設置·撤去費 標識灯設置·撤去費		
点検梯子工						
梯子	規格:ハイパロンゴム巻 t=3mm φ22·SR235	箇 所	1	梯子設置費 手摺設置費		
<u>抗舷材工</u>						
埋込栓	規格:130mmH 新型	組	1	埋込栓取付費(陸上/海上)		
埋込栓【潮待ち】	規格:130mmH 新型	組	1	埋込栓取付費(陸上/海上)		
防舷材	規格:150H 新型 長さ:2.0m テーパー有無:有	基	1	防舷材取付費(陸上/海上) 埋込栓費		
防舷材【潮待ち】	規格:150H 新型 長さ:2.0m テーパー有無:有	基	1	防舷材取付費(陸上/海上) 埋込栓費		
防衝材タラップ	規格:合成ゴム製 150H	基	1	防衝材タラップ取付費(陸上/海上) 上) 埋込栓 手摺設置費		
防衝材タラップ【潮待ち】	規格:合成ゴム製 150H	基	1	防衝材タラップ取付費(陸上/海上) 生) 埋込栓 手摺設置費		
 ■止•縁金物工						
車止	規格:SS400 H=150(180)mm 長さ:1.6m 反射鋲有無:有	本	1	車止取付費 車止塗装(被覆鋼板)費		
縁金物	規格:SS400 ゴム被覆 色:茶色	m	1	縁金物取付費 縁金物塗装(被覆鋼板)費		
皆段工						
階段	_	箇所	1	型枠 コンクリート 転落防止柵取付費		
 方食工	1			1	ı l	
電気防食	陽極規格:	個	1	取付金具製作費 取付費 陽極取付費		
 対属設備工	1			1201-00112X	<u>l</u>	
係船環	規格:SUS304 φ25mm	基	1	係船環		

防波堤·防砂堤·導流堤

ו כעו	区坯"的砂坯"等流坯						
工	種・種別・細別(レベル2-4)	規格(レベル5):記載例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件:記載例	備考
消	· 皮工		<u> </u>	_			
7	先掘防止工	(基礎工-洗掘防止工を適用)					
ii	肖波ブロックエ						
	月波ノロツク製作	コンクリート配合:C-● セメント種別:普通ポルトランドセ メント 質量:公称30t	個	1	異形ブロック製作費(製作転置含む)		
	消波ブロック据付	質量:公称30t	個	1	ブロック据付費(1スイング)	施工: 陸海一貫方式 運搬距離: 陸上運搬2.0km 据付: 海上運搬3.5km	
維打							
ß	方食工						
	電気防食	陽極規格:	個	1	取付金具製作費 取付費 陽極取付費		
	FRPモルタル被覆	径: 長さ: 厚さ:	本	1	足場設置撤去費 下地処理費 防食カバー取付費 モルタル注入費		
	ペトロラタム被覆	_	m2	1	ペトロラタム被覆[足場設置撤去 費(各種)/下地処理費(各種)/被 覆防食費(各種)/端部処理費(各種) 種)] [各種:鋼管杭/鋼矢板/鋼管矢板)]		
糸	推持塗装工			•			
	係船柱塗装	_	m2	1	係船柱塗替費	塗装塗替区分∶錆止+下塗·上塗	
	車止塗装	_	m2	1	車止塗替費	塗替区分:既設亜鉛メッキ補修	
	縁金物塗装	_	m2	1	縁金物塗替費	塗替区分:既設亜鉛メッキ補修	

防波堤・防砂堤・導流堤 工種・種別・細別(レベル2-4)	規格(レベル5):記載例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件:記載例	備考
取壊工						
コンクリート構造物取壊	構造物区分:鉄筋構造物	m3	1	コンクリート取壊費 鉄筋切断費 破砕片除去・積込費 運搬費 処分費	処分場所:○○建設管理部管内 運搬距離:4.7km	
コンクリート取壊(海上)	構造物区分:無筋構造物	m3	1	水中部コンクリート取壊費 破砕片除去・積込費 運搬費 処分費	台船の有無:有 処分場所:〇〇建設管理部管内 運搬距離:4.7km	
舗装版切断	舗装版種別:コンクリート 舗装版厚:20cm	m	1	舗装版切断費	処分場所:〇〇建設管理部管内 運搬距離:4.7km	
舗装版破砕	舗装版種別:コンクリート 舗装版厚:20cm	m2	1	舗装版取壊費 積込費 運搬費 処分費	処分場所:○○建設管理部管内 運搬距離:4.7km	
撤去工		ı		~17 K	1	1
石材撤去	種類: 中割石	m3	1	石材撤去費(ガット船) グラブ床掘 硬土盤床掘 土運船運搬 掛土 土砂運搬		施工断面に許容範証が定められている場合は、海上地盤改良 エのグラブ床掘工を るいは硬土盤・岩盤 床掘工を適用
ブロック撤去	種類: 被覆ブロック 質量: 3t	個	1	ブロック撤去費(1スイング内) (陸上/海上) ブロック撤去・設置・仮置費 (海上一連/陸上連携方式)	施工:陸海一貫方式 運搬距離:陸上運搬2.0km 据付:海上運搬3.5km	
│ │ │ │ │ │ │ │	規格:	枚 or 本	1	鋼矢板・H形鋼杭引抜費 (バイブロハンマ)		仮設工 仮設鋼矢板 工を適用
係船柱撤去	規格:曲柱3t	基	1			
防舷材撤去	規格:150H 新型 長さ:2.0m テーパー有無:有	基	1	防舷材撤去費(陸上)		
防舷材撤去【潮待ち】	規格:150H 新型 長さ:2.0m テーパー有無:有	基	1	防舷材撤去費(陸上)		
車止撤去	規格:SS400 H=150(180)mm 長さ:L=1.6m	本	1	車止撤去費(陸上)		
運搬処理工						
殼運搬	殻種別 : 金属くず 運搬距離 : 4.7km	台	1	運搬費	処分場所:〇〇建設管理部管内	
殼処分	殻種別:廃プラスチック	t	0.1	処分費	処分場所:〇〇建設管理部管内 運搬距離:4.7km	
現場発生品運搬	発生材種別:グレーチング 運搬距離:4.7km	回	1	積込・取卸し・運搬費		
推 <u>工</u>						
現場鋼材溶接工	T	ı	1	1	International Control	1
現場鋼材溶接	_	m	1	アーク溶接費(手動/反自動) (陸上/海上)	継手:突合せ(開先V形) 姿勢:下向 板厚区分:12~16mm未満	
被覆溶接(水中)	_	m	1	水中被覆アーク溶接費	板厚区分:12mm未満	
スタッド溶接(水中)	スタッドボルト径: φ16 長さ:110mm	本	1	水中スタッド溶接費		
現場鋼材切断工			1	ガラ切転弗/吐 L/左 L\	1	1
現場鋼材切断	_	m	1	ガス切断費(陸上/海上) 水中酸素アーク切断	板厚区分:12mm未満	
その他雑工	Τ	-		I	1	T
清掃	- 径:	m2	1	かき落とし費		
削孔	住: 削孔長:	孔	1	コンクリート削孔費		
仮設工						
(全工種共通:仮設工を通	適用) T			1	1	1
	工事内容により、他の工程	種別	(レベ)	↓ ル2, 3)が必要となる場合は	直宜追加すること。	
						1

護岸∙岸壁∙物揚場

工事工種体系化構成表

设开	- "厈笁"彻扬场	•		<u> </u>	里冲	术儿件风衣	ı		1
工種・	種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格 (レベル5)	規格記入例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
海上	地盤改良工	(防波堤・防	砂堤•導流堤:同	司一工	種名を	<u>・</u> を適用)			
基礎	Ĭ	(防波堤•防	· 砂堤•導流堤:[i	司一工	種名名		ı	I	1
	 エ(ケーソン式)		砂堤•導流堤:同			1			,
	エ(ブロック式)		砂堤・導流堤∶№						
						1			
	工(場所打式)		砂堤∙導流堤∶№			1			
本体	エ(捨石式、捨ブロック式)	(防波堤・防	砂堤∙導流堤∶№	司一工	種名を	を適用) 	,		
本体	工(鋼矢板式)	(防波堤•防	砂堤•導流堤:同	司一エ	種名を	を適用)			
本体	工(鋼杭式)	(防波堤•防	砂堤•導流堤:同	司一エ	種名を	- を適用)			•
被覆	・根固工	(防波堤•防	砂堤•導流堤∶№	司一工	種名を	<u>-</u> を適用)			
上部	江	(防波堤・防	砂堤•導流堤:№	司一工	種名?				
付属			砂堤•導流堤:同			I .	I	I	1
消波							1		•
		(的放坯"的	砂堤∙導流堤∶同	미ㅡㅗ	-俚石で	と 週刊 /			
	··								
	込工		引張強度4.410N/3						
	防砂目地板	規格:	51張強度4,410N/3 cm以上 t=2mm	m	1	防砂目地板取付費(陸上/水中)		<u> </u>	
	裏込材	種類:	栗石	m3	1	裏込材投入費(現場投入渡 し)			流用材を海上投 入及び陸上投入 する場合は、別 途積上げする
,	裏込均し	均し精度:	±20cm	m2	1	裏込均し費			是假工(7) U
	吸出し防止材	規格:	880N/5cm以上 t=4.2mm以上 不 織布	m2	1	防砂シート設置費			
	瀬取り	種類:	栗石	m3	1	瀬取り投入費			
	埋工	12770				(自積/台船/二次投入方式)			
	· <u>垤</u> 土 裏埋材	石材種類:	雑割石	m3	1	裏埋材投入費			
	要生物 理土工	11771至7尺。	↑世口17口	1110		表生的以八貝			
	土砂掘削	土質: 運搬距離:	土砂 4.7km	m3	1	掘削(ブルドーザ/バックホウ) 土砂等連搬 (作業土工/残土/土材料) 整地 路体(築堤)盛土 路床盛土 敷均締固 押土(ルーズ) 長込(ルーズ) 人力積込 土材料 残土処分	搬出(流用)先: (運搬距離/整地の 有無): 残土処分費の有無:	〇〇処分場 (4.7km/有) 無	
	土砂盛土	土質: 運搬距離:	土砂 4.7km	m3	1	掘削(ブルドーザ/パックホウ) 土砂等連搬 (作業土工/残土/土材料) 整地 路体(築堤)盛土 路床盛土 財均締固 押土(ルーズ) 積込(ルーズ) 人力積込 人力積料 残土処分	搬出(流用)先: (運搬距離/整地の 有無): 残土処分費の有無:	〇〇処分場 (4.7km/有) 無	
	地盤改良工								
圧	密・排水工	ı		, ,		_	1	1	T
	サンドドレーン	径: 打設長:	ϕ 400 5m	本	1	サンドドレーン費			
	敷砂	種類:	砂	m3	1	敷砂投入費			
	敷砂均し	均し精度:		m3	1	敷砂均し費(水中)			
	載荷土砂	土質:	土砂	m3	1	載荷土砂 (投入費/均し費(水中)/撤去費)			
	ペーパードレーン	材料規格: 打込長:	20m以下	本	1	ペーパードレーン打込費			
		材料規格:		本	1	ペーパードレーン(液状化対策)費			
	ペーパードレーン (液状化対策)	打込長:	20m以下	4		7、1000(成似记列来/夏			
			20m以下	本	1	グラベルドレーン費			

護岸∙岸壁∙物揚場

工事工種体系化構成表

F 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1			<u> </u>	王仲	术心情况私			
・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5	規格記入例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
超工						T.		,
サンドコンパクションパイル	径: 打設長:	ϕ 400 5m	本	1	サンドコンパクションパイル費	:		
敷砂	種類:	砂	m3	1	敷砂投入費			
敷砂均し	均し精度:		m3	1	敷砂均し費(水中)			
盛土土砂撤去	土質:	土砂	m3	1	掘削 土砂等運搬 登地 路体(築堤)盛土 路床:(ルーズ) 積込(ルーズ) 人力積込 土材料 残土等処分 床掘 整正 施整正 舗装版破砕積込(小規模土工)			
_ 18 . 8 £ \$.	径·				埋戻 タンパ締固			
ロッドコンパクション	改良長:		本	1	ロッドコンパクション打込費			
1化工								
深層混合処理杭	改良材料: 杭径: 杭長:	セメントミルク 夕800 8m	本	1	深層混合処理杭打設費	セメント使用量: 深層混合処理船規格:	0.38t/日 2.2m2	
(深層混合処理船拘束)	_		(式)	1	深層混合処理船拘束費	拘束日数:	2日	拘束費対象船 一括積み上げ 上する
敷砂	種類:	砂	m3	1	敷砂投入費			, -
敷砂均し	均し精度:		m3	1	敷砂均し費(水中)			
盛土土砂撤去	種類:	砂	m3	1	掘削 土砂等運搬 整地 路体(築堤)盛土 路床盛土 押土(ルーズ) 積込(ルーズ) 人力積込 土材料 残土等処分 床掘 整正 舗装版破砕積込(小規模土工) 埋戻 タンパ締固			
事前混合処理	_		m3	1	事前混合処理費 試運転調整費 特許使用料 事前混合処理設備 (運搬費/分解·組立費)			
エ								
掘削	土質:	土砂	m3	1	掘削費(ブルドーザ/バックホウ)			
土砂等運搬	土質: 運搬距離:	土砂 4.7km	m3	1	運搬費(作業土工/残土/土材料)	搬出(流用)先: 運搬距離:	〇〇処分場 4.7km	仮置場につい も搬出先と同 に積算条件で 示する
整地	土質:	土砂	m3	1	残土受入れ地での処理費 敷均(ルーズ)			
路体(築堤)盛土	土質:	土砂	m3	1	敷均+締固費 敷均締固費			
路床盛土	土質:	土砂	m3	1	敷均∙締固費			
押土(ルーズ)	土質:	土砂	m3	1	押土(ルーズ)費			
積込(ルーズ)	土質:	土砂	m3	1	積込(ルーズ)費			
人力積込	土質:	土砂	m3	1	人力積込費			
土材料	土質:	土砂	m3	1	土材料費	搬入元:	□□土取場	
残土等処分	土質:	土砂	m3	1	処分費			
業土工(床掘工)	_			1	1			1
(床掘)	土質:	土砂	(m3)	1	床掘費			
(基面整正)			(m2)	1	基面整正費			
(舗装版破砕積込 (小規模土工))	舗装版種別: 舗装版厚:	アスファルト 10cm	(m2)	1	舗装版掘削積込費			
業土工(埋戻工)	_			ı	1	1	T	_
(埋戻) (タンパ締固)	土質:	土砂	(m3)	1	埋戻費			

護岸∙岸壁∙物揚場

一十王 1010				I T I'T	元 10 1年1人1人			
	い2, 3, 4) 規格 (レベル5)	規格記入例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
サイト しゅうしゅ しゅうしゅう しゅう								
床工		T			1	1		
不陸整正			m2	1	路床整地転圧費(機械/人力)	施工規模:	300m2以上	
ı <u>ンクリート舗</u>	装工							
凍上抑制層	江工9序.	0~80mm級切込 砕石 30cm	m2	1	路盤材敷均転圧費 (機械/人力)	施工規模:	300m2以上	
下層路盤	種類: 仕上り厚:	0~40mm級切込 砕石 20cm	m2	1	路盤材敷均転圧費 (機械/人力)	施工規模:	300m2以上	
上層路盤	種類: 仕上り厚:	0~40mm級切込 砕石 20cm	m2	1	路盤材敷均転圧費 (機械/人力)	施工規模:	300m2以上	
(型枠)	_		(m2)	1	型枠組立・組外			
鉄網	規格:	SD295A D6 × 150 × 150mm	m2	1	鉄網			
コンクリート	コンクリート配合: セメント種別: 舗装厚:	C-O 混合セメント(B種) 20cm	m3	1	コンクリート打設 (ポンプ車/クレーン車/ミキサー 車)	打設量区分:	60~120m3/日	N3交通以下
コンクリート	コンクリート配合: はメント種別: 舗装厚:	C-〇 普通ポルトランド セメント 20cm	m2	1	鋼製型枠設置撤去 軌条設置撤去 大型機械舗設費 機械移設費 簡易機械舗設費 人力舗設費 鉄網	施工幅:	3.5m以上	N4交通以上
伸縮目地	種類: 規格:	樹脂発泡体 厚さ10mm 0.06g/cm3以上級	m2	1	目地材設置費			
目地	目地型式:	収縮目地	m	1	膨張目地費 挿入工法収縮目地費 力ッタ工法収縮目地費 縦施工目地費 施工目地費	工法: スリップバー本数:	カッタ工法 235本	
止壁	コンクリート配合: セメント種別: 寸法:	C-O 混合セメント(B種) 幅20cm・高さ60cm	m	1	基礎材 型枠 目地材設置 コンクリート			
'スファルト舗	装工							
凍上抑制層	種類: 仕上り厚:	0~80mm級切込 砕石 30cm	m2	1	路盤材敷均転圧費 (機械/人力)	施工規模:	300m2以上	
下層路盤	種類: 仕上り厚:	0~40mm級切込 砕石 20cm	m2	1	路盤材敷均転圧費 (機械/人力)	施工規模:	300m2以上	
上層路盤	種類: 規格: 舗装厚:	再生アスファルト 安定処理 (車道用) 再生合材混入率 50% 5cm	m2	1	機械舗設費 機械舗設(小規模)費 人力舗設 プライムコート散布費			
基層	種類: 規格: 舗装厚:	再生和和度アス ファルト混合物(車 道用) 再生合材混入率 50%	m2	1	機械舗設費 機械舗設(小規模)費 人力舗設費 タックコート散布費			
表層	種類: 規格: 舗装厚:	将空軸収度ノヘ ファルト混合物(車 道用) 再生材混入率50%	m2	1	機械舗設費 機械舗設(小規模)費 人力舗設費 タックコート散布費			
ヷエ								
〈叩工								
基礎材	種類: 敷厚:	0~80mm級切込 砕石 20cm	m3	1	基礎砕石敷均費			
(型枠)	_		(m2)	1	型枠組立・組外			
伸縮目地	種類: 規格:	樹脂発泡体 厚さ10mm 0.06g/cm3以上級	m2	1	目地材設置費			
コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-O 混合セメント(B種)	m3	1	路盤紙 コンクリート打設費 (ポンプ車/クレーン車/ミキサー 車)	打設量区分:	60~120m3/日	
壁工								
止壁	コンクリート配合: セメント種別: 寸法:	C-O 混合セメント(B種) 幅20cm・高さ60cm	m	1	基礎材 型枠 目地材設置 コンクリート			

護岸∙岸壁∙物揚場

	▪ F 壁 ▼ 初 扬 场		一 一手	╌┷╵	『王 十	术儿悔队衣			
種•	種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格 (レベル5)	規格記入例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
扌水	構造物工								
作	業土工								
[(床掘(掘削))	土質:	土砂	(m3)	1	床掘(掘削)費			
	(床掘)	土質:	土砂	(m3)	1	床掘費			
	(埋戻)	土質:	土砂	(m3)	1	埋戻費			
	(基面整正)	土質:	土砂	(m2)	1	基面整正費			
	(掘削補助機械搬入搬出)			(回)	1	掘削補助機械搬入搬出費			
	(転石破砕)	土質:	土砂	(m3)	1	転石破砕費			
	(積込(ルーズ))	土質:	土砂	(m3)	1	積込(ルーズ)費			
	(人力積込)	土質:	土砂	(m3)	1	人力積込費			
	(人力運搬)	土質:	土砂	(m3)	1	人力運搬費			
	(押土(ルーズ))	土質:	土砂	(m3)	1	押土(ルーズ)費			
	(整地)	土質:	土砂	(m3)	1	整地費			
•	(土砂等運搬)	土質: 運搬距離:	土砂 4.7km	(m3)	1	土砂等運搬費	搬出(流用)先: 運搬距離:	〇〇処分場 4.7km	仮置場について も搬出先と同様 に積算条件を明示する
	(土材料)	土質:	土砂	(m3)	1	土材料費	搬入元:	□□土取場	, ,
側	溝工	l	l .						11
	プレキャストU型側溝	側溝種類:	U300B	m	1	側溝設置費			
•	コルゲートフリューム	形式: 寸法:	A形 700×700mm	m	1	コルゲートフリューム設置費			
	側溝基礎	材料規格:	0~80mm級切込 砕石	m	1	基礎砕石・栗石費 基礎コンクリート費 基礎型枠費			
	自由勾配側溝	種類: 内幅: 内高:	縦断用 330mm 600mm	m	1	側溝設置費底部コンクリート費			
	側溝蓋	設計荷重: 使用区分: 溝幅:	T-25 溝蓋(騒音防止用) 300用	枚	1	蓋板設置費			
管	·渠工	•		•	•				
	PC管	管径: 管長:	φ 600 4000mm	m	1	PC管設置費			
•	ヒューム管(B形管)	管径: 基礎形式: 管種別:	φ600 90°固定基礎 外圧管2種	m	1	ヒューム管設置費			
	暗渠配水管	管種別: 管径:	合成樹脂波状管 φ200	m	1	暗渠排水管設置費			
	鉄筋コンクリート台付管	管径: 管長: 管種別: 基礎形式:		m	1	鉄筋コンクリート台付管設置費			
	巻きコンクリート	巻きコンクリート配合: セメント種別:	C-O 混合セメント(B種)	m3	1	巻きコンクリート 鉄筋 型枠			
	均しコンクリート	コンクリート配合: セメント種別: 敷厚:	混合セメント(B種) 5cm	m2	1	コンクリート打設費・養生費 型枠費	構造物種別: 日打設量区分: 圧送管超過延長: (ポンプ車打設):	無筋構造物	ポンプ車打設の場合のみ圧送り超過延長を明えし、圧送管平均延長のうち30mを超える部分の延長とする
	基礎材	種類: 敷厚:	0~80mm級切込 砕石 30cm	m2	1	基礎材砕石費 基礎栗石費			
	コルゲートパイプ	規格: 管径:	I 型円形 φ600	m	1	コルゲートパイプ設置・撤去費			
L		管径:	ϕ 600			1			1

護岸∙岸壁∙物揚場

表件·序堂·彻扬场			<u> </u>	1里 1平	<u> </u>					
	規格 (レベル5)	規格記入例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考		
集水桝・マンホールエ		•								
現場打ち集水桝	集水桝種類: コンクリート配合: セメント種別:	呑吐口桝鉄筋コン クリート管 φ 600用 (1:1.5) C-O 混合セメント(B種)	箇所	1	現場打集水桝・街渠桝(本体)費 (基礎材20cmまで含む) 鉄筋費					
プレキャスト集水桝	プレキャスト材種類: 作業区分: 製品質量:	650×650×650 据付 250kg	箇所	1	プレキャスト集水桝材料費・ 設置費 (基礎材含む)					
集水桝・マンホール基礎	コンクリート配合: セメント種別:	C-O 混合セメント(B種)	箇所	1	基礎コンクリート費 基礎型枠費					
マンホール	マンホール規格: コンクリート配合: 蓋種類:		箇所	1	基礎材 コンクリート 型枠 鉄筋					
プレキャストマンホール	マンホール規格: 蓋種類:		箇所	1	マンホール設置費					
蓋	蓋種類:	鋼製 T-25 I-A桝 下部桝用 細目	枚	1	蓋材料費					
地下排水工					•					
地下排水	管種別: 管径:	直管 <i>ϕ</i> 100	m	1	暗渠排水管 フィルター材					
現場打水路工	1				l .					
現場打水路	コンクリート配合: セメント種別: 内幅: 内高:	RC-O 混合セメント(B種) 1,000mm 1,000mm	m	1	基礎材 均しコンクリート コンクリート 型終 野地材・止水板					
側溝蓋	設計荷重: 使用区分: 溝幅:		枚	1	側溝蓋設置費					
	/再作:							<u> </u>		
	材質:	波形鉄板			基礎材(根固石含む)					
柵渠	内幅:	1,000mm 1,000mm	m	1	無設置費 親柱設置費(杭材/梁を含む)					
排水工										
小段排水	側溝種類:	鉄筋コンクリートU形	m	1	側溝設置費 撤去費 基礎材					
縦排水	側溝種類:	鉄筋コンクリートU形	m	1	均しコンクリート 型枠 目地材					
止工		•						•		
床掘工	(防波堤・防	砂堤•導流堤:※	毎上 地	h盤改 F	夏工-床掘工を適用)					
排砂管設備工			-		ュー排砂管設備工を過	新田)				
土運船運搬工					マスティック 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日					
工建加建 <u>版工</u> 揚土土捨工	1100 110 110				文工 工建加建城工で加 支工−揚土土捨工を適用					
***			ᄪᆂᆁ	巡巡以上	メエ 物工工行工で廻り	137				
作業土工	(土工を適用	••	ま 7林 ~	- + 7#	 					
基礎捨石工		砂堤•導流堤:基								
					コンクリートエを適用)					
水中コンクリートエ					打式)-水中コンクリート					
鋼矢板工	(防波堤・防	砂堤・導流堤:ス	▶体ユ	(鋼矢	板式)鋼矢板工を適用)				
控工	(防波堤•防	砂堤•導流堤:2	本体エ	(鋼矢	板式)一控工を適用)					
鋼杭工	(防波堤•防	砂堤•導流堤:ス	本体エ	(鋼杭	式)一鋼杭工を適用)					
上部コンクリートエ					コンクリートエを適用)					
<u>エポーン// 1 エー</u> :持補修工		砂堤・導流堤:1								
持補修工 造物撤去工					I .		1			
構造物撤去工 (防波堤・防砂堤・導流堤:同一工種名を適用) 雑工 (防波堤・防砂堤・導流堤:同一工種名を適用)										
				-性名を	r.返用)					
設工	全工程共立	通∶仮設工を適月 T	7 <i>)</i>		<u> </u>					
								-		
	工事内容に	より、他の工種	種別((レベル	・2, 3)が必要となる場	合は適宜追加す	ること。			
	1			<u> </u>	l			l		

桟橋•係船杭

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格 (レベル5)	規格記入例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
海上地盤改良工						•		•
床掘工	(防波堤・防	砂堤•導流堤:※	毎上地	盤改良	良工-床掘工を適用)			
排砂管設備工	(防波堤•防	砂堤•導流堤:※	毎上地	盤改良	良工−排砂管設備工を	適用)		
土運船運搬工	(防波堤・防	砂堤•導流堤:※	毎上地	盤改良	良工−土運船運搬工を	適用)		
揚土土捨工	(防波堤•防	砂堤•導流堤:ス	毎上地	盤改良	良工−揚土土捨工を適	用)		
置換工	(防波堤•防	砂堤•導流堤:ス	毎上地	盤改良	ミエ-置換工を適用)			
圧密・排水工	(防波堤•防	砂堤•導流堤:※	毎上地	盤改良	良工−圧密・排水工を通	5月)		
締固工	1100111110				良工−締固工を適用)			
固化工	(防波堤•防	砂堤•導流堤:ឱ	毎上地	盤改良	ミエ-固化工を適用)			
本体工(鋼杭式)	(防波堤・防	砂堤∙導流堤∶同	司一工	種名を	適用)			
上部工	(防波堤・防	砂堤∙導流堤∶№	司一工	種名を	適用)			
付属工	(防波堤・防	砂堤∙導流堤∶№	司一工	種名を	適用)			
舗装工	(護岸・岸壁	・物揚場∶同一□	工種名	を適用	1)			
維持補修工	(防波堤・防	砂堤∙導流堤∶同	司一工	種名を	適用)			
雑工	(防波堤・防	砂堤∙導流堤∶№	司一工	種名を	適用)			
構造物撤去工	(防波堤・防	砂堤∙導流堤∶№	司一工	種名を	適用)			
仮設工	(全工種共通	通:仮設工を適 用	月)					
_								
	工事内容に	より、他の工種	種別(レベル	 v2, 3)が必要となる均	 場合は適宜追加す	ること。	
			 			1		

船揚場

河口扩	あ 场			<u>- 尹 -</u>	<u>上作</u>	<u> </u>							
	・種別・細別(レベル2, 3, 4)		100111111111111111111111111111111111111	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考				
	上地盤改良工		砂堤∙導流堤∶Ϝ			1	1		1				
基础	楚工	(防波堤•防	砂堤•導流堤:同	司一工	種名を	を適用)							
_	端止壁工												
_	ト中コンクリートエ					打式)-水中コンクリート	・工を適用)						
ţ	易所打コンクリートエ	(防波堤・防	砂堤∙導流堤∶₋	上部工	上部	パコンクリートエを適用) -							
本位	本ブロックエ	(防波堤・防砂堤・導流堤:本体工(ブロック式)を適用)											
鋼台	天板工	(防波堤・防砂堤・導流堤:本体工(鋼矢板式)-鋼矢板工を適用)											
被看	覆∙根固工	(防波堤・防砂堤・導流堤:同一工種名を適用)											
裏記	ك·裏埋工	(護岸・岸壁・物揚場:同一工種名を適用)											
斜趾						•	•		•				
1/2	基礎工		_				_						
	基礎栗石	種類: 敷厚:	栗石50~150mm 20cm	m3	1	基礎栗石投入費							
	基礎栗石均し	均し精度:	±5cm	m2	1	張ブロック下面の基礎均し (陸上部/水中部)							
	基礎砕石	種類: 敷厚:	0~80mm級切込砕石 20cm	m2	1	基礎砕石敷均費							
3	長ブロックエ		1										
	張ブロック製作	コンクリート配合: セメント種別: 寸法: 質量:	C-〇 普通ポルトランド セメント 1.99×1.99×0.3 2.73t	個	1	ルーフィング設置費 鋼製枠組足場架払費 内足場架払費 鉄筋加工組立費 吊鉄筋加工組立費 彌製型枠組立組外費 コンクリート打設・養生費							
	張ブロック据付	寸法: 質量:	1.99 × 1.99 × 0.3 2.73t	個	1	ブロック転置費 ブロック横持ち費 ブロック据付費(1スイング) ブロック運搬据付費 (陸上連携/海上一連方式)	施工: 運搬距離: 据付:	陸上連携方式 陸上運搬2.0km 据付					
3	長コンクリートエ												
	(型枠)	_		(m2)	1	型枠組立・組外							
	伸縮目地	種類: 規格:	樹脂発泡体 厚さ10mm 0.10g/cm3以上級	m2	1	目地材設置費							
	鉄網	規格:	SD295A D6 × 150 × 150mm	m2	1	鉄網							
	コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-O 混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート打設費 (ポンプ車/クレーン車/ミキ サー車)	打設量区分:	60~120m3/日					
1	上壁工		•物揚場:舗装	エー止	壁工を	適用)	•		•				
船記													
1	基礎工		_				_						
	基礎砕石	種類: 敷厚:	0~80mm級切込砕石 20cm	m3	1	基礎砕石敷均費							
3	 長コンクリートエ		 コンクリートエを	 適用)		1						
_	上壁工		·物揚場:舗装			適用)							
排フ	, 水構造物工	(護岸・岸壁	•物揚場:同一.	工種名	を適月	. 用)							
付原			1										
_	骨り材工												
	滑り材	寸法:	高さ68~70mm 幅147~150mm 長さ1,990mm	m	1	滑り材本体取付費 (コンクリート削孔費/アン カー取付費含む)							
1	 寸属設備工	I.	INC 1,330IIIIII	1		22	1	1	1				
_ []	係船環	規格:	SUS304 ϕ 25	基	1	係船環							
土	L L	(護岸・岸壁	•物揚場:同一.	工種名	を適月	. 用)							
打」	· 上工	(護岸・岸壁	•物揚場:同一.	工種名	を適月	· 用)	1						
			砂堤•導流堤:	1									
雑.	1		砂堤•導流堤:										
	<u>-</u> 没工		・ ●: 仮設工を適用 ・		- 1± U (_ ~=-/13/	•						
IX E		工工性大儿	ュー区以上で辿り	IJ/	1	1	ı						
		工事内容に	こより、他の工種	種別	(レベ)	ル2, 3)が必要となる場 	場合は適宜追加す	ること。					

_{用地} 工事工種体系化構成表

月地			<u>- 尹.</u>	<u> </u>	<u>14 </u>			
種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格 (レベル5)	規格記入例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
]地土工	(護岸・岸壁	・物揚場:土工を	·適用)	•	-		
上地盤改良工		- •物揚場: 同一〕			1)			
面工	(成八 八王	13191-91-11-1	-111	ارتضاع	17			
植生工			0	4				
腐植酸種子散布			m2	1	│法面清掃費 │種子散布費			
有機材種子散布			m2	1	法面清掃費			
種子散布	種子規格:		m2	1	ラス張・アンカーピン設置費 種子吹付費			
養生(散水養生)			m2	1	散水養生費			
客土吹付			m2	1	法面清掃費 ラス張・アンカーピン設置費 客土吹付費			
植生基材吹付	工法区分: 吹付厚:	土砂系 5cm	m2	1	法面清掃費 ラス張・アンカーピン設置費 植生基材吹付費			
植生シート	肥料袋の有	無	m2	1	植生シート設置費			
植生マット	無・ 肥料袋の有	有	m2	1	植生マット設置費			
植生筋	無: 芝区分:	人工筋芝(種子帯)	m2	1	芝張費			
張芝	芝区分:	生芝(土工用栽培芝)	m2	1	芝張費			
筋芝	芝区分:	生芝(土工用栽培芝)	m2	1	芝張費			
人工張芝	芝区分:	エと(エエ州 級 4 之 / ワラ付 幅 100 cm	m2	1	芝張費			
植生穴	削孔数:	フラド WHITOOCHI	m2	1	植生穴施工費			
	L11103X.				植生土のう製作			
植生土のう積			m2	1	積立費			
法覆基材工								
すき取り土法覆基材	厚さ: 運搬距離:	15cm 2.0km	m2	1	すき取り土法覆費 積込費 運搬費	運搬距離:	2.0km	
 法面吹付工			1		Z III.			
モルタル吹付	セメント種類: 吹付厚:	普通セメント 10cm	m2	1	モルタル吹付費			
コンクリート吹付	セメント種類: 吹付厚:	普通セメント 15cm	m2	1	コンクリート吹付費			
	火177年。	100111						
現場打法枠	コンクリート配合: セメント種別: 中詰材種類:	RC-1 混合セメント(B種) 植生土のう	m2	1	ル・オリムイド コンクリート 型枠 鉄筋 敷砂利設置費 吸出し防止材設置費 アンカー設置費 人力施工による植生費 足場 足場ルル吹付費/コンクリート吹付			
プレキャスト法枠	寸法: 中詰材種類: シート種類:	1000×1000× 150mm 中詰ブロック 遮水シート	m2	1	サンキャストンロック設直質 敷砂利設置費 モルタル吹付費/コンクリート吹付 費 機械種種施工による植生費 中詰費 人力施工による植生費 コンクリート			
吹付枠	材質: 梁断面サイズ: 中詰材種類 (厚):	コンクリート製 梁断面200×200 コンクリート吹付 (吹付厚15cm)	m2	1	ワ犬 深 및 吹付枠費 水切モルタル・コンクリート費 表面コテ仕上げ費 モルタル吹付費/コンクリート吹付 機械種種施工による植生費 植生土のう製作費 枠内中詰費 トカ能力 トカルでは要する。			
アンカーエ		I	1	<u> </u>	コンカリート	I .	1	1
アンカーエ材料費				4 —15	77			
(アンカー) 削孔(アンカー)	削孔長:	8m	式 m	1式 1	アンカー材料費 削孔費			
アンカー鋼材加工・ 組立・挿入・緊張・ 定着・頭部処理(ア ンカー)	防食方式: 鋼材種別: 設計荷重:	二重防食 PC鋼線より線 400kN	本	1	アンカー鋼材加工・組立・挿入費			
グラウト注入			m3	1	グラウト注入費			
(ボーリングマシン移設)	1		(回)	1	ボーリングマシン移設費			
			(IHI)		ハーリンソ マンノベニマロ			

て東て踊体玄ル構成実

地		I	_事.	工種	体系化構成表			
鍾・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格 (レベル5)		単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
アンカーエ(プレキャス	トコンクリー	~板)						
プレキャストコンク リート板据付			枚	1	プレキャストコンクリート板据付費			
アンカーエ材料費 (アンカー)			式	1式	アンカー材料費			
削孔(アンカー)	削孔径:	ϕ 90	m	1	削孔費			
アンカー鋼材加工・ 組立・挿入・緊張・ 定着・頭部処理(ア ンカー)	防食方式: 鋼材種別: 設計荷重:	二重防食 PC鋼線より線 400kN	本	1	アンカー鋼材加工・組立・挿入費			
グラウト注入			m3	1	グラウト注入費			
(ボーリングマシン移設)			(回)	1	ボーリングマシン移設費			
足場(アンカー)			空m3	1	足場設置·撤去費			
鉄筋挿入工								
鉄筋挿入	鉄筋規格: 削孔長:	φ 22 4m	m	1	鉄筋挿入費 削孔機械の上下移動費			
足場(鉄筋挿入)			空m3	1	足場設置·撤去費			
かごエ								
じゃかご	じゃかご径: 線径: 止杭径:	45cm φ 4.0 15cm	m	1	じゃかご設置費 (法面整形費/床拵え/埋戻を含む)			
	長さ: 詰石種類:	2m 玉石			止杭設置費			
ふとんかご	高さ: 幅: 線径: 詰石種類:	50cm 120cm φ 4.0 玉石	m	1	ふとんかご設置費 (床拵え/埋戻を含む)			
特殊かご	高幅: さ: 線径: さ: 線径: 種類: 計アンカー規格: で: さ:	25cm 100cm 2.0m 3.2mm 不織布 0~80mm級切込砕石 アンカーピンSS400 φ16 500mm	本	1	特殊かご設置費(床拵え/埋戻) 吸出し防止材設置費 アンカービン設置費			
二重ふとんかご	高さ: 幅: 長さ: 長谷: シート種類: 詰石種類:	50cm 120cm 2.0m φ4.0 不織布 0~80mm級切込砕石	本	1	二重ふとんかご設置費 吸出し防止材設置費			床均し/埋戻は別計上する
法面資材小運搬工								
法面資材小運搬	小運搬区分:	砂利	m3	1	法面資材小運搬費			
壁工								
作業土工								
(床掘(掘削))	土質:	土砂	(m3)	1	掘削費			
(床掘)	土質:	土砂	(m3)	1	床掘費			
(埋戻)	土質:	土砂	(m3)	1	埋戻費			
(基面整正)			(m2)	1	基面整正費			
(掘削補助機械搬入搬出)			(回)	1	機械搬入搬出費			
(転石破砕)			(m3)	1	転石破砕費			
(積込(ルーズ))	土質:	土砂	(m3)	1	積込(ルーズ)費			
(人力積込)	土質:	土砂	(m3)	1	人力積込費			
(人力運搬)	土質: 運搬距離:	土砂 20m以下	(m3)	1	人肩運搬費 小車運搬費			
(押土(ルーズ))	土質:	土砂	(m3)	1	押土(ルーズ)費			
(整地)	土質:	土砂	(m3)	1	整地費	搬出(流用)先:	〇〇処分場	仮置場について
(土砂等運搬)	運搬距離:	4.7km	(m3)	1	運搬費	運搬距離:	4.7km	搬出先と同様に 算条件を明示す
(土材料)	土質:	土砂	(m3)	1	土材料費	搬入元:	□□土取場	

用地工事工

也		ユ	_ 争.	丄種	<u>体糸化構成表</u>			
・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格 (レベル5)		単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
死製杭工								
既製コンクリート杭	規格: 径: 長さ:	PHC杭 (A種7m/B種7m) φ400mm 14m	本	1	調音・成袋コンファートが打費 費 カットオフエ費 積込(コンクリート殻)費 鉄筋			
積込(ルーズ)	土質:	土砂	m3	1	積込(ルーズ)費			
人力積込	土質:	レキ質土	m3	1	人力積込費			
整地	土質:	土砂	m3	1	整地費			
土砂等運搬	土質: 運搬距離:	土砂 4.7km	m3	1	運搬費	搬出(流用)先: 運搬距離:	○○処分場 4.7km	仮置場について 搬出先と同様に 算条件を明示す
残土等処分			m3	1	処分場及び受入地での処分費			
殼運搬	殻種別: 運搬距離:	コンクリート(鉄筋) 4.7km	m3	1	殼運搬費	処分場所(運搬距離): 処分場所(運搬距	〇〇建設管理部管内 (4.7km) 〇〇建設管理部管内	
殼処分	殻種別:	コンクリート(鉄筋)	m3	1	処分費	離):	(4.7km)	
鋼管杭	規格: 径: 長さ:	SKK490(t=9mm) φ 400 10m	本	1	鋼管 死製コンクリート杭打費 調管シイルセメント杭打費 杭頭処理溶接費 ガス切断(鋼管杭)費 鉄筋 コンクリート 海枠賃料等 ド形鋼杭賃料等 バイブロハンマ及びウォータージェット併 用施工による打込・引抜費			
(現場取卸(鋼管杭)))		(t)	0.1%	現場取卸費			※1t未満は小 2位止
場所打杭工場所打杭	コンクリート配合: セメント種別: 径: 長さ:	RC-O 普通ボルトランドセメント φ 1,000mm 10m	本	1	ベント振削費 ベント抗体費 杭頭処理費 特所打杭打込費 やぐら設置 撤去費 リバース杭中費 鉄筋 リバース杭コンクリート費 スラッシュタンク費 場所打杭打込費 鉄筋かご モルタル レ刑の押状料券			
積込(ルーズ)	土質:	土砂	m3	1	H型鋼材料費 積込(ルーズ)費			
人力積込	土質:	レキ質土	m3	1	人力積込費			
整地	土質:	土砂	m3	1	整地費			
土砂等運搬	土質: 運搬距離:	土砂 4.7km	m3	1	運搬費	搬出(流用)先: 運搬距離:	〇〇処分場 4.7km	仮置場について 搬出先と同様に 算条件を明示す
残土等処分			m3	1	処分場及び受入地での処分費			37 MATT C 333-7
殼運搬	殻種別: 運搬距離:	コンクリート(鉄筋) 4.7km	m3	1	殼運搬費	処分場所(運搬距 離):	〇〇建設管理部管内 (4.7km)	
	殻種別:	コンクリート(鉄筋)	m3	1	処分費	処分場所(運搬距	〇〇建設管理部管内	
泥水処理	処分費の有無		m3	1	濁水処理設備設置·撤去 保守点検費 運転費 汚泥吸排車運転費 汚泥処分費	離):	(4.7km)	
易所打擁壁工(構造物 小型擁壁 重力式擁壁	形式: 本体コンクリート配合: セメント種別: ささ: 複様(化粧型枠): 本体コンクリート配合: セメント種別: 高さ:	重力式擁壁 C-〇 普通ポルトランドセ メント 0.5m C-4P 混合セメント(B種) 3.0m	m3	1	- 場所打擁壁工(1) コンクリート費(基礎材 - 均し 型枠設置・撤去 - 均しコンク	基礎材の有無: 均しコンクリートの有無: クレーン規格(小型 擁壁(B)):	有有	小型擁壁(B) 場合のみクレン規格を明示
もたれ式擁壁	####################################	石積模様 C-4P 混合セメント(B種) 3.0m	m3	1	リート打設・養生ー足場設置・撤去ー型枠設置・撤去 ー目地材ー水抜きパイプーコンクリート打設・養生一吸出防止材を含む)	基礎材の有無: 均しコンクリートの有無: 目地材の有無:		ポンプ車打設場合のみ圧減超過延長を明
逆T型擁壁	本体コングリート 配合: セメント種別: 高さ: 模様(化粧型枠)・ 本体コングリート	RC-2-1 混合セメント(B種) H=4~5m	m3	1	化粧型枠加算費 鉄筋ガス圧接費	水抜パイプの有無: 吸出防止材の有無: 足場種類: 圧送管超過延長:		─し、圧送管平 延長のうち30 を超える部分 延長とする
L型擁壁	本体コンソソート 配合: セメント種別: 高さ: 模様(化粧型枠);	RC-2-1 混合セメント(B種) 3.0m	m3	1				
裹込砕石	種類:	0~80mm級切込砕石	m3	1	裏込材設置費			
止水板	種類:	C-F	m	1	止水板設置費			
	寸法:	230 × 9mm			化粧空桴質	1# \# 4L 1Z D.I	from Arter Little NA- 44-	
(化粧型枠)	模様: コンクリート配合: セメント種別:	石積模様 C-O	(m2) m3	1	化粧型枠製作・設置・撤去 豊 コンクリート材料費	構造物種別:	無筋構造物	
排水材	セメント種別: 種類: 寸法:	混合セメント(B種) 線状排水材 厚さ50mm	m	1	排水材設置費			
	1 1 7 7 7 1	幅250mm	1	1	1		1	1

_{用地} 工事工種体系化構成表

重・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)		単位	数位	体系化構成表	明示すべき積算条件	記載例	備考
場所打擁壁工	MITE (D 1700)	ASCID BUSCOS	+12	タロ	十個情况[7]	が かって 仮弁不口	日七年次 [7]	DHI. CZ
	種類:	0~80mm級切込砕石	_		基礎材設置費			
基礎材	敷厚:	30cm	m2	1	採取小割費			
均しコンクリート	コンクリート配合: セメント種別: 敷厚:	C-Δ 混合セメント(B種) 5cm	m2	1	コンクリート 型枠	構造物種別: 日打設量区分: 圧送管超過延長: (ポンプ車打設):	無筋構造物 100m3未満 12m	ポンプ車打設の 合のみ圧送管起 延長を明示し、「
コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	RC-2-1 普通ポルトランドセメント	m3	1	コンクリート打設・養生費 (場所打ち擁壁エ(2)) ペーラインコンクリート材料 費	構造物種別: 日打設量区分: 圧送管超過延長: (ポンプ車打設):	無筋構造物 100m3未満 12m	管平均延長のう 30mを超える部 延長とする
鉄筋	跃肋材料規格: 径:	SD345 D16	t	0.01	鉄筋材料・加工・組立費 ガス圧接費			
(型枠)	模様(化粧型 枠):	石積模様	(m2)	1	型枠設置·撤去費 化粧型枠加算費			
処分費	1177		m3	1	処分費			
(足場)	種類: 安全ネット:	手摺先行型枠組足場 有	(掛m2)	1	足場設置·撤去費			
目地材	種類: 規格:	樹脂発泡体 厚さ10mm 0.10g/cm3以上級	m2	1	目地材設置費			
止水板	種類: 寸法:	C-F 230 × 9mm	m	1	止水板設置費			
水抜パイプ	管種類: 径: フィルター材:	VU管 <i>ϕ</i> 50 パットフィルター	m	1	水抜きパイプ材料費 フィルター材			
吸出し防止材	規格:	880N/5cm以上 t=4.2mm以上 不織布	m2	1	吸出防止材設置費			
排水材	種類: 寸法:	線状排水材 厚さ50mm 幅250mm	m	1	排水材設置費			
」 プレキャスト擁壁エ		THE CONTINU				1		
プレキャスト擁壁	ブロック規格: 高さ:	L型 2.5m	m	1	プレキャスト擁壁設置費(基礎材/均 し型枠設置・撤去/均しコンクリート 打設・養生/敷モルタル費を含む) 排水材設置費			
排水材	種類: 寸法:	線状排水材 厚さ50mm 幅250mm	m	1	排水材設置費			
- 帯鋼補強土壁・アンカ・			1	ı	1	1	1	
	コンクリート配合:	C-Δ			基礎材			
補強土壁基礎	セメント種別: 底幅: 高さ:	混合セメント(B種) 50cm 30cm	m	1	コンクリート 型枠 採取小割費			
補強土壁壁面材 組立・設置	壁面材種類:	鋼製ユニット	m2	1	壁面材(設置費/材料費)			
補強材取付	敷設材種類:		m	1	補強材(敷設/材料費)			
まき出し・敷均・締固			m3	1	まき出し・敷均・締固費 土材料費			
採取土盛土材	土質: 運搬距離:	土砂 4.7km	m3	1	押土(ルーズ)費 積込(ルーズ)費 運搬費			
壁面上端処理	コンクリート配合: セメント種別: 幅:	RC-ム 混合セメント(B種) 30cm	m	1	コンクリート 型枠 鉄筋			
排水管敷設	管種別: 管径: フィルター材:	合成樹脂全面透水管 φ150 0~80mm級切込砕石	m	1	足場 暗渠排水管設置費			
→ ジオテキスタイル補強		+		-	1	1	1	l .
	ユ・エ・エーコンクリート配合:	C-A			基礎材			
補強土壁基礎	セメント種別: 底幅: 高さ:	混合セメント(B種) 50cm 30cm	m	1	コンクリート 型枠 採取小割費			
ジオテキスタイル壁面材 組立・設置	壁面材種類:	鋼製ユニット	m2	1	壁面材(設置費/材料費)			
ジオテキスタイル敷設	敷設材種類:		m2	1	ジオテキスタイル(敷設/材料費)			
まき出し・敷均・締固			m3	1	まき出し・敷均・締固費 土材料費			
採取土盛土材	土質: 運搬距離:	土砂 4.7km	m3	1	押土(ルーズ)費 積込(ルーズ)費 運搬費			
壁面上端処理	コンクリート配合: セメント種別:	RC-ム 混合セメント(B種) 30cm	m	1	コンクリート 型枠 鉄筋			
	幅: 管種別:	合成樹脂全面透水管			足場			
排水管敷設	管径: フィルター材:	□ 成倒加至面远水管 φ 150 0~80mm級切込砕石	m	1	暗渠排水管設置費			

用地

_						11 714 10 111774 24			
工種	₫・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格 (レベル5)	規格記入例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
L	山留式擁壁工								
	H形鋼	規格: 寸法: 長さ:	SS400 250 × 250 × 9 × 14mm 6m	本	1	削れ費 H形鋼建込費(H形鋼材料費を含む) 式内洗浄費 コンクリート・モルタル打設費			
	コンクリート板	規格・呼び名: 設計曲げモーメント:	SP-1 設計曲げモーメント3.4k N・m/m	m2	1	コンクリート板設置費			
	裹込砕石	種類:	0~80mm級切込砕石	m3	1	裏込材設置費			
	壁面上端処理	コンクリート配合: セメント種別: 幅:	RC-ム 混合セメント(B種) 30cm	m	1	コンクリート 型枠 鉄筋 足場			
	排水管敷設	管種別: 管径: フィルター材:	合成樹脂全面透水管 φ150 0~80mm級切込砕石	m	1	暗渠排水管設置費			
排	水構造物工	(護岸・岸壁	・物揚場∶同一コ	L種名	を適用])			
表面	面処理工								
	アスファルト舗装工								
	凍上抑制層	種類: 仕上り厚:	0~80mm級切込砕石 12cm	m2	1	路盤材敷均転圧費(機械/人力)	施工規模:	300m2以上	
	下層路盤	種類: 仕上り厚:	0~40mm級切込砕石 15cm	m2	1	路盤材敷均転圧費(機械/人力)	施工規模:	300m2以上	
	表層	種類: 規格: 舗装厚:	再生細粒度アスファ ルト混合物(車道用) 再生材混入率50% 3cm	m2	1	機械舗設費 機械舗設(小規模)費 人力舗設費 タックコート散布費			
1	夏土工								
	敷砂利	種類: 厚さ:	0~80mm級切込砕石 15cm	m2	1	敷均(ルーズ)費			
	覆土	_		m3	1	覆土材購入費または採取費 (搬入費を含む) 敷均(ルーズ)費			
仮記	没工	(全工種共通	通:仮設工を適用])					
		工事内容に	より、他の工種	種別(レベル	2,3)が必要となる場合	合は適宜追加する	المحادث	

道路

工事工種体系化構成表

坦 蹈					<u> </u>	<u>作里</u>	<u> 作术に開ルな</u>			
工種・	種別	リ・細別(レベル2, 3, 4)	規格 (レベル5)	規格記入例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
(「±	:木	工事工種体系化	の手引き」に	よる)						「土木工事積算基準」 を適用する
			事内容により	り、他の工種種	別(レベ	ル2, 3)が必要となる	場合は適宜追加	すること。	

_{突堤} 工事工種体系化構成表

癸 足			尹上作	<u> 単147</u> 7	<u> </u>	ξ		
工種・種別・細別(レベ	ル2, 3, 4) 規格 (レベ				単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
(防波堤:対応工	種を参照)							,
	- 東中央		£ 25€ Dil / I	* " 0	のとなるました。	7.担人让英南位加	+7 = L	
	工事内容	により、他の工程	種別(レ	·^)\\\2	, 3)か必安とはや 	る場合は適宜追加 	9 8-2.	

⋰防・護岸・胸壁			浬14	· / / / /	<u> 匕構成表(漁港</u>	<i>``</i> ##		
種・種別・細別(レベル2, 3, 4	規格 (レベル5)		単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
岸土工	•	•			•			•
掘削工								
掘削	土質:	土砂	m3	1	掘削·積込費			
土砂等運搬	土質:	土砂	m3	1	運搬費	搬出(流用)先:	〇〇処分場	仮置場について
軟弱土等運搬	運搬距離:	4.7km 土砂	m3	1	運搬費	運搬距離: 搬出(流用)先:	4.7km ○○処分場	搬出先と同様に 算条件を明示す
	運搬距離:	4.7km	1113	'	建	運搬距離:	4.7km	
整地	土質:	土砂	m3	1	整地費			
転石破砕			m3	1	転石破砕費			
押土(ルーズ)	土質:	土砂	m3	1	押土(ルーズ)費			
積込(ルーズ)	土質:	土砂	m3	1	積込(ルーズ)費			
人力積込	土質:	土砂	m3	1	人力積込費			
盛土工								
路体(築堤)盛土	土質:	土砂	m3	1	敷均/締固費			
路床盛土	土質:	土砂	m3	1	敷均/締固費			
土砂等運搬	土質: 運搬距離:	土砂 4.7km	m3	1	運搬費	搬出(流用)先: 運搬距離:	〇〇処分場 4.7km	仮置場について 搬出先と同様に 算条件を明示す
整地	土質:	土砂	m3	1	整地費			
押土(ルーズ)	土質:	土砂	m3	1	押土(ルーズ)費			
積込(ルーズ)	土質:	土砂	m3	1	積込(ルーズ)費			
人力積込	土質:	土砂	m3	1	人力積込費			
土材料	土質:	土砂	m3	1	土材料費	搬入元:	□□土取場	
法面整形工		<u> </u>				<i>MAP</i> 170:		
法面整形(切土部)	土質:	砂質土	m2	1	法面整形費			
		DAT		<u> </u>	法面整形費			
法面整形(盛土部)	_		m2	1	土材料費			
残土処理工								
整地	土質:	土砂	m3	1	整地費			
土砂等運搬	土質: 運搬距離:	土砂 4.7km	m3	1	運搬費	搬出(流用)先: 運搬距離:	〇〇処分場 4.7km	仮置場について 搬出先と同様に 算条件を明示す
残土等処分	土質:	土砂	m3	1	処分場及び受入地での処分費			
量盛土工								
·圭·· 軽量盛土工								
	発泡スナロー	1	l		発泡スチロール設置工	1		1
軽量盛土	ルブロック規 <u>格・</u> コンクリート配	難燃性	m3	1	(排水材・基礎砕石・敷砂含む)			
コンクリート床版	コンケリード記 合: セメント種別: 厚さ:	C-△ 混合セメント(B種) 10cm	m3	1	コンクリート打設・養生費(型枠、目地材を含む)			
基礎コンクリート	コンクリート配 合: セメント種別:	C-O 混合セメント(B種)	m	1	基礎材設置費 コンクリート打設費 型枠 鉄筋材料・加工・組立費			
支柱	支柱規格:	SS400・H300× 300mm ・長さ5.0m	本	1	支柱設置費			
壁面材	壁面材規格:	2.0m×0.5m	m2	1	壁面材設置費			
<u></u> 裹込砕石	種類:	0~80mm級切込	m3	1	裏込材設置費			
	EM.	砕石	1110	·	X2 HIXEX			
盤改良工								
表層安定処理工	_							
サンドマット	砂材料費:	有	m3	1	サンドマット設置費			
安定処理	固化材種類: 100m2当り使 用量: 混合深さ:		m2	1	固化材散布 混合 敷均/締固費			
置換	置換材料:	0~80mm級切込砕石	m3	1	押土(ルーズ) 積込(ルーズ費 掘削 運搬 置換材料費	搬出(流用)先: 運搬距離:	〇〇処分場 4.7km	仮置場について 搬出先と同様に 算条件を明示す

仿∙護岸∙胸壁 		<u> </u>	<u>性14</u>	<u>\ </u>	<u> </u>	<u> </u>		
・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格 (レベル5)	規格記入例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
パイルネットエ	•				•	•		
既製コンクリート杭	規格: 径: 長さ:	PHC杭 (A種7m・B種7m) φ400mm 14m	本	1	既製コンクリート杭打込費 カットオフ費 杭頭処理費 中詰コンクリート打設費	工法区分: 打込(掘削)長区分: ヤットコ使用の有 無: 杭吊込用機種計上 区分:	中掘(グラウト式) 16m~32m	中掘の場合はヤトコ使用の有無は トコ使用の有無は 吊込用機種計上 分については明 しない。
殼運搬	殻種別: 運搬距離:	コンクリート(鉄筋) 4.7km	m3 or t	1	殼運搬費	処分場所(運搬距 離):	〇〇建設管理部管内 (4.7km)	
殼処分	殻種別:	コンクリート(鉄筋)	m3 or t	1	処分費	処分場所(運搬距 離):	〇〇建設管理部管内 (4.7km)	
木杭	末口径: 長さ:	15cm 3m	本	1	木杭打込費			
連結鉄筋	跃肋材料規格: 格: 经·	SD345 D16~25	t	0.01	鉄筋加工・組立費 ガス圧接費			
サンドマット	砂材料費:	有	m3	1	サンドマット設置費			
ベーチカルドレーンエ	II.	1		ı	•	•	•	
サンドドレーン	径: 打設長:	φ 400 20m	本	1	サンドドレーン費			
ペーパードレーン	種別: 幅: 打設長:	カードボード 100mm 10m	本	1	ペーパードレーン費			
帝固改良工		1		ı	•	•		
	径:	φ 400	_	4	サンドコンパクションパイル			
ンパイル	打設長:	20m	本	1	費			
固結工								
粉体噴射攪拌	改良材料: 径: 打設長: 杭長:	in i	本	1	粉体噴射撹拌費 特許料	特許料の有無: 施工区分:	有単軸施工	標準機種が設定れていないため エ区分を明示する。
初体唄别攬扦(流		T 4m	式	1式	掘削費			
 垣) (粉体噴射攪拌(移設))			(式)	1式	粉体噴射攪拌機移設費			
(粉体噴射攪拌(軸間変更))			(式)	1式	粉体撹拌機軸間変更費			
スラリー攪拌	改良材料: 径: 打設長: 杭長:	セメントミルク	本	1	スラリー攪拌 ブラント現場内移設 積込(ルーズ) 処分費及び受入地での処 分費			
高圧噴射攪拌	注入材料: 注入長: 土被長:	モルタル 15m 5m	本	1	高庄唄羽視杆頁 特許料 注入設備据付·解体·移設 費 足場 注泥加公惠	特許料の有無:	有	
中層混合処理	改良材料: 改良深度:	普通ポルトランドセメント 3m	m3	1	中層混合処理機運転費 スラリープラント運転費 特許料	特許料の有無:	有	
薬液注入	改良材種類: 改良長:	水ガラス系 15m	本	1	一里官ストレーノル工具 二重管ダブルパッカー施工 費 注入設備据付・解体費 注入設備移設費 足場 に記事	特許料の有無:	有	
₌ 基礎工								
作業土工 「業土工								
(床掘(掘削))	土質:	土砂	(m3)	1	掘削・積込費			
(床掘)	土質:	土砂	(m3)	1	床掘費	1		
(埋戻)	土質:	土砂	(m3)	1	埋戻費			
(基面整正)	-R.	_ P	(m2)		基面整正費			
			<u> </u>	1		1		
(掘削補助機械搬入搬出)	1		(回)	1	機械搬入搬出費			
(転石破砕)		ļ	(m3)	1	転石破砕費	-		-
(積込(ルーズ))	土質:	土砂	(m3)	1	積込(ルーズ)費	ļ		
(人力積込)	土質:	土砂	(m3)	1	人力積込費			
(人力運搬)	土質: 運搬距離:	土砂 20m以下	(m3)	1	人肩運搬費 小車運搬費			
(押土(ルーズ))	土質:	土砂	(m3)	1	押土(ルーズ)費	1		
(整地)	土質:	土砂	(m3)	1	整地費			
(土砂等運搬)	土質: 運搬距離:	土砂 4.7km	(m3)	1	運搬費	搬出(流用)先: 運搬距離:	〇〇処分場 4.7km	仮置場について 搬出先と同様に 算条件を明示す
(土材料)	土質:	土砂	(m3)	1	土材料費	搬入元:	□□土取場	3
						LING A. A.	11 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	

防∙護岸∙胸壁	1				<u> と構成表(漁港</u>		T	
重・種別・細別(レベル2, 3, 4)規格 (レベル5)	規格記入例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
洗 <u>掘防止工</u>	_				1		1	
洗掘防止	材質: 寸法:	アスファルトマット 8m×2m	m2	1	アスファルトマット設置費 帆布設置費 合成樹脂マット設置費			
グラベルマット	石材種類:	中割石	m3	1	石材投入費(海上現場投入 渡し) 陸上投入費(直接/バックホウ/ラフテレーンクレーン/クラムシェル投入)			流用材を海上投及び陸上投入す場合は、別途積げする
グラベルマット均し	均し精度:	±50cm	m2	1	捨石均し費(水中/陸上)(海 岸)			
大型網かご製作	網かご種別: 寸法: 詰石種類:	10t型 吊ワイヤ付 3×2×1m 中割石	個	1	大型網かご製作費			
大型網かご据付	網かご種別: 寸法:	10t型 吊ワイヤ付 3×2×1m	個	1	大型網かご横持ち費 大型網かご据付費(1スイング) 大型網かご運搬据付費(陸 上連携/海上一連/陸海一	施工: 運搬距離: 据付:	陸海一貫方式 陸上運搬2.0km 海上運搬3.5km 据付	
	1			l	雪七士/			I
基礎捨石	石材種類:	中割石	m3	1	石材投入費(海上現場投入 渡し) 陸上投入費(直接/バックホウ/ラフテレーン/クラムシェル投入)			流用材を海上打及び陸上投入 場合は、別途科 げする
捨石本均し	均し精度:	±5cm	m2	1	捨石均し費(水中/陸上)			
捨石荒均し	均し精度:	±30cm	m2	1	捨石均し費(水中/陸上)			
捨石本均し(海岸)	均し精度:	±5cm	m2	1	捨石均し費(水中/陸上)(海岸)			
捨石荒均し(海岸)	均し精度:	±30cm	m2	1	捨石均し費(水中/陸上)(海岸)			
表面均し			m2	1	表面均し費			
	1	•		ı	•	•	•	•
被覆石	石材種類:	大割石	m3	1	石材投入費(海上現場投入 渡し) 陸上投入費(直接/バックホ ウ/ラフテレーンクレーン/ク ラムシェル投入)			流用材を海上排及び陸上投入場合は、別途科げする
被覆均し(海岸)	均し精度:	±50cm	m2	1	被覆均し費(水中/陸上)			
袋詰コンクリートエ								
袋詰コンクリート	コンクリート配 合: セメント種別・	C-O 混合セメント(B種)	m3	1	袋詰コンクリート費	麻袋計上有無:	有	
基礎ブロックエ								
基礎ブロック製作	コンクリート配 合: セメント種別: 寸法: 質量:	C-〇 混合セメント(B種) 2.0×2.5×1.5m 17.25t	個	1	ルーフィング設置費 鋼製枠組足場架払費 内足場架払費 鉄筋 吊鉄筋加工組立費 鋼製型枠組立組外費 コンクリート打設費			
基礎ブロック据付	寸法: 質量:	2.0 × 2.5 × 1.5 _m 17.25t	個	1	フロック転回覧 ブロック横持ち費 ブロック据付費(1スイング) ブロック運搬据付費(陸上連携/海上一連/陸海一貫方	施工: 運搬距離: 据付:	陸海一貫方式 陸上運搬2.0km 海上運搬3.5km 据付	
場所打コンクリートエ								
コンクリート	コンクリート配 合: セメント種別:	C-〇 混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート打設費	構造物種別: 日打設量区分: 圧送管超過延長:		ポンプ車打設の合のみ圧送管 延長を明示し、 送管平均延長 ち30mを超える の延長とする
鉄筋	鉄筋材料規格: 径:	SD345 D16	t	0.01	鉄筋加工・組立費 ガス圧接費もしくは機械継 手費			
止水板	種類: 寸法:	C-F 230 × 9mm	m	1	止水板設置費			
目地材	種類: 規格:	樹脂発泡体 厚さ10mm 0.06g/cm3以上級	m2	1	目地材設置費			
(型枠)	_		(m2)	1	型枠設置撤去費	構造物種別:	無筋構造物	
処分費	1		m3	1	処分費			

≧防・護岸・胸壁		<u> </u>	連亿	「 <u>米</u> 7	<u> </u>	<u> 海岸) </u>		
種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格 (レベル5)		単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
海岸コンクリートブロッ	クエ							
海岸コンクリートブ ロック製作	コンクリート配合: コンクリート種別: 公称質量:	C-O 混合セメント(B種) 2t	個	1	ブロック製作費 鉄筋 ブロック給熱養生費 特許料			
海岸コンクリートブ ロック据付	公称質量:	2t	個	1	消波ブロック設置(海岸) ブロック転置費(陸上/海上) ブロック機持ち費 ブロック据付費(1スイング) ブロック運搬据付費(陸上連携/ 海上一連/陸海一貫方式)	施工: 運搬距離: 据付:	陸海一貫方式 陸上運搬2.0km 海上運搬3.5km 据付	
笠コンクリートエ	•							•
笠コンクリート	コンクリート配 合: セメント種別: 底幅: 高さ:	C-〇 混合セメント(B種) 50cm 50cm	m	1	基礎材 コンクリート 型枠 鉄筋 目地材	構造物種別: 日打設量区分: 圧送管超過延長:		ポンプ車打設の 合のみ圧送管起延長を明示し、 送管平均延長の ち30mを超える部 の延長とする
プレキャスト笠コン クリート	底幅: 高さ:	50cm 50cm	m	1	笠コンクリート材料費 設置費			
基礎工			1	ı	1	•		
現場打基礎	コンクリート配合: セメント種別: 底幅: 高さ:	C-O 混合セメント(B種) 50cm 50cm	m	1	現場打基礎コンクリート鉄筋材料・加工・組立			
プレキャスト基礎	底幅: 高さ:	50cm 50cm	m	1	プレキャスト基礎材料費 設置費			
基礎栗石	種類: 敷厚:	栗石50~150mm 20cm	m2	1	基礎栗石費			
中詰コンクリート	コンクリート配 合: セメント種別・	C-O 混合セメント(B種)	m3	1	中詰コンクリート費			
中詰コンクリート殻			m3	1	材料費 中詰材投入費			
矢板工	•							
鋼矢板	鋼矢板規格: 型式: 長さ:	SYW295 IV型 10m	枚	1	導材賃料等・設置撤去費 鋼矢板・鋼管矢板 (材料費/荷卸費/運搬費) 鋼管矢板打設費 (ディーゼルハンマ/油圧ハンマ) (陸上/海上)	工法区分:	ウォータージェット併用	バックホウ装着バイブロハンマス
広幅鋼矢板	広幅鋼矢板規格: 型式: 長さ:	SYW295 IVw型 10m	枚	1	・杭打船ハンマ付替 鋼矢板打設費(パイプロハンマ) (陸上/海上) 杭打船拘束費 鋼矢板・鋼管矢板切断費 鋼矢板打散(U型矢板/組合せ矢板) (油圧ハンマ/ディーゼルハンマ)	打込長区分:	油圧式バイブロハンマ 9~12m	場合、打込長区については明示ない。
鋼矢板防食	陽極規格:		個 or m2	1	①電気防食【取付金具製作費/取付費/陽極取付費】 (2ペトロラタム被覆【足場設置撤去費各種//下地処理費(各種//被覆防食費(各種//端部処理費(各種)] 【各種:鋼管杭/鋼矢板/鋼管矢板/			
腹起	溝形鋼規格:	SS400 125 × 65 × 6 × 8mm	m	1	腹起材料費 腹起材設置費(陸上/海上)			
タイ材	タイロッド材 質: 径:	高張力690	組	1	受枠打設費 胴木設置費 タイロッド設置費 タイワイヤー設置費(陸上/海上)			
控え版	コンクリート配 合: セメント種別: 底幅: 高さ:	C-O 混合セメント(B種) 50cm 150cm	m	1	基礎材費 コンクリート 型枠 鉄筋 目地材			

_	ī∙護岸∙胸壁 -					<u> と構成表(漁港</u>			
種•	種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格 (レベル5)	規格記入例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
水	中コンクリートエ								
	(岩盤基面整正)	岩質:	中質	(m2)	1	岩盤基面整正費			
	(岩盤等掻均し)	_		(m2)	1	かき落とし費 (陸上施工/海上施工)			
	(足場)	_		(m2)	1	鋼製枠組足場架払費			
	(型枠)	_		(m2)	1	鋼製型枠組立組外費 (陸上施工/海上施工)	施工機種:	起重機船鋼D25t吊	
	漏洩防止材	シート種類: 引張強度:	織布 1,260N/3cm以上	m2	1	漏洩防止シート設置費			
	水中コンクリート	コンクリート配 合: セメント種別:	C-O 混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート連版質 水中コンクリート打設・養生 費 (ケー・ハグ/ポンプ車)	日打設量区分:	100m3/日以上	
	H形鋼	材質: 寸法: 長さ:	SS400 H100×100×6×8mm 1.0m	本	1	H形鋼費			
	(ケーシング損料)	_		(式)	1式	ケーシング賃料等	ケーシング長: 供用日数:	5.1m 28日	
	(配管設置撤去)	_		(m)	1	配管設置撤去費(水中/陸上)	施工機種:	起重機船鋼D25t吊	
	(配管損料)	_		(式)	1式	配管賃料等	配管超過延長区分 運転日数区分 日打設量区分 曲管本数区分	65m 39日 100m3/日以上 2本	
水	中不分離性コンクリ	ートエ							
	(型枠)	_		(m2)	1	鋼製型枠組立組外費 (陸上施工/海上施工)	施工機種:	起重機船鋼D25t吊	
	水中不分離性コンクリート	コンクリート配 合: セメント種別:	C−O 混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート運搬費 水中コンクリート打設(ポンプ車)	日打設量区分:	100m3/日以上	コンクリート運動は上部工を適所る
法	被覆工								
基	.礎砕石工								
	吸出し防止材	規格:	880N/5cm以上 t=4.2mm以上 不織 布	m2	1	吸出防止材設置費			
	基礎材	種類: 敷厚:	0~80mm級切込砕石 30cm	m2	1	基礎砕石費 基礎栗石費			
基	。礎栗石工								
	基礎栗石	種類: 敷厚:	栗石50~150mm 20cm	m2	1	基礎栗石費			
	基礎栗石均し	均し精度:	±5cm	m2	1	基礎架石均し質(水中/陸 ト)			
石	積(張)工(構造物単	<u>.</u> 位)							
	石積(張)基礎	コンフリート配合: セメント種別: 底幅: 高さ:	C-O 混合セメント(B種) 30cm 50cm	m	1	現場打ち基礎コンクリート費			
	プレキャスト基礎	底幅: 高さ:	50cm 50cm	m	1	プレキャスト基礎材料費 設置費			
	基礎材	種類: 敷厚:	0~80mm級切込砕石 30cm	m2	1	基礎砕石費 基礎栗石費			
	中詰コンクリート	コンクリート配合: セメント種別・	C-O 混合セメント(B種)	m3	1	中詰コンクリート打設費			
	石積	構造区分: シート種類:	空積み 河川護岸用 吸出し防止シート	m2	1	石材 改 回 負 裏 込材費 胴 込・裏 込 コンクリート 打設 費 目 地材 水 抜きパイプ設置費			
	天端コンクリート	コンクリート配 合: セメント種別:	C-10 混合セメント(B種)	m3	1	天端コンクリート打設費			
	目地材	種類: 規格:	樹脂発泡体 厚さ10mm 0.06g/cm3以上級	m2	1	目地材設置費			

方・護岸・胸壁 ・種別・細別(レベル2, 3, 4)相枚 (レベル5)		<u>*</u> 里 14	数位	上構成表(漁港	/四ノ干ノ 明示すべき積算条件	記載例	備考
積(張)工	PATIE (D. 1700)	が が	丰位	双江	平岡将次門台	の かって (日本木)	口口 年及 [7]	IH 75
石積(張)基礎	コンクリート配合: セメント種別: 底幅: 高さ:	C-O 混合セメント(B種) 30cm 50cm	m	1	現場打ち基礎コンクリート費			
プレキャスト基礎	底幅: 高さ:	50cm 50cm	m	1	プレキャスト基礎材料費 設置費			
基礎材	種類: 敷厚:	0~80mm級切込砕石 30cm	m2	1	基礎砕石費 基礎栗石費			
中詰コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-O 混合セメント(B種)	m3	1	中詰コンクリート打設費			
石積	構造区分:シート種類:	空積み 河川護岸用 吸出し防止シート	m2	1	中が配置す 裏込材費 裏込材費 費 目地材 水抜きパイプ設置費			
胴込・裏込コンク リート	コンクリート配合: セメント種別: 寸法:	C-10 普通ポルトランドセメ ント 40cm	m3	1	胴込・裏込コンクリート打設 費			
裏込材	種類:	0~80mm級切込砕石	m3	1	裏込材設置費			
天端コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-10 混合セメント(B種)	m3	1	天端コンクリート打設費			
目地材	種類: 規格:	樹脂発泡体 厚さ10mm 0.06g/cm3以上級	m2	1	目地材設置費			
岸コンクリートブロッ	ックエ	•			•	•	ı	
海岸コンクリートブ ロック製作	コンクリート配合: セメント種別: 公称質量:	C-O 混合セメント(B種) 14t	個	1	ブロック製作費 鉄筋 ブロック給熱養生費 特許料			
海岸コンクリートブ ロック据付	公称質量:	14t	個	1	ブロック設置(海岸) ブロック転置費(陸上/海上) ブロック横持ち費 ブロック据付費(1スイング) ブロック運搬据付費(陸上連携/海 上一連/陸海一貫方式)	施工: 運搬距離: 据付:	陸海一貫方式 陸上運搬2.0km 海上運搬3.5km 据付	
裹込砕石	種類:	0~80mm級切込砕石	m3	1	裏込材設置費			
吸出し防止材	規格:	880N/5cm以上 t=4.2mm以上 不織布	m2	1	吸出防止材設置費			
ンクリート被覆エ		_						
コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-〇 混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート打設・養生費	構造物種別: 日打設量区分: 圧送管超過延長:		ポンプ車打設の場のみ圧送管超過 長を明示し、圧送 平均延長のうち3 を超える部分の延 とする
鉄筋	鉄筋材料規格: 径:	SD345 D16	t	0.01	鉄筋加工・組立費 ガス圧接費もしくは機械継手費			
裹込砕石	種類:	0~80mm級切込砕石	m3	1	裏込材設置費			
吸出し防止材	規格:	880N/5cm以上 t=4.2mm以上 不織 布	m2	1	吸出防止材設置費			
目地材	種類: 規格:	樹脂発泡体 厚さ10mm 0.06g/cm3以上級	m2	1	目地材設置費			
(型枠)	_		(m2)	1	型枠設置撤去費	構造物種別:	無筋構造物	
止水板	種類: 寸法:	C-F 230 × 9mm	m	1	止水板設置費			
スリップバー	規格: 径: 長さ:	SR235 <i>ϕ</i> 19 600mmキャップ付き	本	1	スリップバー設置費			
処分費			m3	1	処分費			

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4) 規格(レベル5) 規格記入例 単位 数位 単価構成内容 明示すべき積算条件 記載例 備考 本体工(場所打式) 水中コンクリートエ (護岸基礎エ-水中コンクリートエを適用) 場所打擁壁工(構造物単位) 形式: 重力式擁壁 本体コンクリート配 均しコンクリートの有無 日地材の有無: 水抜パイプの有無: 吸出防止材の有無 小型擁壁(B)の場 小型擁壁 普通ポルトランド 合のみクレーン規格を明示する m3 1 セメント種別: セメント クレーン規格(小型擁壁 0.5m 模様(化粧型枠) C-4P セメント種別: 混合セメント(B種) 重力式擁壁 m3 1 場所打擁壁工(1) コンクリート費(基礎材 - 均 模様(化粧型 石積模様 し型枠設置・撤去ー均しコンクリート打設・養生ー足場設 本体コンクリート配 置・撤去 - 型枠設置・撤去 - 目地材 - 水抜きパイプ -C-4P 基礎材の有無: 均しコンクリートの有無: 目地材の有無: 水抜パイプの有無: セメント種別: 混合セメント(B種) もたれ式擁壁 m3 1 ポンプ重打設の場 高さ: 模様(化粧型枠) ンクリート打設・養生-吸 合のみ圧送管超過 3.0m 出防止材を含む) 延長を明示し、圧 送管平均延長のう 本体コンクリート配 化粧型枠加算費 吸出防止材の有無 足場種類: ち30mを超える部分 鉄筋ガス圧接費 の延長とする 圧送管超過延長: セメント種別: 逆T型擁壁 混合セメント(B種) m3 1 ち高 H=4~5m 模様(化粧型枠) 本体コンクリート配 RC-2-1 L型擁壁 セメント種別: 混合セメント(B種) m3 1 3.0m ||一で: 模様(化粧型枠) 0~80mm級切込 裹込砕石 種類: m3 1 裏込材設置費 砕石 種類: C-F 止水板 m 1 止水板設置費 寸法 230 × 9mm 型枠設置・撤去費 (化粧型枠) 模様 (m2)石積模様 1 構造物種別: 無筋構造物 化粧型枠加算費 コンクリ C-O ペーラインコンクリート m3 1 コンクリート材料費 混合セメント(B種) カメル種別 場所打擁壁工 0~80mm級切込 種類: 基礎砕石費 基礎材 砕石 m2 1 其礎亜石費 軟厚· 30cm ポンプ車打設の場 コンクリート配 構造物種別: 合のみ圧送管超過 延長を明示し、圧 送管平均延長のう C-A 無筋構造物 コンクリート打設費・養生費 日打設量区分 混合セメント(B種) 均しコンクリート m2 1 100m3未満 セメント種別: 型枠費 厂送管超過延長: 5cm 敷厚: ち30mを超える部分 (ポンプ車打設): の延長とする コンクリート打設費・養生費 コンクリート 合: m3 1 (場所打ち擁壁工(2)) 混合セメント(B種) 鉄筋加工・組立費 ガス圧接費もしくは機械継手費 鉄筋材料規格: SD345 鉄筋 0.01 t 径: D16 手摺先行型枠組 種類 (足場) (掛m2 足場設置·撤去費 足場 安全ネット 右 880N/5cm以上 吸出し防止材 規格: t=4.2mm以上 不 m2 1 吸出防止材設置費 織布 0~80mm級切込 種類: 裏込砕石 m3 1 裹込材設置費 砕石 管種類: VU管 水抜きパイプ材料費 水抜パイプ 径: 1 ϕ 50mm m フィルター材 __ フィルタ-パットフィルター 樹脂発泡体 種類 目地材 目地材設置費 厚さ10mm m2 1 規格: 0.06g/cm3以上級 種類: C-F 止水板 1 止水板設置費 m 230 × 9mm 寸法: 型枠設置•撤去費 (型枠) 模様(化粧型枠): 石積模様 (m2)構造物種別: 無筋構造物 1 化粧型枠加算費 コンクリー C-Cーラインコンクリート コンクリート材料費 m3 1 混合セメント(B種) カメント種別 処分費 m3 処分費 1

號岸・胸壁		<u> 上事上</u> 7	浬14	<u>「杀1</u>	<u> </u>	<u> 海岸) </u>		
種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格 (レベル5)		単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
端被覆工								
コンクリート被覆エ								
コンクリート	コンクリート配合:	C-O 混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート打設費	構造物種別: 日打設量区分:		
 基礎材	セメント種別:	0~80mm級切込砕石	m2	1	基礎材砕石費	圧送管超過延長:		
目地材	敷厚: 種類:	30cm 樹脂発泡体 厚さ10mm	m2	1	基礎栗石費 目地材設置費			
	規格:	クルス 0.06g/cm3以上級				1# \# \L (Z D)	from first 14th Nile Al-	
(型枠) 路盤紙	<u></u> 種類:	クラフト紙系	(m2) m2	1	型枠設置撤去費路盤紙材料費	構造物種別:	無筋構造物	
処分費			m3	1	処分費			
	<u> </u>	I				1		
止壁	コンクリート配 合: セメント種別: 寸法:	C-O 普通ポルトランドセメン ト 幅20cm・高さ60cm	m	1	基礎材 コンクリート 型枠 目地材			
返工								
波返工(構造物単位)	Iπ∠ - 1 *	1	ı	1	1	甘疎せの左無・		
小型擁壁	形式: 本体コンクリート配 合: セメント種別: 高さ:	重力式擁壁 C-4 普通ポルトランドセメン ト 0.5m	m3	1		基礎材の有無: 均しコンクリートの有無: 目地材の有無: 水抜パイプの有無: 吸出防止材の有無: クレーン規格(小型擁壁		小型擁壁(B)の均のみクレーン規模明示する
重力式擁壁	模様(化粧型枠): 本体コンクリート配合: セメント種別: 高さ: 模様(化粧型枠):	C-4P 混合セメント(B種) 3.0m 石積模様	m3	1	場所打擁壁工(1) コンクリート費(基礎材-均 し型枠設置・撤去-均しコン	(B)):		
もたれ式擁壁	本体コンクリート配合: セメント種別: 高さ: 模様(化粧型枠):	C-4P 混合セメント(B種) 3.0m	m3	1	クリート打設・養生 - 足場設置・撤去 - 型枠設置・撤去 - 型枠設置・撤去 - ー 目地材 - 水抜きパイプ - コンクリート打設・養生 - 吸出防止材を含む)	基礎材の有無: 均しコンクリートの有無: 目地材の有無:		ポンプ車打設の のみ圧送管超過 長を明示し、圧送
逆T型擁壁	本体コンクリート配合: セメント種別: 高さ: 模様(化粧型枠):	RC-2-1 混合セメント(B種) H=4~5m	m3	1	出版工程を 化粧型枠加算費 鉄筋ガス圧接費	水抜パイプの有無: 吸出防止材の有無: 足場種類: 圧送管超過延長:		平均延長のうち、 を超える部分のとする
L型擁壁	本体コンクリート配合: セメント種別: 高さ: 模様(化粧型枠):	RC-2-1 混合セメント(B種) 3.0m	m3	1				
鉄筋	鉄筋材料規格: 径:	SD345 D16	t	0.01	鉄筋加工・組立費 ガス圧接費もしくは機械継手費			
裹込砕石	種類:	0~80mm級切込 砕石	m3	1	裹込材設置費			
止水板	種類: 寸法:	C-F 230 × 9mm	m	1	止水板設置費			
(化粧型枠)	模様:	石積模様	(m2)	1	型枠設置·撤去費 化粧型枠加算費	構造物種別:	無筋構造物	
ペーラインコンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-O 混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート材料費			
波返工	•	•	•	•	•	•		•
基礎材	種類: 敷厚:	0~80mm級切込砕石 30cm	m2	1	基礎材砕石費 基礎栗石費			
コンクリート	コンクリート配 合: セメント種別・	C-O 混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート打設・養生費 (場所打ち擁壁工(2))			
鉄筋	鉄筋材料規格: 径:	SD345 D16	t	0.01	鉄筋加工・組立費 ガス圧接費もしくは機械継手費			
止水板	種類: 寸法:	C-F 230 × 9mm	m	1	止水板設置費			
スリップバー	規格: 径: 長さ:	SR235 夕19 600mmキャップ付	本	1	スリップバー設置費			
目地材	種類: 規格:	基 樹脂発泡体 厚さ10mm 0.06g/cm3以上級	m2	1	目地材設置費			
(型枠)	_	- THE STATE OF THE	(m2)	1	型枠設置撤去費	構造物種別:	無筋構造物	<u>L</u> _
処分費			m3	1	処分費			

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4) 規格(レベル5) 規格記入例 単位 数位 単価構成内容 明示すべき積算条件 記載例 備考 裏法被覆工 |石積(張)工(構造物単化表法被覆工-石積(張)工(構造物単位)を適用) 石積(張)工 (表法被覆工-石積(張)工を適用) コンクリートブロックエ(間知ブロック張) コンクリートブロック 合: セメント種別: 混合セメント(B種) 現場打基礎コンクリート m 1 基礎 50cm 底幅: 50cm 底幅: 50cm プレキャスト基礎材料費 プレキャスト基礎 1 m 設置費 50cm 高さ: 種類: 0~80mm級切込砕石 基礎材 m2 1 30cm 敷厚 基礎栗石費 コンクリ C-O 中詰コンクリート 合: m3 1 中詰コンクリート打設費 混合セメント(B種) カメント種別 m2当り質量 350kg/m2 間知ブロック張 m2 1 ブロック設置費・水抜パイプ設置費 控長 35cm 樹脂発泡体 目地材 厚さ10mm m2 1 目地材設置費 0.06g/cm3以上級 コンクリート配 C-10 天端コンクリート 天端コンクリート打設費 m3 1 合: 混合セメント(B種) ル 種別 コンクリートブロックエ(平ブロック<u>・</u>) コンクリート配合 コンクリートブロック セメント種別: 混合セメント(B種) 現場打基礎コンクリート 50cm 基礎 底幅: 50cm プレキャスト基礎材料費 底幅: 50cm プレキャスト基礎 1 m 50cm 設置費 遮水シート·吸出防止材 m2当り質量: 360kg/m2 ブロック設置費 平ブロック張 m2 1 シート種類: 遮水シート 目地モルタル打設費 裹込栗石投入 石材種類 栗石50~150mm m3 1 裹込栗石設置費 樹脂発泡体 種類: 目地材 目地材設置費 m2 1 厚さ10mm 規格: 0.06g/cm3以上級 コンクリート配合: セメント種別: C-10 天端コンクリート m3 1 天端コンクリート打設費 混合セメント(B種) コンクリートブロックエ(コンクリートブロック積) C-O コンクリート配合: コンクリートブロックセメント種別: 混合セメント(B種) 現場打基礎コンクリート m 1 基礎 50cm 底幅: プレキャスト基礎材料費 50cm プレキャスト基礎 m 1 50cm 設置費 種類 0~80mm級切込砕石 基礎材砕石費 基礎材 m2 1 數厚 30cm 基礎栗石費 C-O 混合セメント(B種) コンクリート配合 中詰コンクリート m3 1 中詰コンクリート打設費 セメント種別: コンクリートブロック m2当り質量 350kg/m2 胴込・裏込コンクリート打設 m2 控長 積 35cm 胴込・裏込コンク 普通ポルトランドセメン 胴込・裏込コンクリート打設 m3 1 ー セメント種別: リート 胴込·裹込材(砕石) 種類: 0~80mm級切込砕石 m3 胴込·裹込材設置費 吸出し防止材(全 河川護岸用吸出 シート種類: m2 吸出し防止材設置費 1 防止シ-面)設置 遮水シート張 シート種類: m2 遮水シート材設置費 樹脂発泡体 種類: 目地材 厚さ10mm m2 1 目地材設置費 規格: 0.06g/cm3以上級 (養生費) 構造物種別: 鉄筋構造物 (m3)防寒養牛費 1 コンクリート配合・ C-10 混合セメント(B種) 天端コンクリート m3 1 天端コンクリート打設費 セメント種別:

防∙護岸∙胸壁			植亿	系化	<u> </u>	<u>海岸)</u>		
重・種別・細別(レベル2, 3, 4			単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
コ <u>ンクリートブロックエ</u>					T-			
コンクリートブロック 基礎	コンクリート配合: セメント種別: 底幅: 高さ:	C-O 混合セメント(B種) 50cm 50cm	m	1	現場打基礎コンクリート			
プレキャスト基礎	底幅: 高さ:	50cm 50cm	m	1	プレキャスト基礎材料費 設置費			
基礎材	種類: 敷厚:	0~80mm級切込 砕石 30cm	m2	1	基礎材砕石費 基礎栗石費			
中詰コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-O 混合セメント(B種)	m3	1	中詰コンクリート打設費			
連節ブロック張	m2当り質量: シート種類:	340kg/m2 河川護岸用 吸出し防止シート	m2	1	ブロック設置費 遮水シート・吸出防止材			
裏込栗石投入	石材種類:	栗石50~150mm	m3	1	裏込栗石設置費			
目地材	種類: 規格:	樹脂発泡体 厚さ10mm 0.06g/cm3以上級	m2	1	目地材設置費			
天端コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-10 混合セメント(B種)	m3	1	天端コンクリート打設費			
小口止コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-4 混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート打設費 型枠 目地材			
 コンクリート被覆エ	(天端被覆二	_ Ľ−コンクリートネ	皮覆エ	を適用		1		I.
法枠工								
現場打法枠	コンクリート配合: セメント種別: 中詰材種類:	RC-1 混合セメント(B種) 植生土のう	m2	1	現場打法枠費 コンクリート 型枠筋 敷砂利設置費 吸出防止材 アンカー置費 植生費 ロンクリート吹付費 モルタル吹付費			
プレキャスト法枠	寸法: 中詰材種類: シート種類:	1,000×1,000× 300mm 植生土のう 遮水シート	m2	1	プレキャストブロック設置費 敷砂利 モルタル吹付費 コンクリート吹付費 中詰設置費 植生費 足場			
吹付枠	材質: 梁断面サイズ: 中詰材種類(厚):	コンクリート製 梁断面200× 200mm コンクリート吹付 (吹付厚15cm)	m2	1	法面清掃費 法枠設置費(鉄筋含む) アンカー設置費 法枠吹付費 枠内吹付費 枠内中詰費 土のう留金網設置費			
根留工		•				1		II
止壁	コンクリート配 合: セメント種別: 寸法:	C-O 混合セメント(B種) 幅20cm高さ60cm	m	1	基礎材 コンクリート 型枠 目地材			
固工			I					i
 捨石工								
中詰石	石材種類:	中割石	m3	1	陸上投入費(直接/バックホウ/ラフテレーン/クラムシェル投入)			流用材を海上 及び陸上投入 場合は、別途
	石材種類:	中割石	m3	1	陸上投入費(直接/バックホウ/ラフテレーン/ク			げする
捨石本均し	均し精度:	±5cm	m2	1	捨石均し費(水中/陸上)			
捨石荒均し	均し精度:	±30cm	m2	1	捨石均し費(水中/陸上)			
捨石本均し(海岸)	均し精度:	±5cm	m2	1	捨石均し費(水中/陸上)(海 岸)			
捨石荒均し(海岸)	均し精度:	±30cm	m2	1	捨石均し費(水中/陸上)(海 岸)			
表面均し			m2	1	表面均し費			

是防	ந∙ 護岸∙胸壁		<u>工事工</u>	連付	孫仁	<u> </u>	<u>海岸) </u>		
種	・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格 (レベル5)	規格記入例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
相	艮固ブロックエ								
	根固ブロック製作 (施エパッケージ)	コンクリート配合: セメント種別: 寸法: 公称質量:	E-O 普通ポルトランドセメント 5.0×2.5×1.6m 42 32+	個	1	根固ブロック製作費 鋼製枠組足場架払費 鉄筋加工組立費 吊鉄筋加工組立費			
	根固ブロック製作	コンクリート配合:セメント種別:寸法:公称質量:	C-〇 混合セメント(B種) 5.0×2.5×1.6m 42.32t	個	1	ルーフィング設置費 鋼製枠組足場架払費 外に場架払費 鉄筋 吊鉄筋加工組立費 鋼製型枠組立組外費 コンクリート打設費 フロック取画員			
	根固ブロック据付	寸法: 公称質量:	5.0 × 2.5 × 1.6m 42.32t	個	1	ブロック転回頁 ブロック接持ち費 ブロック据付費(「スイング) ブロック運搬据付費(陸上連携/海上一連/陸海一貫方	施工: 運搬距離: 据付:	陸海一貫方式 陸上運搬2.0km 海上運搬3.5km 据付	
肖派	· 女工					1=1	ı		
砉	基礎捨石工	(根固工-捨	石工を適用)						
_									
	洗掘防止	材質: 寸法:	アスファルトマット 8m×2m	m2	1	アスファルトマット設置費 帆布設置費 合成樹脂マット設置費			
	グラベルマット	石材種類:	中割石	m3	1	石材投入費(現場投入渡し)			流用材を海上投 及び陸上投入する場合は、別途積」 がする
	グラベルマット均し	均し精度:	±50cm	m2	1	捨石均し費(水中/陸上)			
	大型網かご製作	網かご種別: 寸法: 詰石種類:	10t型 吊ワイヤ付 3×2×1m 中割石	個	1	大型網かご製作費			
	大型網かご据付	網かご種別: 寸法:	10t型 吊ワイヤ付 3×2×1m	個	1	へ空網かご転直負 大型網かご横持ち費 大型網かご据付費(1スイン グ) 大型網かご運搬据付費(陸 上連携/海上一連/陸海	施工: 運搬距離: 据付:	陸海一貫方式 陸上運搬2.0km 海上運搬3.5km 据付	
初		1		1			I .		
	被覆均し(海岸)	_		m2	1				
氵	当波ブロックエ(海岸)	1					I		l .
	消波ブロック製作(海岸)	コンクリート配合: セメント種別: 公称質量:	C-O 混合セメント(B種) 30t	個	1	ブロック製作費 鉄筋 ブロック給熱養生費 特許料			
	消波ブロック据付(海岸)	公称質量:	30t	個	1	消波ンロック設直(海岸) ブロック転置費(陸上/海上) ブロック横持ち費 ブロック据付費(1スイング) ブロック運搬据付費(陸上連携/海上一連/陸海一貫方	施工: 運搬距離: 据付:	陸海一貫方式 陸上運搬2.0km 海上運搬3.5km 据付	
初	皮覆ブロックエ(海岸)								
	被覆ブロック製作(海岸)	コンクリート配合: セメント種別: 公称質量:	C-O 混合セメント(B種) 4t	個	1	ブロック製作費 鉄筋 ブロック給熱養生費 特許料			
	被覆ブロック据付(海岸)	公称質量:	4t	個	1	用版フロック取画(神戸) ブロック転置費(陸上/海上) ブロック横持ち費 ブロック据付費(1スイング) ブロック運搬据付費(陸上連携/海上一連/陸海一貫方	施工: 運搬距離: 据付:	陸海一貫方式 陸上運搬2.0km 海上運搬3.5km 据付	
カル	ノバートエ								
7	プレキャストカルバート	` I							
	プレキャストボックス	内幅: 内高:		m	1	ボックスカルバート設置費 PC鋼材費 定着金具費			

EIV.	5∙護岸∙胸壁		<u></u>	里14	1 流	<u> Ľ構风表(</u>	<u> </u>		
種•	種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格 (レベル5)		単位	数位		明示すべき積算条件	記載例	備考
水	· 〈構造物工								
作	業土工	(護岸基礎コ	ニ-作業土工を迎	箇用)					
側	」溝工								
	プレキャストU型側溝		U300B	m	1	側溝設置費			
	自由勾配側溝	種類: 内幅: 内高:	縦断用 330mm 600mm	m	1	側溝設置費 底部コンクリート費			
	コルゲートフリューム	形式: 寸法:	A形 700×700mm	m	1	コルゲートフリューム設置費			
	側溝基礎	材料規格:	0~80mm級切込砕石	m	1	基礎砕石・栗石費 基礎コンクリート費 基礎型枠費			
	側溝蓋	設計荷重: 使用区分: 溝幅:	T-25 溝蓋(騒音防止用) 300用	枚	1	側溝蓋設置費			
僧	渠工								
	PC管	管径: 管長:	φ 600 4000mm	m	1	PC管設置費			
	ヒューム管(B形管)	管径: 基礎形式: 管種別:	Φ600 90° 固定基礎 外圧管2種	m	1	ヒューム管設置費			
	暗渠排水管	管種別: 管径:	合成樹脂波状管 φ200	m	1	暗渠排水管設置費			
	鉄筋コンクリート台付管	管径: 管長: 管種別: 基礎形式:	φ 60 2500mm 1種管 砂利基礎 (H=250mm)	m	1	鉄筋コンクリート台付管設置費			
	巻きコンクリート	巻きコンクリー ト配合: セメント種別:	C-O 混合セメント(B種)	m3	1	巻きコンクリート 鉄筋 型枠			
	均しコンクリート	コンクリート配合: セメント種別: 敷厚:	C-Δ 混合セメント(B種) 5cm	m2	1	コンクリート打設費・養生費型枠費	構造物種別: 日打設量区分: 圧送管超過延長: (ポンプ車打設):	無筋構造物	ポンプ車打設の場合のみ圧送管超过延長を明示し、圧送管平均延長のうち30mを超える部の延長とする
	基礎材	種類: 敷厚:	0~80mm級切込砕石 30cm	m2	1	基礎材砕石費 基礎栗石費			
	コルゲートパイプ	規格: 管径:	I 型円形 φ600	m	1	コルゲートパイプ設置・撤去費			
	鉄筋コンクリート管	管径: 管種:	φ600 1種管	m	1	鉄筋コンクリート管設置費			
集	<u>水桝</u>			,					
	現場打集水桝	セメント性別:	呑吐口桝鉄筋コンクリート管 φ 600用 (1:1.5)C-○混合セメント(B種)	箇所	1	現場打集水桝・街渠桝(本体)費 (基礎材20cmまで含む) 鉄筋費			
	プレキャスト集水桝	プレキャスト材 種類: 作業区分: 製品質量:	650×650×650 据付 250kg	箇所	1	プレキャスト集水桝材料費・設置 費 (基礎材含む)			
	プレキャスト集水桝基礎	コンクリート配 合: セメント種別:	C-O 混合セメント(B種)	箇所	1	基礎コンクリート費 基礎型枠費			
	蓋	蓋種類:	鋼製 T-25 I-A桝 下部桝用 細目	枚	1	蓋材料費			

是防・護岸・胸壁		<u>工事工</u>	重体	<u> </u>	<u> と構成表(漁港</u>	<u>海岸)</u>		
種・種別・細別(レベル2, 3, 4))規格 (レベル5)		単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
場所打水路工								
基礎材	種類: 敷厚:	0~80mm級切込砕石 30cm	m2	1	基礎材砕石費 基礎栗石費			
均しコンクリート	コンクリート配合: セメント種別: 敷厚:	C-Δ 混合セメント(B種) 5cm	m2	1	コンクリート打設費・養生費 型枠費	構造物種別: 日打設量区分: 圧送管超過延長: (ポンプ車打設):	無筋構造物	ポンプ車打設の 合のみ圧送管超 延長を明示し、日 送管平均延長の ち30mを超える音 の延長とする
コンクリート	コンクリート配 合: セメント種類:	C-〇 混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート打設費	構造物種別: 日打設量区分: 圧送管超過延長: (ポンプ車打設) クレーン規格(クレーン打設):		
鉄筋	跃肋材料規格: 经:	SD345 D16	t	0.01	鉄筋加工・組立費 ガス圧接費もしくは機械継手費			
止水板	種類: 寸法:	C-F 230 × 9mm	m	1	止水板設置費			
目地材	種類: 規格:	樹脂発泡体 厚さ10mm 0.06g/cm3以上級	m2	1	目地材設置費			
(型枠)	模様(化粧型 枠):	石積模様	(m2)	1	型枠設置·撤去費 化粧型枠加算費	構造物種別:	無筋構造物	
処分費			m3	1	処分費			
(足場)	種類: 安全ネット:	手摺先行型枠組足場 有	(掛m2)	1	足場設置·撤去費			
路工	-1			ı	•	II.	I	
作業土工	(護岸基礎二	L−作業土工を迫	箇用)					
捨石工	(護岸基礎二	L−基礎捨石工る	と適用])				
斜路工	(表法被覆二	□□コンクリート初	す ファイス とうしゅう しゅうしゅう しゅう	を適用])			
側壁工	•							必要に応じ水中 ンクリートを追加
(型枠)	I _		(m2)	1	型枠設置撤去費	構造物種別:	無筋構造物	న
(足場)	種類: 安全ネット:	手摺先行型枠組足場 有	(IIIZ) (掛m2)	1	足場設置·撤去費	神足 勿(主) ·		
目地材	種類: 規格:	樹脂発泡体 厚さ10mm 0.06g/cm3以上級	m2	1	目地材設置費			
止水板	種類: 寸法:	C-F 230 × 9mm	m	1	止水板設置費			
コンクリート	コンクリート配 合: セメント種別:	C-O 混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート打設・養生費 (場所打ち擁壁工(2))			
				•				必要に応じ水中 ンクリートを追加
(型枠)	_		(m2)	1	型枠設置撤去費	構造物種別:	無筋構造物	న
目地材	種類: 規格:	樹脂発泡体 厚さ10mm 0.06g/cm3以上級	m2	1	目地材設置費			
止水板	種類: 寸法:	C-F 230 × 9mm	m	1	止水板設置費			
コンクリート	コンクリート配合:	C-O 混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート打設・養生費 (場所打ち擁壁工(2))			
陸閘工								
陸閘据付工機械経 費	_		式	1式	設置工機械経費			
陸閘直接労務費	_		式	1式	設置工直接労務費			
現場塗装	種類: 色:	塩化ゴム系 朱	m2	1	塗装費			
角落し	材質: 寸法:		枚	1	角落し設置費			
戸当り	鋼材種類:		kg	1	戸当り設置費		<u> </u>	

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)規格(レベル5) 単価構成内容 明示すべき積算条件 記載例 備考 打止エ 場所打擁壁工(構造物単位) 均しコンクリートの有 重力式擁壁 本体コンクリート配 小型擁壁(B)の場 目地材の有無: 水抜パイプの有無: 小型擁壁 普通ポルトランドセメン 合のみクレーン規格を明示する m3 1 セメント種別: 吸出防止材の有無 0.5m 模様(化粧型枠) クレーン規格(小型擁壁 本体コンクリート配 C-4P 場所打擁壁工(1) 場が打飛空上(リコンクリート費(基礎材 - 均し型枠設置・撤去 - 均しコンクリート打設・養生 - 足場設置・撤去 - 型枠設置・撤去 - 目地材 - 水抜きパイプー 混合セメント(B種) セメント種別: 重力式擁壁 m3 1 3.0m 高さ: 模様(化粧型枠): 石積模様 基礎材の有無: C-4P もたれ式擁壁 混合セメント(B種) 均しコンクリートの有 m3 1 ポンプ重打設の場 セメント種別: ンクリート打設・養生ー吸 合のみ圧送管超過 出防止材を含む) 高さ 目地材の有無: 延長を明示し、圧 本体コンクリート配 化粧型枠加算費 水抜パイプの有無: 鉄筋ガス圧接費 吸出防止材の有無 ち30mを超える部分 逆T型擁壁 ー セメント種別: 混合セメント(B種) m3 1 の延長とする 足場種類 高さ: 模様(化粧型枠) H=4~5m 圧送管超過延長: 本体コンクリート配 RC-2-1 L型擁壁 セメント種別: 混合セメント(B種) m3 1 3.0m 模様(化粧型枠) 鉄筋材料規格: SD345 鉄筋加工·組立費 鉄筋 0.01 t ガス圧接費もしくは機械継手費 径: D16 裹込砕石 種類 0~80mm級切込砕石 m3 裏込材設置費 1 種類 止水板 止水板設置費 m 1 寸法 230 × 9mm 型枠設置·撤去費 模様: (化粧型枠) 石積模様 (m2)1 構造物種別: 無筋構造物 化粧型枠加算費 C-O コンクリート配合 ペーラインコンクリート m3 1 コンクリート材料費 セメント種別: 混合セメント(B種) 打止工 _ 基礎材砕石費 種類: 0~80mm級切込砕石 基礎材 m2 1 30cm ポンプ車打設の場 コンクリート配 合のみ圧送管超過 延長を明示し、圧 送管平均延長のう $C-\Delta$ 合: セメント種別: コンクリート打設費・養生費 日打設量区分: 均しコンクリート 混合セメント(B種) m2 1 無筋構造物 型枠費 下送管超過延長・ 5cm 敷厚: ち30mを超える部分 ポンプ車打設): グリート打 設食・養生質 コンクリート配 (場所打ち擁壁工(2)) コンクリート m3 1 混合セメント(B種) ペーラインコンクリート材料 セメント種別 SD345 鉄筋加工・組立費 鉄筋 0.01 格: t D16 ガス圧接費もしくは機械継手費 種類: 手摺先行型枠組足場 (足場) 掛m2 足場設置·撤去費 安全ネット: 880N/5cm以上 吸出し防止材 規格: =4.2mm以上 不織 m2 1 吸出防止材設置費 裏込砕石 種類 0~80mm級切込砕石 m3 1 裏込材設置費 管種類: VU管 水抜きパイプ設置費 水抜パイプ ϕ 50mm m フィルター材設置費 フィルタ・ パットフィルタ-樹脂発泡体 種類 目地材 厚さ10mm 1 目地材設置費 m2 規格 0.06g/cm3以上級 種類: C-F 止水板 m 1 止水板設置費 寸法 230 × 9mm (型枠) (m2)型枠設置撤去費 構造物種別: 無筋構造物 1 処分費 m3 1 処分費 規格 SR235 スリップバー 本 スリップバー設置費 1 径: *φ* 19 . 600mmキャップ付き 大型網かごエ 網かご種別: 10t型 吊ワイヤ付 大型網かご製作 寸法: $3 \times 2 \times 1$ m 個 1 大型網かご製作費 詰石種類 中割石 人空網かこ転直貸 大型網かご横持ち費 陸海一貫方式 大型網かご据付費(1スイング) 網かご種別: 10t型 吊ワイヤ付 陸上運搬2.0km 大型網かご据付 個 --運搬距離: 1 寸法: 海上運搬3.5km 大型網かご運搬据付費(陸 据付: 据付 上連携/海上一連/陸海 880N/5cm以上 吸出し防止材 規格: 吸出し防止材設置費 t=4.2mm以上 不織 m2 1

防・護岸・胸壁 重・種別・細別(レベル2, 3, 4)	相格 (レベル5)		<u>里 14</u> 単位	数位	<u>上構成表(油港</u>	が世り干 / 明示すべき積算条件	記載例	備考
	が作し(レージン)	死旧品に 人 [9]	丰四	奴世	平 画 特 次 内 分	切がすべて 仮昇木 円	10年以 [7]	用つ
属物設置工 防止柵工								
転落(横断)防止柵	種類: 形式: 柵置区分: 養雪ランク: 支柱間の分: 塗装区分:	横断防止柵 横ビーム型 0.8m 土中建込 積=ランク2 2.0m メッキ	m	1	転落防止柵設置・撤去費 部材設置・撤去費(ビームパ ネル)			
基礎ブロック(立入防止柵)	寸法:		個	1	基礎ブロック設置費			
作業土工	(護岸基礎)	 C−作業土工を遊	1月)	•				•
銘板工								
銘板	材質: 寸法:	ブロンズ製 1,500×600× 20mm	枚	1	銘板材料費			
表示板	材質: 寸法:	ブロンズ製 300×120×20mm	枚	1	表示板材料費			
								I
現場打階段	コンクリート配合: セメント種別: シート種類:	C-O 混合セメント(B種) 不織布	箇所	1	基礎材費 均しコンクリート コンクリート 型枠 吸出、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			
プレキャスト階段	ブロック規格: シート種類:	幅1.0m 不織布	箇所	1	ブロック設置費 裏込材 裏込・胴込コンクリート 目地材			
裏込材	種類:	0~80mm級切込 砕石 C-10	m3	1	裏込材設置費			
胴込・裏込コンクリート	コンクリート配合: セメント種別: 寸法:	C-10 普通ポルトランドセメン ト 40cm	m3	1	胴込・裏込コンクリート打設費			
吸出し防止材(全面)設置	シート種類:		m2	1	吸出し防止材設置費			
遮水シート張	シート種類:		m2	1	遮水シート材設置費			
造物撤去工								
防護柵撤去工								
防護柵撤去(ガードレール)	種類: 規格:	Gr-4E(種、積雪ランク1、土中建込)	m	1	撤去費(防護柵·部材撤去 費)			
防護柵撤去(ガードパイプ)	種類: 規格:	Gp-Bp-2E(B種、積雪 ランク1、土中建込)	m	1	撤去費(防護柵·部材撤去 費)			
防護柵撤去 (横断·転落防止柵 撤去)	種類: 形式: 設置区分: 積雪ランク: 支柱間隔:	横断防止柵 横ビーム型 0.8m 土中建込 積雪ランク2 2.0m	m	1	撤去費(防護柵·部材撤去 費)			
ガードケーブル撤 去	種類: 規格:	Gc-A-6E(A種、積雪 ランク1、土中建込)	m	1	撤去費 (中間支柱/端末支柱/ケーブル 張)			
標識撤去工								
標識撤去	形式: 規格: 基礎寸法:	単柱式	基	1	標識基礎撤去費 標識柱撤去費			
道路付属物撤去工								
視線誘導標撤去	形式: 寸法(地上高):	伸縮型 地上高270cm	本	1	視線誘導標撤去費			
境界杭撤去	境界杭規格:	120 × 120mm	本	1	境界杭撤去費			
作業土工	(護岸基礎)	□−作業土工を通	1月)					

種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格 (レベル5)	規格記入例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
造物取壊工								
コンクリート構造物取壊	構造物区分:	鉄筋構造物	m3	1	コンクリート取壊費 鉄筋切断費 破砕片除去・積込費	施工区分:	コンクリートブレーカ	
水中部コンクリート取壊	構造物区分:	無筋構造物	m3	1	水中部コンクリート取壊費	台船の有無:	有	
舗装版切断	舗装版種別: 舗装版厚:	アスファルト 舗装版厚15cm	m	1	舗装版切断費	平均切断深:	15cm	
舗装版破砕	舗装版種別: 舗装版厚:	アスファルト 舗装版厚10cm	m2	1	舗装版取壊費 積込費	平均舗装厚:	10cm	廃材の運搬 については、 搬」に含む
コンクリートはつり	平均はつり厚:	3cm以下	m2	1	はつり費 殻積込費			
コンクリート表面処理			m2	1	コンクリート表面処理			
吹付法面取壊	取壊厚:	10cm	m2	1	(ウォータージェット) 取壊・積込質(吹付法面取 棒)			
コンクリート管類切断	管類規格:		m	1	コンクリート管類切断費			
鋼材切断	種類: 規格:	鋼矢板 Ⅲ型	m	1	ガス切断費(陸上/海上) 水中酸素アーク切断	板厚:	12mm未満	
鋼矢板引抜	鋼矢板形式: 引抜長:	II型 5m	枚	1	鋼矢板・H形鋼杭引抜費 (バイブロハンマ)	引抜長:	5m	
広幅鋼矢板引抜	広幅失板形式: 引抜長・	IIw型 5m	枚	1	鋼矢板・H形鋼杭引抜費 (バイブロハンマ)			
H鋼杭引抜	H鋼型式: 引抜長:	SS400 150 × 150 × 7 × 10mm 5m	本	1	鋼矢板・H形鋼杭引抜費 (バイブロハンマ)			
コンクリートブロック撤去	ブロック規格:	300 × 300 × 50mm	m2	1	コンクリートブロック撤去費			
ブロック撤去	種類: 質量:	被覆ブロック 3t	個	1	ブロック撤去費(旋回内)(陸 上/海上) ブロック撤去・仮置費 (海上一連/陸上連携方式)	施工: 運搬距離: 据付:	海上一連方式 陸上運搬2.0km 海上運搬3.5km 撤去	
コンクリート取壊運搬処理	構造物区分: 運搬距離:	無筋構造物 3km	m3	1	構造物取壊費 運搬費 処分費			
石材撤去	種類:	中割石	m3	1	石材撤去費(ガット船)			施工断面には 囲が定められる場合は、海盤改良工の 床掘工あるい 土盤・岩盤・床 を適用する
鋼矢板•H形鋼杭 引抜撤去	規格:		枚 or 本	1				
係船柱撤去	規格:		基	1				
防舷材撤去	規格: 長さ:	150H 新型 L=2.0m	基	1	防舷材撤去費(陸上)			
車止撤去	規格: 長さ:	SS400 H=150(180)mm L=1.6m	本	1	車止撤去費(陸上)			
レキャスト擁壁撤去	ı I	•	•	•	•	•		•
プレキャスト擁壁撤去		L型 壁高2.5m	m	1	撤去費			下位代価なり

刀 : 護汗 : 胸壁		<u> </u>	- I' T	· /	」"博仪衣(庶仓	/14/1/		
•種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格 (レベル5)	規格記入例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
非水構造物撤去工								
L型側溝撤去	L型側溝種類:		m	1	撤去費(L形側溝)			
ヒューム管撤去	規格: 管径:	B形管 ∮ 600	m	1	撤去費(ヒューム管)			
ボックスカルバート撤去	函渠内幅: 内高: 長さ:	1,500mm 1,200mm 2,000mm	m	1	撤去費(ボックスカルバート)			
PC管撤去	管径:	ϕ 600	m	1	撤去費(PC管)			
	管種別: 管径:	合成樹脂波状管 φ200	m	1	撤去費(暗渠配水管)			
	形式: 寸法:	横断用 φ300	m	1	撤去費(管(函)渠型側溝)			
	種類: 製品質量:	I-○下部桝 300kg	基	1	撤去費(プレキャスト集水桝)			
	規格: 管径:	I 型円形 φ600	m	1	撤去費(コルゲートパイプ)			
コルグートノリューム撤去	形式: 寸法:	A形 700×700mm	m	1	撤去費(コルゲートフリュー ム)			
マンホール撤去	マンホール規格:	1号マンホール	基	1	撤去費(プレキャストマンホール)			
鉄筋コンクリート台付管撤去	管径:	ϕ 600	m	1	鉄筋コンクリート台付管設置費			
U型側溝撤去	種類:	U300B	m	1	撤去費(U型側溝)			
蓋版撤去	蓋種類:	人道用U240用	枚	1	撤去費(蓋版)			
鉄筋コンクリート管撤去	管径: 管種別:	φ600 1種管	m	1	鉄筋コンクリート管撤去費			
かご撤去工			•					•
じゃかご撤去	じゃかご径:	φ 45cm	m	1	撤去費(じゃかご)			
	高さ: 幅:	50cm 120cm	m	1	撤去費(ふとんかご)			
落石雪害防止撤去工								
落石防護柵撤去	 柵高:	柵高2.5m	m	1	洛白·阿当洛白防護柵撤去 費			
<u> / </u>		1.4.			(支柱 ロープ・金網)			
且始的偶他設撤去上 ┃ ┃		大型鋲/両面反射			T	T	T	
	道路鋲規格:	ア全鉄/ 両面及列 穿孔式/アルミ製 設置幅30 cm	個	1	撤去費(道路鋲)			
	車線分離標規 格:	穿孔式·1 本脚	本	1	車線分離標撤去費			
境界鋲撤去	境界鋲規格:	40 × 100 × 2	枚	1	撤去費(境界鋲)			
横断歩道橋側板 (裾隠·目隠)撤去			m2	1	撤去費(裾隠·目隠)			
ブロック舗装撤去エ								
インターロッキング ブロック撤去	ブロック規格:	厚さ6cm	m2	1	撤去費(インターロッキングブロック)			
コンクリート平板ブロック撤去	ブロック規格:	30cm × 30cm	m2	1	撤去費(特殊ブロック舗装)			
ノンスリップ撤去			m	1	撤去費(ノンスリップ)			
縁石撤去工 歩車道境界ブロック撤去	ブロック担接・	車道用縁石Ⅰ型	l	-	撤去費(歩車道境界ブロック)	I	I	
地先境界ブロック撤去			m	1				
^{地元境界ノロック版会} 冬期安全施設撤去エ	ノロソン別恰:	舗装止縁石	m		撤去費(地先境界ブロック)	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>
防雪柵掛去	防雪柵種類: 柵高:	固定式 柵高3.5m	m	1	吹溜式防雪柵撤去費(仮設式/固定式)			
		挿入単柱型	本	1	スノーポール撤去費(土中/挿入型)			
_ー ベル・ル版ム 骨材再生エ	IEAR.	- - 	/T `	<u>'</u>	· ////////////////////////////////////	<u>I</u>	<u>I</u>	l
骨材再生			m3	1	骨材再生費 自走式破砕機設置・撤去費 積込費(ルーズ)			
		<u> </u>	<u> </u>		土砂等運搬費/押土費(ルーズ)	<u> </u>		
	競種別: 運搬距離:	アスファルト殻 4.7km	m3 or	1	殼運搬費	処分場所(運搬距 離):	〇〇建設管理部管内 (4.7km)	
	人工 川ス 山仁 門住・		t			P314.7 -	C I. / NIII/	
殼処分	殻種別:	アスファルト殻	m3 or	1	処分費	処分場所(運搬距 離):	〇〇建設管理部管内 (4.7km)	
現場発生品運搬		防護柵 2.0km	t	1	 積込 取卸し	搬出先: 運搬距離:	〇〇置場 4.7km	
	生 放 止 伸 .	Z.UNIII			運搬費	(生)双 (正)附 .	T. / KIII	
没丁	(全工種共活	A・仮設工を適日	月)					
设工	-	通:仮設工を適用 			3)が必要となる場合(

_{突堤} 工事工種体系化構成表(漁港海岸)

€堤		<u></u>	<u> </u>	光	化桶及表(漁港	<u> 海岸)</u>									
	規格 (レベル5)	規格記入例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考							
再岸土工	(堤防・護岸	・胸壁:海岸土	エを遃	i用)											
	(堤防•護岸	•胸壁:軽量盛 <u>-</u>	上工を	適用)											
					•	•									
作業土工	(堤防•護岸	·胸壁:護岸基础	楚工-	作業土	 :エを適用)										
洗掘防止工	(堤防・護岸	•胸壁:護岸基础		洗掘防	近工を適用)										
捨石工															
中詰石	石材種類:	中詰石	m3	1	石材投入費(海上現場投入渡し) 陸上投入費(直接/パックホウ/ラ フテレーンクレーン/クラムシェル 投入)			流用材を海上投, 及び陸上投入す。							
基礎捨石	石材種類:	中詰石	m3	1	石材投入費(海上現場投入渡し) 陸上投入費(直接/バックホウ/ラ フテレーンクレーン/クラムシェル 投入)			場合は、別途積. げする							
捨石本均し	均し精度:	±5cm	m2	1	捨石均し費(水中/陸上)										
捨石荒均し	均し精度:	±30cm	m2	1	捨石均し費(水中/陸上)										
捨石本均し(海岸)	均し精度:	±5cm	m2	1	捨石均し費(水中/陸上)(海 岸)										
捨石荒均し(海岸)	均し精度:	±30cm	m2	1	焙石均し費(水中/陸上)(海 岸)										
表面均し			m2	1	表面均し費										
 体工					-										
捨石工	(突堤:基礎	エ−捨石工を適	用)												
被覆石工		<u>- n n n - c - c - c - c - c - c - c - c </u>		被覆石	 [エを適用)										
被覆ブロックエ					<u>、一こ~…</u> ンクリートブロックエをi										
	(堤)的 " 護圧	(堤防・護岸・胸壁:護岸基礎エ−海岸コンクリートブロックエを適用)													
既製杭工	T	1	1	1		_	1	T							
鋼管杭	規格: Æ: 長さ:	SKK490(t=9mm) φ400mm 10m	本	1	(材料費/荷卸し費/運搬費) ((陸上/海上) 鋼杭打設費(ディーゼルハンマ/油 圧ハンマ/バイブロハンマ) (陸上/海上) 杭打船/シマ付替 杭打船均東費 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	運搬距離: 打込長:	陸上運搬2.0km 8m								
<u></u> 詰杭工	ı		1					ı							
既製コンクリート杭	規格: 径: 長さ:	PHC杭 (A種7m•B種7m) <i>ϕ</i> 400mm 14m	本	1	既製コンクリート杭打込費 カットオフ費 杭頭処理費 中詰コンクリート打設費	工法区分: 打込(掘削)長区分: ヤットコ使用の有無: 杭吊込用機種計上区分:	中掘(グラウト式) 16m~32m	中掘の場合はヤトコ使用の有無と 吊込用機種計上 分については明ましない。							
殼運搬	殻種別: 運搬距離:	コンクリート(鉄筋) 2.0km	m3	1	殼運搬費	処分場所(運搬距 離):	〇〇建設管理部管内 (4.7km)								
殼処分	殻種別:	コンクリート(鉄筋)	m3	1	処分費										
コンクリートパネル	質量: 寸法:	質量Ot 1.0×1.0m	枚	1	横取費 積込費 運搬費費 荷卸置費 設置費 特許料	施工区分(運搬距離):	積込~運搬(5.0km)~ 据付								
海岸コンクリートブ ロック製作	コンクリート配合: コンクリート種別: 公称質量:	C-O 混合セメント(B種) 2t	個	1	ブロック製作費 鉄筋 ブロック給熱養生費 特許料										
海岸コンクリートブ ロック据付	公称質量:	2 t	個	1	消波ブロック設置(海岸) ブロック転置費(陸上/海上) ブロック横持ち費 ブロック球付費(「スイング) ブロック運搬据付費(陸上連携/海 上一連/陸海一貫方式)	施工: 運搬距離: 据付:	陸海一貫方式 陸上運搬2.0km 海上運搬3.5km 据付								
中詰石	石材種類:	中割石	m3	1	石材投入費(海上現場投入渡し) 陸上投入費(直接/バックホウ/ラフ テレーンクレーン/クラムシェル投 入)			流用材を海上投, 及び陸上投入す。 場合は、別途積」 げする							
		i			10.00			11/2.0							

突堤

工事工種体系化構成表(漁港海岸)

佐生/東上	足堤			上 事工	哩Ⅴ	1 徐 4	化構成表(漁港	海 厈)		
(個)	種•	種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格 (レベル5)	規格記入例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
関矢板 製を無理性 5 VVV250 枚 1 mm	矢	板工		•			•	•		
広報鋼失板		鋼矢板	型式:	Ⅳ型	枚	1	鋼矢板・鋼管矢板 (材料費/荷卸費/運搬費) 鋼管矢板打設度 (ディーゼルハンマ/油圧ハンマ) (陸上/海上)			バックホウ装着式 バイブロハンマの 場合 tra E G Z
調失板防食 場地 場 で		広幅鋼矢板	格: 型式:	Ⅳw型	枚	1	鋼矢板打設費(パイプロハンマ) (陸上/海上) 杭打船拘束費 鋼矢板・鋼管矢板切断費 鋼矢板打設(U型矢板/組合せ矢板)	打込長区分:		については明示し
「		鋼矢板防食	陽極規格:		or	1	付費/陽極取付費】 ②^^トロラタム被覆【足場設置撤去費 (各種)/下地処理費(各種)/被覆防 食費(各種)/端部処理費(各種)】			
### 1		腹起	溝形鋼規格:		m	1				
控え版		タイ材			組	1	胴木設置費 タイロッド設置費			
中語砂 砂規格: m3 1 型機体(環境)連生		控え版	セメント種別: 底幅:	混合セメント(B種) 50cm	m	1	基礎材費 コンクリート 型枠 鉄筋			
石枠工		中詰砂	砂規格:		m3	1	土砂等運搬 埋戻			
コンクリート枠製作 セメト 日か 日か 日か 日か 日か 日か 日か 日	石	· 本工	•	•			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			•
コンクリート枠据付 寸法: 10m×1.0m 個 1 プロック機持5度 選出機		コンクリート枠製作	セメント種別:	混合セメント(B種)	個	1	型枠 鉄筋			
中語石 石材種類: 中割石 m3 1 1 200m m2 1 1 200m m3 1 200m m2 1 1 200m m3 200m m		コンクリート枠据付	寸法:	1.0m × 1.0m	個	1	ブロック横持ち費 ブロック据付費(1スイング) ブロック運搬据付費(陸上連携/	運搬距離:	陸上運搬2.0km 海上運搬3.5km	
中語石 石材種類: 中割石 m3 1 プラレーシウレーソクラムシェル 接入 M3 は、別線 H2人 M3		消波根固ブロック運搬	公称質量:	2 t	個	1		運搬距離:	陸上運搬2.0km	
場所打コンクリートエ コンクリート コンクリート コンクリート配合: C-〇 混合セメント(B種) m3 1 コンクリート打設費 構造物種別: 日打設量区分: 提集を明示し、送客半均返長 50のみに送客 150の名と記念 250の名と記念 500の名と記念 2500の名と記念 500の名と記念 500の名と記念 500の名と記念 500の名と記念 500の名ところ 500の名をころ 500の名ところ 500の名		中詰石	石材種類:	中割石	m3	1	陸上投入費(直接/バックホウ/ラフテレーンクレーン/クラムシェル			及び陸上投入する場合は、別途積」
コンクリート コンクリート配合: C-O 混合セメント(B種) m3 1 コンクリート打設費 構造物種別: 同打設量区分: 圧送管超過延長: ポンプ車打設合のみ圧送管 経長を明示し、送管中均延長 530mを超えるの延長とする 接続 10 0.01 鉄筋加工・組立費 ガス圧接費もしくは機械総手費 関格: 原本10mm のの6g/cm3以上級 m2 1 目地材設置費 関格: 原本10mm のの6g/cm3以上級 m3 1 処分費 に対して、 (防) 護岸・胸壁: 護岸基礎エー水中コンクリート工を適用) ケーソンエ (防) 波堤・防砂堤・導流堤: 本体エ(ケーソン式)を適用) セルラーエ (防) 波堤・防砂堤・導流堤: 本体エ(ケーソン式)を適用) 収分・ では、		捨石均し	均し精度:	±30cm	m2	1	捨石均し費(水中/陸上)			
コンクリート コンクリート配合: C-O 混合セメント(B種) m3 1 コンクリート打設費 構造物種別: 信息管理の記憶を明示し、設管卵の返長とする 鉄筋材料規格: SD345 と 1 日地材 種類: 標さ10mm の0.06g/cm3以上級	場	所打コンクリートエ								
鉄防 径: D16 t 0.01 ガズ圧接費もしくは機械継手費 目地材 種類: 規格: 樹脂発泡体 厚さ10mm 規格: m2 1 目地材設置費 (型枠) 一 (m2) 1 型枠設置撤去費 構造物種別 無筋構造物 水中コンクリートエ (堤防・護岸・胸壁:護岸基礎エー水中コンクリート工を適用) ケーソンエ (防波堤・防砂堤・導流堤:本体エ(ケーソン式)を適用) セルラーエ (防波堤・防砂堤・導流堤:本体エ(ケーソン式)を適用) 関直エ (堤防・護岸・胸壁:横固工を適用) 特波工 (堤防・護岸・胸壁:横造物撤去エー構造物取壊工を適用) 取設工 (全工種共通:仮設工を適用)		コンクリート			m3	1	コンクリート打設費	日打設量区分:		ポンプ車打設の場合のみ圧送管超延長を明示し、圧送管平均延長のち30mを超える部の延長とする
目地材 「標照: 規格: 「厚さ10mm (0.06g/cm3以上級」」」 m2 1 目地材設置費 (型枠) - (m2) 1 型枠設置撤去費 構造物種別 無筋構造物 処分費 m3 1 処分費 水中コンクリートエ (堤防・護岸・胸壁:護岸基礎エー水中コンクリート工を適用) ケーソンエ (防波堤・防砂堤・導流堤:本体エ(ケーソン式)を適用) セルラーエ (防波堤・防砂堤・導流堤:本体工(ケーソン式)を適用) 関因工 (堤防・護岸・胸壁:相固工を適用) 当波工 (堤防・護岸・胸壁:構造物撤去工-構造物取壊工を適用) 最造物撤去工 (堤防・護岸・胸壁:構造物撤去工-構造物取壊工を適用) 取工 (全工種共通:仮設工を適用)		鉄筋		D16	t	0.01	鉄筋加工・組立費 ガス圧接費もしくは機械継手費			
加分費				厚さ10mm	m2	1	目地材設置費			
水中コンクリートエ			_			1		構造物種別	無筋構造物	
ケーソンエ (防波堤・防砂堤・導流堤:本体工(ケーソン式)を適用) セルラーエ (防波堤・防砂堤・導流堤:本体工(ケーソン式)を適用) 限固工 (堤防・護岸・胸壁:根固工を適用) 構造物撤去工 (堤防・護岸・胸壁:構造物撤去工-構造物取壊工を適用) 取設工 (全工種共通:仮設工を適用)	L.					1				
セルラーエ (防波堤・防砂堤・導流堤:本体工(ケーソン式)を適用) 関固工 (堤防・護岸・胸壁:相固工を適用) 消波工 (堤防・護岸・胸壁:消波工を適用) 構造物撤去工 (堤防・護岸・胸壁:構造物撤去工-構造物取壊工を適用) 東設工 (全工種共通:仮設工を適用)	-									
限固工 (堤防・護岸・胸壁:根固工を適用) 消波工 (堤防・護岸・胸壁:消波工を適用) 構造物撤去工 (堤防・護岸・胸壁:構造物撤去工-構造物取壊工を適用) 取設工 (全工種共通:仮設工を適用)	<u> </u>									
	Ė			ı			ノノス)を週用)	ı		1
構造物撤去工 (堤防・護岸・胸壁:構造物撤去工-構造物取壊工を適用) 取設工 (全工種共通:仮設工を適用)							1	1		ı
文設工 (全工種共通:仮設工を適用)	肖波	ZI	(堤防・護岸	・胸壁:消波工を	適用)				
	冓造	物撤去工	(堤防・護岸	・胸壁:構造物排	散去エ	−構造	物取壊工を適用)			
工事内容により、他の工種種別(レベル2,3)が必要となる場合は適宜追加すること。	反設	<u></u>	(全工種共通	通: 仮設工を適用	月)					
工事内容により、他の工種種別(レベル2,3)が必要となる場合は適宜追加すること。										
エ争内谷により、他の工性性別(レヘルと、3)か必要とはる場合は適宜追加すること。			古라하는 너	山小一坪坪	8d / 1	A* :: A	つ) おかました7年へ	ナ海岸やホーフ	- 4	
			学内公によ	ツ、心の土種種	か) (レ	ハルと	, ゚゚ノ か必安とばる場合 	は四旦追加する。	-<-	
	Ħ									

消波堤

工事工種体系化構成表(漁港海岸)

			<u> —</u>	717			<u> </u>					
	工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格 (レベル5)	規格記入例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考			
海	岸土工	(堤防・護岸・)	∱・ 護岸・胸壁:海岸土工を適用)									
基础	礎工	(突堤:基礎工	を適用)			•	•					
本化	· 体工	(堤防•護岸•月	胸壁∶消波工を	適用)			•					
構	- 造物撤去工	(堤防・護岸・)	胸壁:構造物撤	去工-	-構造物	加取壊工を適用)						
仮	設工	(全工種共通:	: 仮設工を適用)								
	工事内容により、他の工種種別(レベル2,3)が必要となる場合は適宜追加すること。											
\vdash												
H												
H												
Ħ												
!_						l						

離岸堤

工事工種体系化構成表(漁港海岸)

離厈埞		一一性的	ヾボヿ	し作り	叹衣(洪冷	/ 毋/干/		
工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
基礎工	(突堤:基礎工	を適用)						
本体工								
捨石工	(突堤:本体工	捨石工を適用	用)					
被覆石工	(突堤:本体工	一被覆石工を迫	箇用)					
海岸コンクリートブロックエ	(突堤:本体工	-海岸コンクリ	ートブ	ロックコ	を適用)			
場所打コンクリートエ	(突堤:本体工	∵場所打コンク	リート	工を適	用)			
水中コンクリートエ	(突堤:本体工	-水中コンクリ	ートエ	を適用)			
ケーソンエ	(突堤:本体工	ニケーソンエを	適用)					
セルラーエ	(突堤:本体工	ニーセルラーエを	適用)					
消波工	(突堤:消波工	を適用)						
構造物撤去工	(堤防•護岸•朋	匈壁:構造物撤	去工-	構造物	取壊工を適用)			
仮設工	(全工種共通:	仮設工を適用)					
工事	内容により、他	の工種種別(l	ノベル	2, 3)	が必要となる場合	合は適宜追加するこ	ع.	
			1					

人エリーフ

工事工種体系化構成表(漁港海岸)

				<u>14-1</u>	1 7 1 7 1		(-3 / 1 /				
エ	重・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格 (レベル5)	規格記入例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考		
本	体工										
	捨石工	(突堤:本体	エ−捨石エを適	用)							
	被覆石工	(突堤:本体	エ−被覆石エを	適用)							
	海岸コンクリートブロッ	クエ									
	海岸コンクリートブロック製作	コンクリート配合: コンクリート種別: 公称質量:	C-〇 混合セメント(B種) 30t	個	1	ブロック製作費 鉄筋 ブロック給熱養生費 特許料 川波プロツク設直(畑戸)					
	海岸コンクリートブロック据付	公称質量:	30t	個	1	ブロック転置費(陸上/海上)ブロック横持ち費	施工: 運搬距離: 据付:	陸海一貫方式 陸上運搬2.0km 海上運搬3.5km 据付			
	シャックル	規格: 径: 長さ:	SR235 φ22mm	組	1	シャックル材費					
構	造物撤去工	(堤防•護岸	・胸壁:構造物排	敦去エ	−構造	物取壊工を適用)					
仮	設工	(全工種共通	₫:仮設工を適用	引)		•					
_		工事内容により、他の工種種別(レベル2,3)が必要となる場合は適宜追加すること。									

董浜 工事工種体系化構成表(漁港海岸)

工種	・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格 (レベル5)	規格記入例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
海岸	羊土工	(堤防・護岸	・胸壁:海岸土ニ	Lを適	i用)				
軽量	虚盘土工	(堤防•護岸	- 胸壁 : 軽量盛=	Lエを	·適用)				
砂」	Ŀт								ı
ᡮ	艮固ブロックエ								
	根固ブロック製作 (施エパッケージ)	セメント種別: 寸法:	C−○ 普通ポルトランドセメント 5.0 × 2.5 × 1.6m 42.32t	個	1	根固ブロック製作費 鋼製枠組足場架払費 鉄筋加工組立費 吊鉄筋加工組立費			
	根固ブロック製作	セメント種別: 寸法:	C-O 混合セメント(B種) 5.0×2.5×1.6m 42.32t	個	1	ルーフィング設置費 鋼製枠組足場架払費 鉄筋 吊鉄筋加工組立費 鋼製型枠組立組外費 コンクリート打設費 フロック・球値買			
	根固ブロック据付		5.0 × 2.5 × 1.6m 42.32t	個	1	ブロック転員負 ブロック横持ち費 ブロック据付費(1スイング) ブロック運搬据付費(陸上連携/海上一連/陸海一貫方	他工: 運搬距離:	陸海一貫方式 陸上運搬2.0km 海上運搬3.5km 据付	
	捨石	石材種類:	中割石	m3	1	石材投入費(海上現場投入 渡し) 陸上投入費(直接/バックホ ウ/ラフテレーンクレーン/ク ラムシェル投入)			流用材を海上投入 及び陸上投入する 場合は、別途積上 げする
仮言	· 殳工	(全工種共通	₫:仮設工を適用])					
		工事内容	こより、他の工程	重種別	リ(レベ	ル2, 3)が必要となる ^は	場合は適宜追加す	けること。	

種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格 (レベル5)		単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
設工								
(仮設鋼矢板·H型鋼杭)	鋼矢板規格: 型式: 長さ:	SYW295 IV型 10m	(枚) or (本)	1	導材質料等・設置撤去費 鋼矢板・鋼管矢板 (相料費/簡矢板 (頭管矢板打設費/撤去費 (ディーゼルハンマ/油圧ハンマ) (陸上/海上) 杭打船が入マ付替 鋼矢板打設費/撤去費(バイブロハンマ) (陸上/海上) (陸上/海上) 類矢板・鋼管矢板切断費 鋼矢板・鋼管矢板切断費 鋼矢板打設/撤去費 (U型矢板/組合せ矢板) (油圧ハンマ/ディーゼルハンマ)	工法区分: 打込長区分:	ウォータージェット併用 油圧式バイブロハンマ 9~12m	バックホウ装着。 イプロハンマの5 合、打込長区分 いては明示しない
仮設鋼管杭•鋼管矢棚	五							
(先行掘削)			(本)	1	先行掘削費			
(仮設鋼管杭·鋼管矢板)	規格: 規形式: 長さ:	SS400 H250×250×9×14mm 長さ8.6m	(枚) or (本)	1	鋼杭・鋼管矢板(材料費/荷卸費/運搬費陸上/海上/打股費) (ディーゼルハンマ/油圧ハンマ/バイブロハンマ) (陸上/海上) 杭打船ハンマ付替 杭打船拘束費 H形鋼打設(バイブロハンマ)(陸上) 鋼杭打股費 (ジェット併用バイブロハンマ) (陸上/海上) 導材賃料等 導材設置撤去	何即し機種: 運搬距離: 工法: エス 長 反公・	トラッククレーン16t吊 0.3km ウォータージェット併用 油圧式パイプロハンマ 8~10m	
仮設道路工								
(仮設道路)	幅員:		(m2)	1	仮設道路設置費			
工事用道路工								
(工事用道路盛土)	運搬距離:	10.5km	(m3)	1	積込(ルーズ)費 土砂等運搬費 土材料費 販均・締固費 埋戻費 法面整形費	搬入元: 運搬距離:	△△土取場 10.5km	
(工事用道路掘削)	土質: 運搬距離:	土砂 10.5km	(m3)	1	掘削 積込(ルーズ) 土砂等運搬 整地等処分 法面整形	搬入先: 運搬距離:	△△土取場 10.5km	
(安定処理)	固化材種類: 100m2当り使用量: 混合深さ:		(m2)	1	固化材散布 混合 敷均•締固費			
(敷砂利)	路盤材種類: 厚さ: 運搬距離:	0~40mm級切込砕石 10cm 2.0km	(m2)	1	敷均費 敷砂利撤去費			
敷鉄板	敷鉄板規格:	厚さ22mm 幅1524mm 長さ6096mm	m2	1	敷鉄板設置·撤去費 敷鉄板賃料等			
(仮設舗装)	路盤材料: 路盤厚: 舗装材料: 再生合材混入率: 舗装厚:	0~80mm級切込砂利 厚さ30cm 粗粒度アスファルト混 合物(車道用) 再生合材混入率20% 舗装厚5cm	(m2)	1	不陸整正 路盤工(車道・路肩部・歩道部) アスファルト合材敷均・締固			
(仮設アスカーブ)			(m)	1	アスカーブ施工費			
(舗装版切断)	舗装版種別: 舗装版厚:	アスファルト 15cm	(m)	1	舗装版切断費			
(舗装版破砕)	舗装版種別: 舗装版厚:	アスファルト 15cm	(m2)	1	舗装版破砕費			
(工事用道路補修)	補足材:	0~40mm級切込砕石	(式)	1式	不陸整正費 路面補修費			
(土のう)	作業区分: 運搬距離:	仕拵·積立·撤去 2.0km	(袋)	1	土のう・大型土のう設置/撤去費			
(土のう積)	運搬距離:	2.0km	(m2)	1	土のう積立・撤去費			
(殼運搬)	殼種別: 運搬距離:	アスファルト殻 4.7km	(m3) or (t)	1	殼運搬費	処分場所(運搬距離):	〇〇建設管理部管内(4.7km)	
(殻処分)	殼種別:	アスファルト殻	(m3) or (t)	1	処分費	処分場所(運搬距離):	〇〇建設管理部管内(4.7km)	

種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格 (レベル5)	規格記入例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
橋•仮桟橋工		ı	1.		1	,		1
	土質:	土砂	(m3)	1	掘削費			
(床掘)	土質:	土砂	(m3)	1	床掘費			
(埋戻)	土質:	土砂	(m3)	1	埋戻費			
(基面整正)			(m2)	1	基面整正費			
(掘削補助機械搬入搬出)			(回)	1	機械搬入搬出費			
(転石破砕)			(m3)	1	転石破砕費			
(積込(ルーズ))	土質:	土砂	(m3)	1	積込(ルーズ)費			
(人力積込)	土質:	土砂	(m3)	1	床掘費 ベルトコンベア併用人力掘削費			
(人力運搬)	土質: 運搬距離:	土砂 60m以下	(m3)	1	人肩運搬費 小車運搬費			
(押土(ルーズ))	土質:	土砂	(m3)	1	押土(ルーズ)費			
(整地)	土質:	土砂	(m3)	1	整地費			
(土砂等運搬)	土質: 運搬距離:	土砂 4.7km	(m3)	1	運搬費		〇〇処分場 4.7km	仮置場について 出先と同様に積り 件を明示する
(残土等処分)			(m3)	1	処分場及び受入地での処分費			
(土材料)	土質:	土砂		1	土材料費		□□土取場	
\	運搬距離:	32.9km	(m3)	ı			32.9km	
(仮橋コンクリート基礎)	幅・長さ・高さ: コンクリート配合: セメント種別:	5.0m×1.0m×1.0m C-4 混合セメント(B種)	(箇所)	1	基礎材 採取小割費 コンクリート 型枠 鉄筋			
(橋脚)			(t)	0.1	杭橋脚打込/引抜費 導枠設置/撤去費 橋脚設置/撤去費 村橋脚設置/撤去費 H形銅/短形網/埋設/撤去予定全 面埋設/一部埋設/予定/撤去予定 材料費			
(仮橋上部)			(t)	0.1	上部工架設/撤去費 H形鋼杭賃料等 材料費			
[電線共同溝])	覆工板規格:	鋼製・滑り止め加工	(m2)	1	覆工板(設置/撤去費·賃料等) 覆工板開閉作業費			
(覆工板設置·撤去 [仮桟橋設置撤去工])	覆工板規格:	鋼製・滑り止め加工	(m2)	1	覆工板(設置/撤去費·賃料等) 覆工板開閉作業費			
(覆工板設置·撤去 (覆工板設置·撤去 [仮橋·仮桟橋])	覆工板規格:	鋼製・滑り止め加工	(m2)	1	覆工板(設置/撤去費·賃料等) 覆工板開閉作業費			
(仮設高欄)			(m)	1	高欄設置/撤去費			
(コンクリート構造物取壊)	構造物区分·	無筋構造物	(m3)	1	取壊費			
(積込(コンクリート殻))	将起初起力。	MAD 145 E 155	(m3)	1	積込(コンクリート殻)費			
(特色(コンプラーが以))			(m3)	'	(見た(コンプ) 「TIX/貝			
(殻運搬)	殻種別: 運搬距離:	コンクリート(鉄筋) 4.7km	or (t)	1	殼運搬費	処分場所(運搬距離):	〇〇建設管理部管内(4.7km)	
(殼処分)	殻種別:	コンクリート(鉄筋)	(m3) or (t)	1	処分費	処分場所(運搬距離):	〇〇建設管理部管内(4.7km)	
(鋼管杭)	規格: 径: 長さ:	SKK490(t=9mm) Ø400mm 長さ10m	(本)	1	鋼管・既製コンクリート杭打費 鋼管ソイルセメント杭費打費 杭頭処理溶接費 ガス切断「鋼管杭力費 鉄筋材料・加工・組立費 コンクリート打設費 導枠賃料等 H形鋼杭賃料等 バイブロハンマ及びウォーター ジェット併用施工による打込・引抜 費			
(現場取卸(鋼管杭))			(t)	0.1	現場取卸費			
(防舷材)	材料規格:	ゴム式	(基)	1	防舷材設置費			
·面覆工		1	, .		Т.	,		Т
(122-1117)	鋼材規格:	I型鋼	(t)	0.1	覆工板受桁設置/撤去費 覆工板賃料等			
(覆工板設置·撤去 [電線共同溝])	覆工板規格:	鋼製・滑り止め加工	(m2)	1	覆工板(設置/撤去費·賃料等) 覆工板開閉作業費			
(覆工板設置·撤去 [仮桟橋設置撤去工])	覆工板規格:	鋼製・滑り止め加工	(m2)	1	覆工板(設置/撤去費·賃料等) 覆工板開閉作業費			
(覆工板設置·撤去 [仮橋·仮桟橋])	覆工板規格:	鋼製・滑り止め加工	(m2)	1	覆工板(設置/撤去費·賃料等) 覆工板開閉作業費			
	覆工板規格:	鋼製・滑り止め加工	(m2)	1	覆工板受桁設置/撤去費 覆工板賃料等			

└妻共通(汲設工) ・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格 (レベル5)		単位	数位	デル 作 八 衣	明示すべき積算条件	記載例	備考
重機用足場工	,501G (2 72 0)	790 11 1107 (17)	+4	2012	十四(777) 1日	STATE CIRPERTI	HO-PA (7.)	, cut
(重继用信息)電视吸制化)	形式:	3段A型-1.0W	()	1	香地中/G 凯雷帕攻制 // 中			
(主)及用以改建测距表(F)	詰石種類:	中割石	(m)	1	重機用仮設運搬路製作費			
(重機用仮設運搬路設置)		3段A型-1.0W	(m)	1	重機用仮設運搬路設置費			
(重機用仮設運搬路移設)		3段A型-1.0W	(m)	1	重機用仮設運搬路移設費			
	形式:	3段A型-1.0W	(m)	1	重機用仮設運搬路撤去費			
(間詰石)	石材種類:	雑割石	(m3)	1	間詰費			
(吸出し防止シート)	種類:	織布 引張強度 1,260N/3cm以上	(m2)	1	吸出し防止材			
(不陸整正材)	材料種類:	0~80mm級切込砕石	(m2)	1	不陸整正材敷均/撤去費			
(敷鉄板)	敷鉄板規格:	厚さ22mm 幅1524mm 長さ6096mm	(m2)	1	敷鉄板設置·撤去費 敷鉄板賃料等			
	コンクリート配合: セメント種別:	C-○ 混合セメント(B種)	(m3)	1	コンクリート打設・養生費			
(型枠)	一	比白ピグンド(D性)	(m2)	1	型枠設置・撤去費			
(コンクリート構造物取壊)	構造物区分:	無筋構造物	(m3)	1	コンクリート取壊費			
	IFAE IN E 77 .	M 100 117.2E 100	(m3)		破砕片除去/積込費			
	殻種別: 運搬距離:	コンクリート(鉄筋) 4.7km	or (t)	1	殼運搬費	処分場所(運搬距離):	〇〇建設管理部管内(4.7km)	
/±0.60 /\\	48 75 Cu	- full (Ad Ma)	(m3)	4	to () th			
(殼処分)	殼種別:	コンクリート(鉄筋)	or (t)	1	処分費	処分場所(運搬距離):	〇〇建設管理部管内(4.7km)	
上留·仮締切工		1	, , - <i>,</i>		•		1	
()# IE)			, .		床掘費 運搬費			
(溝掘)	運搬距離:	2.0km	(m3)	1	連搬貨 人力積込費 構造物取壊費			
					鋼矢板(材料費・賃料等)			
					バイブロハンマ及びウォーター ジェット併用施工による鋼矢板打込			
(鋼矢板)	鋼矢板規格: 型式:	SYW295 IV型	(枚)	1	み/引抜費 鋼矢板圧入費			
	長さ:	10m	(1)	'	継鋼矢板圧入費 油圧式杭圧入引抜機据付/解体費			
					クレーンによる鋼矢板引抜費 鋼矢板(埋設・撤去予定全面埋設・			
					一部埋設予定·撤去予定一部埋設) 鋼矢板材料費			
	广后侧左右组妆 。	SYW295			バイブロハンマ及びウォーター ジェット併用施工による鋼矢板打込			
(広幅鋼矢板)	広幅鋼矢板規格: 型式:	Ⅳw型	(枚)	1	み費 鋼矢板圧入費			
	長さ:	長さ10m			継鋼矢板圧入費 油圧式杭圧入引抜機据付/解体費			
					水中ポンプ運転費			
	軽量鋼矢板規格:	SS400			軽量鋼矢板材料費 軽量鋼矢板打込/引抜費			
(軽量鋼矢板)	型式: 長さ:	Ⅱ型 長さ6m	(枚)	1	軽量鋼矢板(埋設·撤去予定全面埋 設·一部埋設予定·撤去予定一部			
	xc.	, ACOM			埋設)費 ガス切断費			
	軽量鋼矢板規格:	SS400	(式)	1式	形容鋼矢板設置·撤去費			
(電線共同溝))	型式:	Ⅱ型	(20)	. 20	H形鋼賃料等			
					バイブロハンマ及びウォーター ジェット併用施工による鋼矢板打込			
/ L I 分 図 + 士 \	H鋼型式:	SS400	/ \	4	み・引抜費 H形鋼打込(プレボーリング)費			
	H鋼長さ(杭長):	150 × 150 × 7 × 10mm 5m	(本)	1	クレーンによるH形鋼引抜費 H形鋼(埋設・撤去予定全面埋設・			
					一部埋設予定・撤去予定一部埋設)費			
(当1717-7-1-1)	坐네 71 4▽	率に対ける。	()	4	ガス切断費			
(削孔(アンカー)) (アンカー鋼材加	削孔径:	削孔径 φ 90mm	(m)	1	削孔費			
丁.組立.插入.竪	防食方式:	二重防食	(-\		アンカー鋼材加工・組立			
張·定着·頭部処理	鋼材種別: 設計荷重:	PC鋼線より線 400kN	(本)	1	挿入·緊張·定着 頭部処理費			
(アンカー))			(^)	4	L"-113-7 ***			
(グラウト注入)			(m3)	1	グラウト注入費			
(ボーリングマシン移設) (アンカーエ材料費			(回)	1	ボーリングマシン移設費			
(アンカーエ州 科質 (アンカー))			(式)	1式	アンカー材料費	<u> </u>		
			(空m3)	1	足場設置·撤去費			
(足場(アンカー))			1		タイロッド設置・撤去費	1		
	タイロッド径:	φ 25	(t)	0.1	山留材賃料等 タイロッド材料費			
	タイロッド径:	φ 25	(t) (t)	0.1	山留材賃料等			

	工事共通(仮設工) 上事上種体糸化構放表												
種•	種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格 (レベル5)	規格記入例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考				
	(盛替梁)	梁規格:	H-300 × 300 × 10 × 15	(箇所)	1	切梁/腹起設置·撤去費 山留材賃料等							
	(じゃかご)	かご径: 運搬距離:	径45cm 2.0km	(m)	1	じゃかご設置費 (床拵え/埋戻を含む) 吸出し防止材材料費/撤去費							
	(ふとんかご)	高さ: 幅: 運搬距離:	50cm 120cm 2.0km	(m)	1	ふとんかご設置費 (床拵え/埋戻を含む) 吸出し防止材材料費/撤去費							
	(土のう)	作業区分: 運搬距離:	仕拵·積立·撤去 2.0km	(袋)	1	土のう・大型土のう設置/撤去費							
	(土のう積)	運搬距離:	2.0km	(m2)	1	土のう積立・撤去費							
	(締切盛土)	運搬距離:	2.0km	(m3)	1	掘削費 積込(ルーズ)費 運搬費 土材料費 敷均,締固費 埋戻費 法面整形費							
	(締切盛土撤去)	運搬距離:	2.0km	(m3)	1	押土(ルーズ)費 積込(ルーズ)費 運搬費 整地費							
	(泥土処理)	運搬距離:	2.0km	(m3)	1	積込(ルーズ)費 運搬費	運搬距離:	4.7km					
	(中詰盛土)	運搬距離:	2.0km	(m3)	1	積込(ルーズ)費 運搬費 土材料費 敷均・締固費・埋戻費							
	(中詰盛土撤去)	運搬距離:	2.0km	(m3)	1	床掘費 掘削補助機械搬入搬出作業費 運搬費 整地費 残土等処分費							
	(殻運搬)	殻種別: 運搬距離:	廃プラスチック類 4.7km	(m3) or (t)	1	殼運搬費	処分場所(運搬距離):	〇〇建設管理部管内(4.7km)					
	(設処分)	殼種別:	廃プラスチック類	(m3) or (t)	1	処分費	処分場所(運搬距離):	〇〇建設管理部管内(4.7km)					
水	〈替工												
	(ポンプ排水)	排水量: 排水区分:	40~120m3/h 作業時排水	(日)	1	ポンプ運転費							
	(ポンプ設置・撤去)			(箇所)	1	ポンプ運転費	ポンプ据付・撤去:						
	(水替とい)	寸法:	幅45cm・高さ30cm	(m)	1	とい排水製作費 とい排水設置・撤去費							
地	下水位低下工	•	•			•							
	(ウェルポイント)	打込深度・本数: ポンプ台数:	深度2.5m25本 深度1.7m25本 1台	(日)	1	ウェルポイント設備設置・撤去費 運転管理費 ウェルポイント工賃料等 ジェット装置賃料等							
	(ディープウェル)	径: 本数: 深さ:	φ 400 2本 10m	(日)	1	ディープウェル設置・撤去費							
仮	 ī水路工		L		Į		I	L					
	(ヒューム管)	管種類: 管種別: 管径: 基礎形式:	B形管 外圧管2種 φ200mm 90° 固定基礎	(m)	1	ヒューム管据付・撤去費							
	(コルゲートパイプ)	規格: 管径:	I 型円形 φ600mm	(m)	1	コルゲートパイプ据付・撤去費							
	(暗渠排水管)	管種類: 管径:	直管 φ200	(m)	1	暗渠排水管設置費							
	(フィルター材)	材料規格:	0~80mm級切込砂利	(m3)	1	フィルター材設置費							
	(素掘側溝)	運搬距離:	2.0km	(m)	1	積込(ルーズ)費 運搬費 整地費 敷均・締固費							
	(土のう)	作業区分: 運搬距離:	仕拵·積立·撤去 2.0km	(袋)	1	土のう・大型土のう設置/撤去費							
	(土のう積)	運搬距離:	2.0km	(m2)	1	土のう積立・撤去費							

	事共通(仮設工)			<u>+ _ ′</u>	性 1	<u> </u>			
	・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格 (レベル5)	規格記入例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
殑	土受入れ施設工								
	(土のう)	作業区分: 運搬距離:	仕拵·積立·撤去 2.0km	(袋)	1	土のう・大型土のう設置/撤去費			
	(土のう積)	運搬距離:	2.0km	(m2)	1	土のう積立・撤去費			
作	業ヤード整備工					1			
	(ヤード造成)	運搬距離:	2.0km	(m2)	1	土材料費 運搬費 押土(ルーズ)費 敷均・締固費			
	(敷砂利)	路盤材種類: 厚さ: 運搬距離:	0~40mm級切込砕石 10cm 2.0km	(m2)	1	敷均費 敷砂利撤去費			
ŧ	力設備工								
	(受電設備)			(箇所)	1	低圧受電設備設置/撤去費 高圧受電設備設置/撤去費			
	(配電設備)			(m)	1	低圧受電設備設置/撤去費 高圧受電設備設置/撤去費			
	(電動機設備)			(式)	1式	低圧電動機設備設置/撤去費 高圧電動機設備設置/撤去費			
	(照明設備)			(式)	1式	照明設備設置/撤去費			
⊐	ンクリート製造設備	Ι				コンクリートプラント基礎・設置・撤			
	(コンクリートプラン ト設備(砂防))	プラント規格: 設備名:	バッチ型定置式25m3/ h セメントサイロ	(基)	1	去費 動条設備設置・撤去費機械設備設置・撤去費 機械設備設置・撤去費 オ料費 コンクリートミキサ配合費 構造物取壊費 処分費 コンクリートブラント補修費 セメントサイロ設置 撤去費 基礎枠石設置費 コンクリートブ段費 型枠設置・撤去費 型枠設置・撤去費 量基礎・設置・撤去、報告、撤去 機の水管、地方、運動、			
	(コンクリートプラント設備(一般))	プラント規格: 設備名:	バッチ型定置式25m3/ h コンクリートブラント	(基)	1	積込(ルーズ)費 基面整正費 埋戻費 整地費 構造物取壊費 機運搬費 処分費 コンクリート打設費型枠設置/撤去 費			
	(ケーブルクレーン 設備(砂防))	ケーブルクレーン 規格: ウインチ規格:	2t未满 商用電源	(基)	1	ケーブルクレーン設備基礎 据付け/解体費 ワイヤーローブ損耗費 コンクリート材料費 積込(ルーズ)費 埋戻費 整地費 構造物取壊費 般連搬費 処分費 支柱設備設置・撤去費 ウインチ小屋設置・撤去費			
	(ケーブルクレーン 設備(一般))	ケーブルクレーン 規格: ウインチ規格:	21未満商用電源	(基)	1	ケーブルクレーン設備基礎 据付け/解体費 ワイヤーローブ損耗費 コンクリート材料費 積込(ルーズ)費 埋戻費 整地費 構造物取壊費 製運搬費 処運搬費			

£Τ	事共通(仮設工)			<u>∔ 7</u>	<u>悝作</u>	糸化構灰表			
種・	種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格 (レベル5	規格記入例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
۲	ンネル仮設備工		_				_		
	(トンネル仮設備保守)			(月)	1	仮設備保守費			
	(トンネル照明設備)			(式)	1式	照明設置·撤去費			
	(トンネル用水設備)			(箇 所)	1	給水設備設置·撤去費 運転費			
	(トンネル排水設備)			(式)	1式	ポンプ据付・撤去費 ポンプ運転費/排水設備運転費			
	(トンネル換気設備)			(式)	1式	送風機設備設置·撤去費 運転費			
	 (トンネル送気設備) 			(式)	1式	空気圧縮機設備組立·解体費 運転費 坑外送気管敷設·撤去費 坑内送気管損料			
	(トンネル工事用連絡設備)			(式)	1式	トンネル工事用連絡設備 設置・撤去費			
	(トンネル軌条設備)			(式)	1式	軌条設備設置・撤去費 軌条設備損料(レール方式)			
	(トンネル充電設備)			(日)	1	トンネル充電設備設置・撤去費			
	(吹付プラント設備 組立解体)			(基)	1	吹付プラント設備組立・解体費			
	(スライドセントル組 立解体)			(基)	1	スライドセントル組立・解体費 非常駐車帯スライドセントル 組立・解体費			
	(防水作業台車組立解体)			(基)	1	防水工作業台車組立解体費			
	(ターンテーブル設備)			(式)	1式	ターンテーブル設備設置・撤去費			
	(トンネル用濁水処理設備)			(式)	1式	濁水処理設備設置·撤去費 運転費 保守点檢費 泥土運搬費 整地費 泥土処分費			
	(防音設備)			(式)	1式	防音扉設置·撤去費			
财				1				1	
	(仮設舗装)	路盤種類: 路盤仕上り厚: 舗装種類: 舗装規格: 舗装厚:	0~80mm級切込砂利 30cm 粗粒度アスファルト混 合物(車道用) 20% 5cm	(m2)	1	不陸整正 路盤工(車道・路肩部・歩道部) アスファルト合材敷均・締固			
	(タイヤ洗浄装置)	_		(式)	1式	タイヤ洗浄装置設置/撤去費			
	(路面清掃)	_		(式)	1式	路面清掃(機械清掃/人力)費 歩道掃き出し費			
	(散水)	_		(式)	1式	防塵処理(散水作業)費			
波	除工	I .	ı	1 47		ı	1	<u> </u>	
	(異形ブロック)	コンクリート配合: セメント種別: 公称質量:	C-O 混合セメント(B種) 6t	(個)	1	コンクリートブロック仮置費・撤去費	作業区分:	仮置~撤去	
财	; 護施設工		•			1	•		
	(切土及び発破防護柵)			(m2)	1	切土及び発破防護柵 設置・撤去費 鋼矢板・H形鋼埋設費 鋼矢板・H形鋼貫料等 土留材・金網・シート材料費 土留用仮設防護柵設置費			
	(仮囲い)			(m)	1	仮囲い設置・撤去費			
	(仮設落石防護柵)	柵高:	4.0m	(m)	1	防護柵設置·撤去費 防護柵賃料等等			
	(急傾斜防止工事 用防護柵)	防護柵形式:	A型 H=4mL=6m	(組)	1	急傾斜防止工事用防護柵 設置·撤去費			

≧工事共通(仮設工)			<u> </u>	<u>性14</u>	<u>糸化構成表</u>			
種・種別・細別(レベル2, 3,	4)規格 (レベル5	規格記入例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
除雪工								
(現場内除雪(機械	())		(時間)	1	除雪費、凍結防止剤散布費			
(現場内除雪(人力	1))		(人日)	1	除雪費			
(仮囲い屋根部)			(m3)	1	除雪費			
(工事用道路除雪]	_)		(m)	1	除雪費			
(工事工区内除雪]	_)		(m2)	1	除雪費			
(人力除雪)			(m3)	1	除雪費			
(ダンプ搬出除雪)			(m3)	1	搬出除雪費	除雪回数: 搬出先(運搬距離):	3回 ○○捨場(4.7km)	
(防滑材散布)			(t)	1	防滑材散布費			
雪寒施設工								
(ウェザーシェルター	-)		(基)	1	ウェザーシェルター費			
(雪寒仮囲い(Pタイプ	f)))		(m2)	1	防寒囲い設置・撤去費	足場種類:	手摺先行型枠組足場	
(雪寒仮囲い(W·PWタイプ	f))		(式)	1式	防寒囲い設置・撤去費	枠組足場部面積(S1): 枠組み足場部以外(S2):	OOm2 OOm2	
(防寒養生)	構造物種別:	鉄筋構造物	(m2)	1	仮囲い内防寒養生費			
結氷対策工								
(割氷工)			(m2)	1	割氷費			
法面吹付工								
(仮設用モルタル吹作	寸)吹付厚:	Зст	(m2)	1	モルタル吹付費 ラス張費 法面清掃費			
		溶剤型ペイント式区画						
(仮区画線)	区画線種類: 規格·仕様区分:	線 加熱式·実線·白線·幅 15cm	(m)	1	仮区画線設置費			
仮設階段工			•		1			
(仮設昇降用階段)		(箇所)	1	昇降用階段設置·撤去費 仮設階段賃料等			
		I	1	l.		I		I
(交通誘導警備員	<u>, </u>		(人日)	1				
(人)	[/]		(人口)	'				
_								
	工事内容に。	kり、他の工種種	を別(し	/ベル2	2, 3)が必要となる場合	は適宜追加する	こと。)	
			Ì					
. [

上争六	通(仮設工)			<u>+′</u>	<u> </u>	<u> </u>			
種・種別・	細別(レベル2, 3, 4)	規格 (レベル5)	規格記入例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
除雪工									
(現場	内除雪(機械))			(時間)	1	除雪費、凍結防止剤散布費			
(現場	内除雪(人力))			(人日)	1	除雪費			
(仮囲	い屋根部)			(m3)	1	除雪費			
(工事	用道路除雪工)			(m)	1	除雪費			
(工事	工区内除雪工)			(m2)	1	除雪費			
(人力]除雪)			(m3)	1	除雪費			
(ダン	プ搬出除雪)			(m3)	1	搬出除雪費	除雪回数: 搬出先(運搬距離):	3回 ○○捨場(4.7km)	
(防滑	材散布)			(t)	1	防滑材散布費			
雪寒施	設工								
(ウェ	ザーシェルター)			(基)	1	ウェザーシェルター費			
(雪寒	仮囲い(Pタイプ))			(m2)	1	防寒囲い設置・撤去費	足場種類:	手摺先行型枠組足場	
(雪寒仮	更囲い(W・PWタイプ))			(式)	1式	防寒囲い設置・撤去費	枠組足場部面積(S1): 枠組み足場部以外(S2):	O O m2 O O m2	
(防寒	養生)	構造物種別:	鉄筋構造物	(m3)	1	小規模構造物 仮囲い内防寒養生費			
結氷対									
(割氷	(工)			(m2)	1	割氷費			
法面吹	付工								
(仮設	用モルタル吹付)	吹付厚:	3cm	(m2)	1	モルタル吹付費 ラス張費 法面清掃費			
仮区画	線工								
	10X <u>—</u>		溶剤型ペイント式区画						
	(画線)	区画線種類: 規格·仕様区分:	線 加熱式・実線・白線・幅 15cm	(m)	1	仮区画線設置費			
仮設階	段工								
(仮設	(昇降用階段)			(箇所)	1	昇降用階段設置·撤去費 仮設階段賃料等			
安全対		I	I.	l		I	l		
	<u>~</u>			(人日)	1				
(人)	205年各洲县/			()(1)					
		[事内容によ	り、他の工種種	1別(レ	ベル2	2, 3)が必要となる場合	は適宜追加する	こと。	
+									
\top									
_									
\vdash									

全工事共通(共通仮設)

・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格 (レベル5)	規格記入例	単位	数位	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
通仮設費(積上分)	•	•				•		
回 <u>航・えい航費</u>				•				
(回航)	船種•規格:	クレーン付台船50t吊	(回)	1	作業船等艤装費/運転費/検査費 回航保険料 旅費	基地港(距離):	△△港(30海里)	
(えい航)	船種•規格:	クレーン付台船50t吊	(回)	1	作業船等運転費	基地港(距離):	△△港(13海里)	
<u> </u>							<u> </u>	
(建設機械運搬費)	機種・規格: 運搬距離:	バックホウ平積1.0m3 2.0km	(台)	1	建設機械運搬費			
(建設機械器具等運搬)	機種・規格:	バックホウ平積1.0m3	(回)	1	重建設機械分解・組立費			
(重建設機械分解組立輸送費)	機種•規格:	バックホウ平積1.0m3	(回)	1	重建設機械分解・組立費 残存本体及び分解部品の運搬費			
(仮設材等運搬)	運搬距離:	2.0km	(t)	0.1	仮設材運搬費 仮設材積込・取卸し費	輸送起点(運搬距離): 製品長:	〇〇市(25km) 12m以内	
(交通船)			(日)	1	交通船運転費			
隼備費								
木根等処分費	種類:	立木	式	1式	木根等運搬費 処分費	処分場所(運搬距離):	〇〇建設管理部管内(4.7km)	
(立木切倒し・枝払い 切揃え・立木集積)			(本)	1	立木切倒し・枝払い切揃え費立木集積費			
(立木積込み)			(t)	0.1	立木積込み費			
(立木·伐開物·抜 根物運搬費)	種類: 運搬距離:	立木 2.0km	(t)	0.1	立木・伐開物・抜根物等の運搬費	処分場所(運搬距離):	〇〇建設管理部管内(4.7km)	
(立木·伐開物·抜 根物処分費)	種類:	立木	(m3) or	1	立木・伐開物・抜根物等の処分費	処分場所:	〇〇建設管理部管内	
(着工時除雪費(機械))	_		(m2)	1	着工時除雪費 運搬費			
(着工時除雪費(人力))	_		(m3)	1	着工時除雪費 運搬費			
(着工時工事用道路除雪費)	_		(km)	1	着工時除雪費 運搬費			
(着工時搬出除雪費)			(m3)	1	着工時搬出除雪費	搬出先: 運搬距離:	〇〇捨場 4.7km	
路面ヒーター	規格:	融雪用	時間	1	凍結融解費			
(繋船費(海岸))			(式)	1式	繋船費	船種: 休転率:	クレーン付台船 0.12	
(退避)			(日)	1	退避費	退避先:	△△漁港(距離3.5km)	
試験掘り費			箇所	1	試験掘り費			
事業損失防止施設費	1	1			1	1		
家屋調査費	_		式	1式	家屋調査費	ļ		
騒音調査費	_		式		騒音調査費			
振動調査費	_		式	1式	振動調査費			
沈下観測費	_		式	1式	沈下観測施設費 沈下観測費			
傾斜観測費	_		式	1式	傾斜観測費 傾斜観測施設費			
水質調査費	_		式	1式	水質調査費			
地下水観測費	_		式	1式	地下水観測費 地下水観測施設費			
水質汚濁防止膜			式	1式	汚濁防止膜設置 撤去賃料移設費 保守管理費 清掃費処分費			
水質汚濁防止膜(処分費)			式	1式	処分費			
水質汚濁防止枠			式	1式	汚濁防止枠設置 撤去賃料費等			

全工事共通(共通仮設)

江事共通(共通の種・種別・細別(レベル)			数位	化構成表 _{単価構成内容}	明示すべき積算条件	記載例	備考
安全費	., 3, 4/形式性(レベル)	及而	蚁江	半逥博队內谷	カック つき 根昇来件	百七年以17月	佣方
					1		1
(標識)		(式)	1式	灯浮標設置(撤去)費 灯浮標·標識灯維持管理費			
(安全対策)		(式)	1式	巡視·保安費 安全監視船			一般交通誘導を信 安全管理員等は 接工事費で計上す
(探査)		(人目)	1	設標費 潜水探查費 報告書作成費 業務成果品費			
(公安委員会指定委任(言号機)	(基)	1	制御機・制御機調整・車両感知器 信号灯・信号柱・押しボタン 地上配線用ケーブル・架空ケーブ ル設置 撤去費			
役務費	· ·	1		1版五号	ı.		-1
(借地料)		(式)	1式	借地料			
(電力基本料金)	(式)	1式	電力基本料金			
(電力設備工事 負担金)		(式)	1式	電力設備用工事負担金			
(用水基本料金)	(式)	1式	用水基本料金			
技術管理費	L	1 2 3	1	ı	ı L		1
技術管理		式	1式	品質管理費(土質試験費/土質調查 費/溶接試験(現場費) 技術管理費(機械施工積算合理化 調查費/施工実態調查費/設計変 更図書作成費)			品質管理基準に れる試験以外を対 とする
水雷•傷害等保險	· 注料						
水雷保険料		式	1式	水雷保険料			
傷害保険料		式	1式	傷害保険料			
営繕費	•	<u> </u>					
営繕		式	1式	監督員詰所・火薬庫等の営繕(設 置・撤去費・維持修繕費・土地の借 上費用等)			
快適トイレ		基・月	1				
現場環境改善費	· ·	l l	I.		l l		1
現場環境改善	費	式	1式	見学用ステージ設置撤去費等			
	工事内容に	こより、他の工種種別	(レベ)	レ2, 3)が必要となる場	合は適宜追加す	ること。	
							<u> </u>

第2編

漁港調査設計・測量業務体系化の手引き

目 次

第1章 調査設計・測量業務体系化について

- 1. 調査設計・測量業務体系化とは
- 2. 体系構成表について
- 3. 調査設計・測量業務体系におけるレベル定義
- 4. 設計等における数値の扱い
- 5. 適用工種区分コード

第2章 業務工種体系構成表

- 1. 設計業務
- 2. 測量・調査業務
- 3. 土質調査業務

1. 調査設計・測量業務体系化とは

(1) 積算体系化の必要性

地方公共団体等の行う公共事業に求められるものは、「公正に」「より安く」「より良い」 サービスを住民に提供することであり、公共工事においては、入札・契約の「公平・公正」 性を確保し、「コスト」の縮減を図りつつ、「品質」の確保を目指すことである。

このための積算業務改善の方向性は、以下の通りとなる。

- 積算の内容を発注者、受注者にとって分かりやすいものにする
- 誰が積算しても標準化された同じような積算となるものにする。
- ・契約に関する図書類(数量総括表、仕様書等)を一貫した統一の取れた形態とする。
- ・工事目的物が明確に理解できるものにする。

これらを実現しつつ、過度に積算業務が煩雑になることを避け、効率性、合理性を確保するため、「工事工種の体系化」が行われている。

「工事工種の体系化」は、「工事内容について階層的に工種を細分類し、工事の標準的な構成内容を規定するとともに、用語や契約に関わる表示単位について標準的に規定したもの」と言える。設計図書の作成手法としては、母集団となる工事工種体系化構成表を作成し、ここから必要となる部分のみを抽出して使用することとした。これにより、標準的な工事であれば、誰が積算しても同一の構成となるようになった。

「工事工種の体系化」を根幹とし、「共通仕様書や積算基準類の改定」、「積算システムの整備」を行うことによって、発注者・受注者間で契約内容に対する共通認識が形成され「契約内容の明確化・透明性」の向上を始め、発注者様式の統一が図られ「受注者の見積等が容易になる」ことや、契約図書類の整備による「国際化への対応」などが図られる。 北海道では、平成12年度より「工事工種の体系化」を実施している。

(2)調査設計・測量業務の体系化

調査設計・測量業務においても、「契約内容の明確化、積算業務の合理化」を目的として、工事と同様に「体系化」を図る必要がある。その概要は以下の通り。

- a 階層を定義する。 階層数と各階層の内容をレベル定義として次頁に示す。
- b 用語の統一・標準化をする。
- c 業務内容を細分化する。 業務ごとに一連の単位作業が完結し契約数量単位となる 作業(レベル4)に、業務を細分化した業務工種体系化構成表を第2章に示す。
- d 業務工種体系化構成表を母集団とし、そこから必要となる部分のみを抽出することにより、標準的な業務であれば、誰が積算しても設計図書が同一の構成となる。

2. 体系構成表について

業務工種体系化構成表の要点は以下の通り。

- (1) 設計図書の構成順番を規定する。
- (2) 契約対象となる業務細別、規格、単位を規定する。
- (3) 細別(レベル4) を「契約数量を示すレベル」として位置付ける。 なお、漁港関係工事の業務工種体系化では業務数量総括表の細別(レベル4) 数量が「1式」であるため、摘要欄に明示する数量を契約数量として扱う。
- (4) 一件の業務に複数の項目、工種、種別、細別がある場合は、 括弧書き [] で補助表現をする。

3. 調査設計・測量業務における体系のレベル定義

エ	種 別			
レベル	区分	設計業務	測量・調査業務	土質調査業務
レベルロ	業種	業務別を示し、 設計業務とする。	業務別を示し、 測量・調査業務とする。	業務別を示し、 土質調査業務とする。
レ^*ル1	項目	設計業務、漁港・海岸設計、漁港申請図書作成等 の別を示す。	深浅業務、水質環境調査 業務、環境生物調査業務、 漁港施設機能保全計画書 作成の別を示す。	土質調査業務、一般調査 業務の別を示す。
レベル 2	工種	「波浪推算」「漁港施設設計」「海岸保全施設設計」 「公有水面埋立申請図書 作成」等の別を示す。	「深浅測量」「水路測量」 「汀線測量」「流況調査」 等の別を示す。	「直接調査」「間接調査」 等の別とする。
V^* II 3	種別	「漂砂解析」「波浪変形計算」「防波堤基本設計」等の別を示す。 一件の種別が複数に細分化している場合は補助表現として[]にて示す。	「深浅測量」「水路測量」 「汀線測量」「流況調査」 「水質調査」等の別を示 す。	「直接調査」「間接調査」 等の別とする。
レ^*ル 4	細別	「設計計画」「設計計算」 「照査」等の別でレベル 3を構成する歩掛の作業 区分名称。	「基準点測量」「水深測量」 「水準測量」「流況観測」 等の別で、基準書の歩掛 名称に対応する。レベル 3を構成する基準書の名 称。	「ボーリング」「原位置試験」「解析等調査業務」 等の別とする。
レヘ・ル 5	規格	「図面種類」「基礎検討種 類」「構造形式種類」等を 示す。	「1/200」「1/4,000」「レベル 500」等を示す。	「粘性土」「単管式」「ス タッキング法」等を示す。
	設計数量 総括表単位 ・数位	「式」を示し、設計数量 総括表及び設計内訳書の 数量単位を示す。(契約数 量は業務数量総括表の摘 要欄に表示)	「式」を示し、設計数量 総括表及び設計内訳書の 数量単位を示す。(契約数 量は業務数量総括表の摘 要欄に表示)	「式」を示し、設計数量 総括表及び設計内訳書の 数量単位を示す。(契約数 量は業務数量総括表の摘 要欄に表示)
	積算用単位	「式」を示し、 積算用の単位を示す。	「式」を示し、 積算用の単位を示す。	「式」を示し、 積算用の単位を示す。
	積算要素	「基礎部の検討」「基本断面	算定」等の別で、基準書の歩	掛(施工単価)名称等。
	積算用条件	とし、他の歩掛又は歩掛表の 説明を示す。	fi別による場合を示す。また見 D注記による場合を「別途計_ る適用区分コード「A1」「H による。	上」とする。積算要素の補足

4. 設計等における数値の扱い

(1)数量数位の取扱い

- 1)設計計上数量(細別(レベル6)数量)は、原則1位止めとするが、 「第2章 業務工種体系化構成表」の「積算用単位【設計数位】」で【】書き 明記している細別は、その数位とする。
- 2) 設計計上数量(細別(レベル6)数量)が数位に満たない場合は、有効数字1桁 (有効数字2桁目四捨五入)の数量とする。
- 3)業務工種体系化構成表以外の工種を定める必要が生じた場合は、業務工種体系化構成表及び業務内容等を勘案して適正に「積算用単位【設計数位】」を定めるものとする。
- 4) 設計計上数量(細別(レベル6)数量)は、算出された数量を各々の数位に、 四捨五入して求めるものとする。

(2) 設計等における数値の扱い

設計に使用する数値の端数処理等の方法は、基準書等に特別な定めがある場合を除き 以下のとおりとする。

- 1)数量(歩掛値) 数量(歩掛値)に補正を行う場合、補正係数を乗じた設計数量は、小数第3位 (小数第4位四捨五入)まで算出する。
- 2)補正係数及び変化率 補正係数及び変化率は、小数第2位(小数第3位四捨五入)まで算出する。

5. 適用工種区分コード

【設計業務】

区 分コード	項目	諸経費	その他 原価	一般管理 費等	安全費	電子成果品 作成費	印 刷 製本費	事 務 用品費	施 工管理費
U 1	漂砂解析	設計	35%	35%	-	計算式	-	_	-
U 2	その他設計業務	設計	35%	35%	-	計算式			_
U 3	費用対効果分析[漁港]	設計	35%	35%	_	計算式	_	_	_
U 4	費用対効果分析[海岸]	設計	35%	35%	1	計算式			_
V 1	波浪推算	設計	35%	35%	1	計算式			-
V 2	漁港施設設計	設計	35%	35%	_	計算式	_	_	_
V 3	細部設計	設計	35%	35%	1	計算式			_
V 4	実施設計	設計	35%	35%	_	計算式	_	_	_
V 5	海岸保全施設設計	設計	35%	35%	_	計算式	_	_	_
V 6	海岸保全施設実施設計	設計	35%	35%	_	計算式	_	_	_
V 7	灯台設計	設計	35%	35%	1	計算式			-
X 1	漁港申請図書作成	設計	35%	35%	_	計算式	_	_	_
X 2	漁港・漁港海岸電子台帳 整備更新	設計	35%	35%	-	計算式	-	-	-
Х 3	漁港施設機能保全計画書作成 (新規作成)(既存計画更新)	設計	35%	35%	_	計算式	_	_	_
X 4	漁港施設機能診断 (地震・津波対策)	設計	35%	35%	-	計算式	-	_	_

【測量・調査業務】

区 分 コード	項目	諸経費			安全費	電子成果品 作成費	印 刷 製本費	事 務用品費	施 工 管理費
B 1	深浅測量	測量	_	_	率	計算式	_	1	_
B 2	水路測量	測量	_	_	率	計算式	_	-	- [
В3	汀線測量	測量	_	_	率	計算式	_	-	_
B 4	流況調査	測量	_	_	率	計算式	_	-	_
B 5	水質調査	測量	_	_	率	計算式	_	-	_
В6	底質調査	測量	_	_	率	計算式	_	1	_
В7	環境生物調査業務	測量	_	_	率	計算式	_	-	-
В8	漁港施設機能保全計画書作成 (測量)	測量	_	_	率	計算式	_	_	_
В9	災害復旧測量調査業務	測量	_	_	率	計算式	_		_

[※]B9の業務のうち、画像解析は測量調査費であるため、設計の諸経費を用いる。

【土質調査業務】

区 分 コード	項目	諸経費			安全費	電子成果品 作成費	印 刷 製本費	事 務 用品費	施 工 管理費
H 5	土質調査業務	調査	_	_	_	計算式	_	-	0. 70%
区 分 コード	項目	諸経費	その他 原価	一般管理 費等	安全費	電子成果品 作成費	印 刷製本費	事 務 用品費	施 工 管理費
I 1	解析等調査	設計	35%	35%	_	土質調査 業務に含む	_	-	_

(注) 上記事務用品費は、成果品作成のための事務用品費を意味している。

「漁港関係工事積算基準 1400設計業務積算基準」の標準歩掛で積上計上する事務用品費と異なる。

第2章 業務工種体系構成表

- 1. 設計業務
- 2. 測量・調査業務
- 3. 土質調査業務

レベル0 設計業務

レベル1、2、3、4	V	ベル5	単	数	積算用単位	レベル 6	明示すべき積算	明示すべき積算条件	積算
項目、工種、種別、細別	規格	[記載例]	位	位	授并用干区	積算要素	条件	(記載例)	条
務									
W 解析									
漂砂解析	1				1	T		T	
計画準備			式	1	1業務当り	計画準備			U 1
資料収集整理			式	1	1項目当り	資料収集整理	資料収集整理数:	1	U 1
漂砂特性の把握			式	1	1港当り	漂砂特性の把握			U -
モデルの設定			式	1	1港当り	モデルの設定			U -
条件の設定			式	1	1港当り	条件の設定			U ·
計算の実行			式	1	1ケース当り	計算の実行電算費	計算ケース数: 検討港形数:	1	U
計算結果の整理			式	1	1港当り	計算結果の整理			U
結果の検討			式	1	1 港当り	結果の検討			U
報告書作成			式	1	1業務当り	報告書作成			U
照査			式	1	1業務当り	照査			U
打合せ								-	
設計協議			式	1	1式当り	設計協議	中間打合せ:	10	U
直接経費			L. C.						
(事務用品費)			(式)	1	1 式当り	事務用品費			U
(旅費交通費)			(式)	1	1 式当り	旅費交通費			U
成果			式	1	1 式当り	業務成果品費	電子納品: 印刷製本部数:	正副 2 部 3 部	U
(電子計算機使用料)			(式)	1	1式当り	電算費	計算ケース数:	3ケース	U
(機械器具損料)			(式)	1	1 式当り	機械器具損料費			U
(特許使用料)			(式)	1	1式当り	特許使用料			U
(製図費等)			(式)	1	1式当り	製図費等			U
(その他)			(式)	1	1 式当り	その他費用			U
穏度解析									
静穏度解析									
計画準備			式	1					U :
条件の設定			式	1	1 港当り	条件の設定設定			U :
データ作成			式	1	1 港当り	データ作成			U :
計算の実行			式	1	1ケース当り	計算の実行、電算費	検討港形数: 計算ケース数:	1	U
計算結果の整理			式	1	1ケース当り	計算結果の整理			U :
結果の検討			式	1	1港当り	結果の検討			U :
報告書作成			式	1	1業務当り	報告書作成			U :
照査			式	1	1業務当り	照査			U :
打合せ					_	_			
設計協議			式	1	1式当り	設計協議	中間打合せ:	1 回	U 2
直接経費		_				1		,	
(事務用品費)			(式)	1	1式当り	事務用品費			U 2
(旅費交通費)			(式)	1	1式当り	旅費交通費			U 2
成果			式	1	1 式当り	業務成果品費	電子納品: 印刷製本部数:	正副 2 部 3 部	U 2
(電子計算機使用料)			(式)	1	1式当り	電算費	計算ケース数:	3ケース	U 2
(機械器具損料)			(式)	1	1 式当り	機械器具損料費			U 2
(特許使用料)			(式)	1	1式当り	特許使用料			U 2
(製図費等)			(式)	1	1式当り	製図費等			U 2
(その他)			(式)	1	1 式当り	その他費用			U 2

レベル0

レベル	1, 2, 3, 4	レ・	ベル5	単	数	積算用単位	レベル6	明示すべき積算	明示すべき積算条件	積算
頁目、エ	種、種別、細別	規格	[記載例]	位	位	设开加干工	積算要素	条件	(記載例)	条
用対効:	果分析[漁港]									
費用	対効果分析[漁港]									
	現地調査・資料収集			式	1	1港当り	費用対効果分析	施設数: 漁業種類数:	1 ~3 1 ~3	U 3
[便益項目の抽出			式	1	1 港当り	費用対効果分析	施設数: 漁業種類数:	1 ~3 1 ~3	U (
[便益額の算出			式	1	1 港当り	費用対効果分析	施設数: 漁業種類数:	1 ~3 1 ~3	U ;
	費用便益比率の算出			式	1	1 港当り	費用対効果分析	施設数: 漁業種類数:	1 ~3 1 ~3	U :
	報告書作成			式	1	1 港当り	費用対効果分析	施設数: 漁業種類数:	1 ~3 1 ~3	U :
打合·										
	設計協議			式	1	1式当り	設計協議	中間打合せ:	1 🛽	U :
直接:								Т	T T	
	(事務用品費)			(式)	1	1 式当り	事務用品費			U :
	(旅費交通費)			(式)	1	1 式当り	旅費交通費			U ;
	成果			式	1	1 式当り	業務成果品費	電子納品: 印刷製本部数:	正副 2 部 3 部	U :
用対効	果分析[海岸]									
費用:	対効果分析[高潮]							Ī	,	
	計画準備			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長:	2km以下	U 4
	現地踏査			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長:	2km以下	U 4
	既往資料収集・整理			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長:	2km以下	U
	対象便益項目の検討			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長:	2km以下	U 4
j	越波量の算定			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長:	2km以下	U 4
	浸水区域の設定			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長:	2km以下	U 4
	浸水区域の 防護資産の算定			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長:	2km以下	U -
[被害軽減額の算定 [再現確率年波毎]			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長:	2km以下	U -
[被害軽減額の算定 [年次別平均]			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長:	2km以下	U -
	費用便益分析			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長:	2km以下	U .
	報告書作成			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長:	2km以下	U 4
費用:	対効果分析 [侵食]									
Ī	計画準備			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長:	2km以下	Ų.
	現地踏査			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長:	2km以下	U
	既往資料収集・整理			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長:	2km以下	U -
	対象便益項目の検討			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長:	2km以下	U -
	想定侵食区域の設定			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長:	2km以下	U -
	侵食区域内の 土地利用調査			式	1		費用対効果分析		2km以下	U -
	土地面積・一般資産 などの被害額の算定			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長:	2km以下	U -
 	侵食防止便益の算定			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長:	2km以下	U -
	費用便益分析			式	1		費用対効果分析		2km以下	U
l F	報告書作成			式	1		費用対効果分析		2km以下	U
打合·			<u> </u>							
l r	設計協議			式	1	1 式当り	設計協議	中間打合せ:	1 回	U -
直接	経費			•	•					
	(事務用品費)			(式)	1	1式当り	事務用品費			U
 	(旅費交通費)			(式)	1	1式当り	旅費交通費			U 4
				4	1			電子納品:	正副2部	
1 1	成果			式		1式当り	業務成果品費	印刷製本部数:	3部	U

レベル0 設計業務

	ν1, 2, 3, 4		ベル5	単位	数 位	積算用単位	レベル6	明示すべき積算条件	明示すべき積算条件 (記載例)	積算 条
	工種、種別、細別	規格	[記載例]	127	177		積算要素	木叮	(百七年次 [71])	*
	布設設計									
浪推算	^异 折図・回折図の作成									
出力							屈折図・回折図の作成			
	設計計画			式	1	1業務当り	(エネルギー分散 法)			V
	屈折図の作成	エネルギー 分散法		式	1	1波向当り	屈折図・回折図の作成 (エネルギー分散 法)			V -
	回析図の作成	エネルギー 分散法		式	1	1波向当り	屈折図・回折図の作成 (エネルギー分散 法)			V
	照査			式	1	1業務当り	屈折図・回折図の作成 (エネルギー分散 法)			٧.
波沮		平衡方程式]				•		•		
	設計計画			式	1	1業務当り	波浪変形計算			V -
	数値計算			式	1	1波向当り	波浪変形計算 (エネルギー平衡方程 式)			٧.
	換算沖波波高の算定			式	1	10点当り	波浪変形計算 (エネルギー平衡方程 式)			٧.
	設計波高の算定			式	1	10点当り	波浪変形計算 (エネルギー平衡方程 式)			V 1
	伝達波の検討			式	1	10点当り	波浪変形計算 (エネルギー平衡方程 式)			V 1
	照査			式	1	1業務当り	波浪変形計算			V 1
波测	良変形計算[非定常緩勾	配不規則波動	方程式]							
	設計計画			式	1	1業務当り	波浪変形計算 (非定常緩勾配不 規則波動方程式)			V
	数値計算			式	1	1波向当り	波浪変形計算			٧.
	換算沖波波高の算定			式	1	10点当り	波浪変形計算 (非定常緩勾配不 規則波動方程式)			V
	設計波高の算定			式	1	10点当り	波浪変形計算 (非定常緩勾配不			V -
	伝達波の検討			式	1	10点当り	規則波動方程式) 波浪変形計算 (非定常緩勾配不			V -
	照査			式	1	1業務当り	規則波動方程式) 波浪変形計算 (非定常緩勾配不			٧.
波浪	<u>ー</u> 良変形計算[ブレットシ	<u>│</u> ⁄ュナイダー法]				規則波動方程式)			
	設計計画		_	式	1	1業務当り				٧.
	換算沖波波高の算定			式	1	1 波向当り	ナイダー法) 波浪変形計算 (ブレットシュ			V
							ナイダー法) 波浪変形計算			
	設計波高の算定 			式	1	1波向当り	(ブレットシュ ナイダー法)波浪変形計算			V
	回折の検討			式	1	1波向当り	が 成 及 か 計			٧.
	伝達波の検討			式	1	1波向当り	波浪変形計算 (ブレットシュ ナイダー法)			V -
	照査			式	1	1業務当り	波浪変形計算 (ブレットシュ			V -
打台	<u> </u> 음せ	<u>I</u>	<u> </u>	 		<u> </u>	ナイダー法)	<u>l</u>		
	設計協議			式	1	1式当り	設計協議	中間打合せ:	1 🗆	V
直接	妾 経費									
	(事務用品費)			(式)	1	1式当り	事務用品費			V
	(旅費交通費)			(式)	1	1式当り	旅費交通費			٧
	成果			式	1	1式当り	業務成果品費	電子納品: 印刷製本部数:	正副 2 部 3 部	٧.
	(電子計算機使用料)			(式)	1	1 式当り	電算費	計算ケース数:	3ケース	V

レベル0

レベル	ν1、2、3、4 ———————————————————————————————————		ベル5	単位	数点	積算用単位	レベル6	明示すべき積算	明示すべき積算条件	積算
頁目、	工種、種別、細別	規格	[記載例]	位	位	1501711	積算要素	条件	(記載例)	条
港施設	设設計									
防源	皮堤基本設計	_							,	
	設計計画			式	1	1業務当り	設計計画			V
	機能保全方針の 設定資料			式	1	1業務当り	機能保全方針 の設定資料			V
	利用・自然条件設定			式	1	1地点当り	利用・			V :
		155.	white the pre-				自然条件設定 土質資料整理解	18 11 2 48 4 40		
	土質資料整理解析	土質:	粘性土地盤	式	1	1地点当り	析	11 727 1130 .	1	V
	機能保全の検討			式	1	1業務当り	機能保全の検討			V :
	基礎部の計算			式	1	1検討断面当り	基礎部の計算	基礎検討:	円形すべり計算	V :
	地盤改良工法の検討			式	1	1検討断面当り	地盤改良工法 の検討	地盤改良工法	床掘置換工法	V
	設計計算			式	1	1検討断面当り	設計計算(防波堤)	構造形式:	ケーソン式	V
	基本断面算定			式	1	1検討断面当り	基本断面算定	施設名: 基本断面数:	施防波堤 2断面	V 2
	図面作成	図面:	平面図	式	1	1枚当り	図面作成			V 2
	報告書作成			式	1	1業務当り	報告書作成			V :
	照査			式	1	1業務当り	照査			V :
護岸	^{羊基本設計}	1	T			ı	_	T	, · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	設計計画			式	1	1業務当り	設計計画			V
	機能保全方針の 設定資料			式	1	1業務当り	機能保全方針の設定資料			V
	利用・自然条件設定			式	1		利用・自然条件設定			V
	土質資料整理解析	土質:	粘性土地盤	式	1			ボーリング本数:	1	V
	機能保全の検討			式	1	1業務当り	機能保全の検討			V
	基礎部の計算	基礎検討:	円形すべり計算	式	1	1検討断面当り	基礎部の計算			V
	地盤改良工法の検討	地盤改良工 法:	床掘置換工法	式	1	1検討断面当り	地盤改良工法の検討			V
	設計計算 基本断面算定	構造形式	ケーソン式	式	1	1検討断面当り	設計計算(護岸)			V 2
	(全項目)			式	1	1検討断面当り	基本断面算定			V
	図面作成	図面:	平面図	式	1	1枚当り	図面作成			V
	報告書作成			式	1	1業務当り	報告書作成			V
	照査			式	1	1業務当り	照査			V
岸星	壁・物揚場基本設計 	1	1		1	1		I	1	
	設計計画			式	1	1業務当り	設計計画			V
	機能保全方針の 設定資料			式	1	1業務当り	機能保全方針の設定資料			V :
	利用・自然条件設定			式	1	1地点当り	利用・自然条件設定			V
	土質資料整理解析	土質:	粘性土地盤	式	1	1地点当り	土質資料整理解析	ボーリング本数:	1	V
	機能保全の検討			式	1	1業務当り	機能保全の検討			V
	基礎部の計算	基礎検討:	円形すべり計算	式	1	1検討断面当り	基礎部の計算			V
	地盤改良工法の検討	地盤改良工 法:	床掘置換工法	式	1	1検討断面当り	地盤改良工法の検討			V
	設計計算	構造形式	ケーソン式	式	1	1検討断面当り	設計計算(護岸)			V
	基本断面算定 [全項目]			式	1	1検討断面当り	基本断面算定			V
	図面作成	図面:	平面図	式	1	1枚当り	図面作成			V
	報告書作成			式	1	1業務当り	報告書作成			V
	照査			式	1	1業務当り	照査			V
打台	숙 	1	T			T	T	T	T	
	設計協議			式	1	1式当り	設計協議	中間打合せ:	1 🛽	V
直接	妾経費 	1			1 -	I -		1	 	
	(事務用品費)			(式)	_	1式当り	事務用品費			V
	(旅費交通費)			(式)	1	1式当り	旅費交通費			V
	成果			式	1	1式当り	業務成果品費	電子納品: 印刷製本部数:	正副 2 部 3 部	V

レベル0

レベル	1, 2, 3, 4	V	ベル5	単	数	積算用単位	レベル6	明示すべき積算	明示すべき積算条件	積算
目、	工種、種別、細別	規格	[記載例]	位	位	X9F713 L	積算要素	条件	(記載例)	条
細音	『設計									
	設計計画			式	1	1業務当り	設計計画(ケー ソン式、桟橋 式、矢板式、L 型・セルラーブ ロック式)	構造形式:	矢板式	V 3
	配筋計算			式	1	1タイプ当り	配筋計算(ケー	版数:	2	V 3
						1タイプ当り	配筋計算(1)(桟 橋式(床版)、矢 板式(矢板上部 工))	構造形式:	矢板式	V 3
						1タイプ当り	配筋計算(2)(桟 橋式(梁)、矢板 式(控頭部工))	構造形式:	矢板式	V 3
						1タイプ当り	不等沈下計算(ケーソン式)			V 3
	数量計算			式	1	1タイプ当り	数量計算(桟橋 式、矢板式、L 型・セルラーブ ロック式)			V 3
						1タイプ当り	数量計算(1) (ケーソン式)	一般ケーソンタイプ数:	1	V 3
						1タイプ当り	粉畳計質(2)	スリットケーソンタイプ数:	1	V 3
				式	1	1タイプ当り	付帯施設計算			V 3
	付帯施設					1タイプ当り	付帯施設図面作成			V 3
	図面作成			式	1	1タイプ当り	図面作成(ケー ソン式、桟橋 式、矢板式、L 型・セルラーブ ロック式)	版数:	2	V 3
	報告書作成			式	1	1タイプ当り	報告書作成 (ケーソン式、 様様式 矢板	ケーソンタイプ数:	1	V 3
	協議・報告			式	1	1回当り	協議・報告			V 3
	照査			式	1	1タイプ当り	照査(ケーソン 式、桟橋式、矢 板式、L型・セ ルラーブロック 式)			V 3
打台)t	<u> </u>		<u> </u>			1: -2/		1	
	設計協議			式	1	1 式当り	設計協議	中間打合せ:	1 🛽	V 3
直接	接経費	•	•	•			•			
	(事務用品費)			(式)	1	1 式当り	事務用品費		_	V 3
	(旅費交通費)			(式)	1	1 式当り	旅費交通費			V 3
	成果			式	1	1 式当り	業務成果品費	電子納品: 印刷製本部数:	正副2部3部	V 3

レベル0

レベノ	11, 2, 3, 4	L L	ノベル 5	単	数	積算用単位	レベル6	明示すべき積算	明示すべき積算条件	積算月
項目、	工種、種別、細別	規格	[記載例]	位	位	以开加十四	積算要素	条件	(記載例)	条件
実施設										
防:	波堤実施設計		1	1		I	<u> </u>		<u> </u>	
	設計計画	構造形式	傾斜提(芯無)	式	1	1業務当り	防波堤実施設計			V 4
	図面作成	構造形式	傾斜提(芯無)	式	1	1施設当り	防波堤実施設計	施設区分: タイプ区分:	外郭施設 混成堤	V 4
	数量計算	構造形式	傾斜提(芯無)	式	1	1施設当り	防波堤実施設計	施設区分: タイプ区分:	外郭施設 混成堤	V 4
	概算工事費算出	構造形式	傾斜提(芯無)	式	1	1業務当り	防波堤実施設計			V 4
	協議・報告	構造形式	傾斜提(芯無)	式	1	1業務当り	防波堤実施設計			V 4
	照査	構造形式	傾斜提(芯無)	式	1	1業務当り	防波堤実施設計			V 4
護	岸実施設計	l	_ I	1		I.	l	l	1	
	設計計画	構造形式	直立提 (消波工無)	式	1	1業務当り	護岸実施設計			V 4
	図面作成	構造形式	直立提(消波工無)	式	1	1施設当り	護岸実施設計	施設区分: タイプ区分:	外郭施設 護岸	V 4
	数量計算	構造形式	直立提(消波工無)	式	1	1施設当り	護岸実施設計	施設区分: タイプ区分:	外郭施設 護岸	V 4
	概算工事費算出	構造形式	直立提(消波工無)	式	1	1業務当り	護岸実施設計			V 4
	協議・報告	構造形式	直立提 (消波工無)	式	1	1業務当り	護岸実施設計			V 4
	照査	構造形式	直立提 (消波工無)	式	1	1業務当り	護岸実施設計			V 4
岸	壁・物揚場実施設計			1		1	Turne at the second			
	設計計画	構造形式	直立提	式	1	1業務当り	岸壁・物揚場 実施設計			V 4
	図面作成	構造形式	直立提	式	1	1施設当り	岸壁・物揚場 実施設計	施設区分: タイプ区分:	係留施設 重力式係船岸	V 4
	数量計算	構造形式	直立提	式	1	1施設当り	岸壁・物揚場 実施設計	施設区分: タイプ区分:	係留施設 重力式係船岸	V 4
	概算工事費算出	構造形式	直立提	式	1	1業務当り	岸壁・物揚場 実施設計			V 4
	協議・報告	構造形式	直立提	式	1	1業務当り	岸壁・物揚場 実施設計			V 4
	照査	構造形式	直立提	式	1	1業務当り	岸壁・物揚場 実施設計			V 4

レベル0

レベル1、	2, 3, 4	L	ベル5	単	数	積算用単位	レベル6	明示すべき積算	明示すべき積算条件	積算
目、工種、	、種別、細別	規格	[記載例]	位	位	DC317.5 1 1=	積算要素	条件	(記載例)	条
船揚場実	ミ施設計									
設計	計画	構造形式	捲上げ施設を考 慮しないもの	式	1	1業務当り	船揚場実施設計			V
図面	 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	構造形式	捲上げ施設を考 慮しないもの	式	1	1施設当り	船揚場実施設計	施設区分: タイプ区分:	係留施設 重力式係船岸	V 4
数量	計算	構造形式	捲上げ施設を考 慮しないもの	式	1	1施設当り	船揚場実施設計	施設区分: タイプ区分:	係留施設 重力式係船岸	V 4
概算	算工事費算出	構造形式	捲上げ施設を考 慮しないもの	式	1	1業務当り	船揚場実施設計			V 4
協議	養・報告	構造形式	捲上げ施設を考 慮しないもの	式	1	1業務当り	船揚場実施設計			V
照查		構造形式	捲上げ施設を考 慮しないもの	式	1	1業務当り	船揚場実施設計			V
航路・泊	白地実施設計	•	•				•	-	<u> </u>	
設計	計画			式	1	1業務当り	航路・泊地 実施設計			V
図面	面作成			式	1	1施設当り	航路・泊地 実施設計	施設区分: タイプ区分:	水域施設 浚渫	V 4
数量	計算			式	1	1施設当り	航路・泊地 実施設計	施設区分: タイプ区分:	水域施設 浚渫	V
概第	了工事費算出			式	1	1業務当り	航路・泊地 実施設計			V 4
協議	養・報告			式	1	1業務当り	航路・泊地 実施設計			V
照查	Ĭ.			式	1	1業務当り	航路・泊地 実施設計			V
用地実施	 包設計					•				
設計	計画			式	1	1業務当り	用地実施設計			V 4
設計	十 図作成			式	1	1施設当り	用地実施設計	対象面積の補正: 起伏による補正:	5,000m2まで 75%以上	V
数量	計算			式	1	1施設当り	用地実施設計	対象面積の補正: 起伏による補正:	5,000m2まで 75%以上	V 4
概算	草工事費算出			式	1		用地実施設計			V 4
報告	書作成			式	1	1業務当り	用地実施設計			V
照查	§ .			式	1	1業務当り	用地実施設計			V
設計	+協議			式	1	1 式当り	用地実施設計	中間打合せ:	1 🛽	V۷
直接経費	E .									
(事:	務用品費)			(式)	1	1 式当り	事務用品費			V
(旅	費交通費)			(式)	1	1 式当り	旅費交通費			V
成果				式	1	1 式当り	業務成果品費	電子納品: 印刷製本部数:	正副2部 3部	V 4

レベル0

レベル	ν1、2、3、4	L	ベル5	単	数	積算用単位	レベル6	明示すべき積算	明示すべき積算条件	積算
頁目、	工種、種別、細別	規格	[記載例]	位	位	使异用 半世	積算要素	条件	(記載例)	条(
岸保全	全施設設計									
海岸	岸護岸基本設計									
	設計計画			式	1	1断面当り	海岸護岸基本設計	構造形式: 補正率:	重力式 1.7	V 5
	設計計算			式	1	1断面当り	海岸護岸基本設計	構造形式: 補正率:	重力式 1.7	V 5
	設計図作成			式	1	1断面当り	海岸護岸基本設計	構造形式: 補正率:	重力式 1.7	V 5
	概算工費算定			式	1	1断面当り	海岸護岸基本設計	構造形式: 補正率:	重力式 1.7	V 5
	報告書作成			式	1	1断面当り	海岸護岸基本設計	構造形式: 補正率:	重力式 1.7	V :
	照査			式	1	1断面当り	海岸護岸基本設計	構造形式: 補正率:	重力式 1.7	V :
海岸	岸離岸堤等基本設計									
	設計計画			式	1	1断面当り	海岸離岸提等設計	施設名称: 補正率:	離岸堤 1.0	V :
	設計計算			式	1	1断面当り	海岸離岸提等設計	施設名称: 補正率:	離岸堤 1.0	V :
	設計図作成			式	1	1断面当り	海岸離岸提等設計	施設名称: 補正率:	離岸堤 1.0	V :
	概算工費算定			式	1	1断面当り	海岸離岸提等設計	施設名称: 補正率:	離岸堤 1.0	V
	報告書作成			式	1	1断面当り	海岸離岸提等設計	施設名称: 補正率:	離岸堤 1.0	V !
	照査			式	1	1断面当り	海岸離岸提等設計	施設名称: 補正率:	離岸堤 1.0	V !
打台	숙せ									
	設計協議			式	1	1 式当り	設計協議	中間打合せ:	1 🛽	V !
直接	妾 <u>経費</u>									
	(事務用品費)			(式)	1	1 式当り	事務用品費			V :
	(旅費交通費)			(式)	1	1式当り	旅費交通費			V :
	成果			式	1	1 式当り	業務成果品費	電子納品: 印刷製本部数:	正副 2 部 3 部	V !
岸保全	全施設実施設計									
海岸	^皇 保全施設実施設計									
	設計計画	構造形式:	離岸提・消波堤 (捨石マウンド無)	式	1	1業務当り	海岸施設実施設計			V (
	設計図作成	構造形式:	離岸提・消波堤 (捨石マウンド無)	式	1	1施設当り	海岸施設実施設計	類似断面延長: 起伏による補正: 軟弱地盤補正: 複雑箇所補正:	30mまで 75%以上 置換工法 60mまで 混成堤に類するもの 1 箇所	V
	数量計算	構造形式:	離岸提・消波堤 (捨石マウンド無)	式	1	1施設当り	海岸施設実施設計	類似断面延長: 起伏による補正: 軟弱地盤補正: 複雑箇所補正:	30mまで 75%以上 置換工法 60mまで 混成堤に類するもの1箇所	V 6
	報告書作成	構造形式:	離岸提・消波堤 (捨石マウンド無)	式	1	1業務当り	海岸施設実施設計			V 6
	照査	構造形式:	離岸提・消波堤 (捨石マウンド無)	式	1	1業務当り	海岸施設実施設計			V
打台		· 1	<u>.</u>	·			=======================================			
	設計協議			式	1	1式当り	設計協議	中間打合せ:	1 🛽	V 6
直拍	妾経費 ▽	1	1	1, .				T	 	
	(事務用品費)			(式)	1	1式当り	事務用品費			V 6
	(旅費交通費)		1	(式)	1	1式当り	旅費交通費			V 6
1	成果	İ		式	1	1式当り	業務成果品費	電子納品: 印刷製本部数:	正副2部3部	VE

レベル0 設計業務

レ	ベル1、2、3、4	L	ベル5	単	数	積算用単位	レベル6	明示すべき積算	明示すべき積算条件	積算用
項目	1、工種、種別、細別	規格	[記載例]	位	位	· 放开/11 — [二	積算要素	条件	(記載例)	条件
灯台	設計									
9	灯台移設実施設計						1	T		
	現況調査			基	1	1基当り	灯台移設実施設計			V 7
	設計計画			基	1	1基当り	灯台移設実施設計			V 7
	数量・工費算定			基	1	1基当り	灯台移設実施設計			V 7
	設計図作成			基	1	1基当り	灯台移設実施設計			V 7
	報告書作成			基	1	1基当り	灯台移設実施設計			V 7
	照査			基	1	1基当り	灯台移設実施設計			V 7
1	打合せ						1	T		
	設計協議			式	1	1式当り	設計協議	中間打合せ:	1 🛽	V 7
ī	直接経費			,	,					
	(事務用品費)			(式)	1	1 式当り	事務用品費			V 7
	(旅費交通費)			(式)	1	1式当り	旅費交通費			V 7
	成果			式	1	1 式当り	業務成果品費	電子納品: 印刷製本部数:	正副 2 部	V 7
e de ≑≢ 6	 図書作成				<u> </u>			印刷表本印数:	3部	
	△音1F成 水面埋立申請図書作成									
		 								
	公有水面埋立申請図書作用	<u>x</u>	1	-	1	4 \$0.1/ []	=1 == # /#	EA	T .	V 1
	計画準備			式	1	1部当り	計画準備	区分:	I	X 1
	願書作成			式	1	1部当り	願書作成	区分:	I	X 1
	埋立申請理由書			式	1	1部当り	埋立申請理由書		I	X 1
	設計概要説明書			式	1	1部当り	埋立地の地盤の高さ 護岸、堤防、岸	区分:	I	X 1
						1 部当り	度件、堤間、片壁その他これらに類する工作物の種類及び構造			X 1
						1 部当り	埋立に関する 工事の施工方法	区分:	I	X 1
	環境保全に関し 講じる措置を			式	1	1部当り	対象事業の 目的及び内容 対象事業の実施	区分:	I	X 1
	記載した図書					1 部当り	対象事業の実施 が環境に及ぼす 影響の予測結果	建設作業騒音: 道路交通騒音:		X 1
	埋立区域及び埋立に 関する工事の施工区 域を表示した図面	作成図面:	一般平面図 海図 実測平面図 各求積平面図	式	1	1 部当り	埋立区域及び埋立に関する工事 の施工区域を表示した図面	区分:	I	X 1
	埋立地縦横断面図	作成図面:	埋立地縦断面図 埋立地横断面図	式	1	1 部当り	埋立地縱横断面図	区分:	I	X 1
	工作物構造図			式	1		工作物構造図作成			X 1
	現況写真		1	式	1	1部当り	現況写真			X 1
	埋立に用いる土砂等 の採取場所及び採取 量を記載した図書			式	1	1 部当り	埋立に用いる土 砂等の採取場所 及び採取量を記 載した図書	区分:	I	X 1
	漁港施設用地 利用計画平面図			式	1	1 部当り	漁港施設用地 利用計画平面図			X 1
	照査			式	1	1 式当り	照査	区分:	I	X 1
	製本・取りまとめ			式	1	1式当り	製本・取りまとめ			X 1
1	打合せ									
	設計協議			式	1	1式当り	設計協議	中間打合せ:	1 🛽	X 1
Ī	—		1			•	1	ı	<u>l</u>	
	報告書作成費			式	1	1 式当り	報告書作成費	必要部数:	4部	電子納は別に
	(旅費交通費)			(式)	1	1式当り	旅費交通費			X 1

レベル0

D/	ル1、2、3、4	ν·	ベル5	単	数	積算用単位	レベル6	明示すべき積算	明示すべき積算条件	積算月
項目、	工種、種別、細別	規格	[記載例]	位	位	设并加十四	積算要素	条件	(記載例)	条(
・漁港	海岸電子台帳整備・更新	f								
漁港・	漁港海岸電子台帳整備・	更新								
漁	港・漁港海岸電子台帳割	を備								
	計画準備			式	1	1 式当り	計画準備			X 2
	資料収集整理			式	1	1港当り	資料収集整理			X 2
	現況確認			式	1	1 k m 当り	現況確認			X 2
	オルソ画像作成			式	1	1港当り	オルソ画像作成			X 2
	温港・温港海岸 台帳データベース作			式	1	1港当り	漁港・漁港海岸台 帳 データベース作成			X 2
	漁港・漁港海岸 カルテ作成			式	1	1 港当り	漁港・漁港海岸 カルテ作成			X 2
	施設カルテ作成			式	1	1港当り	施設カルテ作成			X 2
	漁港・漁港海岸 平面図(GIS)作成			式	1	1港当り	漁港・漁港海岸 平面図(GIS)作成			X 2
	漁港・漁港海岸 平面図(GIS)作成 (RTK-GPS計測のみ による場合)			式	1	1 港当り	漁港・漁港海岸 平面図(GIS)作成 (RTK-GPS計測 のみによる場合)			X 2
		水域管理データ		式	1	1港当り	関連データ作成			X 2
		深浅測量データ (砂浜域)		式	1	1回当り	関連データ作成			X 2
		深浅測量データ (岩礁域)		式	1	1回当り	関連データ作成			X 2
	関連データ作成	地質調査データ		式	1	1 孔当り	関連データ作成			X 2
		底質調査データ		式	1	1回当り	関連データ作成			X 2
		その他調査データ		式	1	1回当り	関連データ作成			X 2
		委託報告書		式	1	1冊当り	関連データ作成			X 2
		老朽化調査デー タ		式	1	1回当り	関連データ作成			X 2
	システム登録・調整	ĺ		式	1	1港当り	システム登録・調整			X 2
	成果取りまとめ			式	1	1式当り	成果取りまとめ			X 2
	照査			式	1	1式当り	照査			X 2
漁	港・漁港海岸電子台帳頭	 更新								
	計画準備			式	1	1 式当り	計画準備			X 2
	資料収集整理			式	1	1港当り	資料収集整理			X 2
	現況確認			式	1	1港当り	現況確認			X 2
	修正オルソ画像作成			ጟ	1	1港当り	修正オルソ画像作成			X 2
	温港・温港海岸 台帳データベース作 成			式	1	1港当り	漁港・漁港海岸台帳 データベース作成			X 2
	漁港・漁港海岸 カルテ作成			式	1	1港当り	漁港・漁港海岸カルテ作成			X 2
	施設カルテ作成			式	1	1工事当り	施設カルテ作成	_		X 2
	漁港・漁港海岸 平面図(GIS)作成			式	1	1 港当り	漁港・漁港海岸 平面図(GIS)作成			X 2
	下脚四 (UIO) TFIX	水域管理データ		式	1	1回当り	関連データ作成			X 2
		深浅測量データ(砂浜域)		式	1		関連データ作成			X 2
		深浅測量データ(岩礁域)		式	1	1回当り	関連データ作成			X 2
	関連データ作成	地質調査データ		式	1	1 孔当り	関連データ作成			X 2
	関連データ作成	底質調査データ		式	1		関連データ作成			X 2
		その他調査データ		式	1	1回当り	関連データ作成			X 2
		委託報告書		式	1	1冊当り	関連データ作成			X 2
		老朽化調査デー		式	1	1回当り	関連データ作成			X 2
	システム登録・調整	 		式	1	1港当り	システム登録・調整			X 2
		+		-	_		成果取りまとめ			X 2
	成果取りまとめ			式	1	1 式当り	水木払うよこの			^ _
	成果取りまとめ			式	1	1式当り	照査			X 2

レベル0 設計業務

	1, 2, 3, 4		ベル5	_ 単 位	数位	積算用単位	レベル6	明示すべき積算条件	明示すべき積算条件(記載例)	積
	L種、種別、細別	規格	[記載例]	12	,		積算要素	VINTI	(HO-WI/7)	_
直接	経費			1					T	
	(事務用品費)			(式)	1	1式当り	事務用品費			
	(旅費交通費)			(式)	1	1式当り	旅費交通費			
	成果			式	1	1式当り	業務成果品費	電子納品: 印刷製本部数:	正副 2 部 3 部	
機能	保全計画書作成(新規策	定)(既存計画	画更新)							
施設	機能保全計画書作成(新	規策定)(既存	字計画更新)							
漁港	施設機能保全計画書作品	成(新規策定)								
	計画準備			式	1	1式当り	計画準備			
	構造物履歴調査			式	1	1港当り	構造物履歴調査			
	図面作成			式	1	1枚当り	図面作成			
	現地調査結果整理			式	1	1港当り	現地調査結果整理			
	施設機能診断			式	1	1港当り	施設機能診断			
	機能保全対策工法 (シナリオ)の作成			式	1	1港当り	機能保全対策工法(シナリオ)の作成			
	対策工法の検討			式	1	1港当り	対策工法の検討			
	老朽化進行予測の検討			式	1	1施設当り	老朽化進行予測の検討			
	コスト縮減効果 (LCC比較)			式	1	1施設当り	コスト縮減効果 (LCC比較)			
	機能保全計画の作成			式	1	1 港当り	機能保全計画 の作成			
	報告書作成			式	1	1 式当り	報告書作成			
	照査			式	1	1 式当り	照査			
打合				1-4		. 242 /	<u>.</u>			
	設計協議			式	1	1 式当り	設計協議	中間打合せ:	1 🛽	
	経費		I.	1	-	1111	DOT INVEN	11837 0	<u> </u>	
	(事務用品費)			(式)	1	1式当り	事務用品費			
	(旅費交通費)			(式)	1	1 式当り	旅費交通費			
	成果			式	1	1式当り	業務成果品費	電子納品:	正副 2 部	
	(漁港施設機能保全計画	きょう						印刷製本部数:	3 部	
海洪	施設機能保全計画書作			19里禾作	б] I.	- より別述計	エをロフ。)			
漁	計画準備	以(既任計画5	と <i>析)</i> 	式	1	1式当り	計画準備		1	
				-	1		構造物履歴調査			
	構造物履歴調査			式式		1港当り				
	図面作成 現地調査結果整理			式	1		図面作成 現地調査結果整理			
	施設機能診断 機能保全対策工法			式	1	1港当り	施設機能診断 機能保全対策工法			
	(シナリオ)の作成			式	1	1港当り	(シナリオ)の作成			
	対策工法の検討			式	1	1港当り	対策工法の検討			
	老朽化進行予測 の検討	_		式	1	1施設当り	老朽化進行予測 の検討			
	コスト縮減効果 (LCC比較)			式	1	1施設当り	コスト縮減効果 (LCC比較)			
	機能保全計画の作成			式	1	1 港当り	機能保全計画 の作成			
	報告書作成			式	1	1式当り	報告書作成			
	照査			式	1	1式当り	照査			
打合	·世				·					
	設計協議			式	1	1 式当り	設計協議	中間打合せ:	1 回	
直接	 :経費		1	-1			1		1	
	(事務用品費)			(式)	1	1式当り	事務用品費			
	(旅費交通費)			(式)	1	1式当り	旅費交通費			
	成果			式	1	1 式当り	業務成果品費	電子納品: 印刷製本部数:	正副2部3部	
			1	1	1	1	Ī	HI	OED	

レベル0 設計業務

レベル	1, 2, 3, 4	V	ベル5	単位	数	積算用単位	レベル6	明示すべき積算	明示すべき積算条件	積算月
項目、	工種、種別、細別	規格	[記載例]	垣	位		積算要素	条件	(記載例)	条件
施設機能	能診断(地震・津波対策)									
漁港施設	投機能診断(地震・津波対	対策)								
地震	夏動の算定								<u> </u>	
	設計計画			式	1	1業務当り	設計計画			X 4
	資料収集整理			式	1	1項目当り	資料収集整理			X 4
	サイト特性の設定			式	1	1地点当り	サイト特性の設定			X 4
	レベル1地震動の算定			式	1	1地震当り	レベル1地震動の算定			X 4
	レベル1津波地震動 の算定			式	1	1地震当り	レベル1津波地震動の算定			X 4
	レベル2地震動の算定			式	1	1 式当り	レベル2地震動の算定			X 4
耐急	慶・耐津波照査(外郭施設	붗)								
	利用・自然条件設定			式	1	1地点当り	利用・自然条件設定			X 4
	土質資料整理分析			式	1	1地点当り	土質資料整理分析	ボーリング本数: 土質種類:	1本 砂質土地盤	X 4
	偏心傾斜荷重 に対する支持力			式	1	1断面当り	偏心傾斜荷重に 対する支持力			X 4
	設計計算			式	1	1断面当り	設計計算	構造形式:	コンクリート単塊式	X 4
耐震	慶・耐津波照査(係留施設	붗)						•	·	
	利用・自然条件設定			式	1	1地点当り	利用・自然条件設定			X 4
	土質資料整理分析			式	1	1地点当り	土質資料整理分析			X 4
	偏心傾斜荷重 に対する支持力			式	1	1断面当り	偏心傾斜荷重に 対する支持力			X 4
	設計計算			式	1	1断面当り	設計計算	構造形式:	コンクリート単塊式	X 4
	地盤応答・液状化 の判定			式	1	1断面当り	地盤応答・液状 化の判定			X 4
	動的変形解析 (レベル2地震動)			式	1	1断面当り	動的変形解析 (レベル2地震 動)			X 4
津汲	対の 要外力算定(津波シミュ	レーション)				I.	1		<u> </u>	
	資料収集整理			式	1	1項目当り	資料収集整理			X 4
	条件の設定			式	1	1項目当り	条件の設定			X 4
	データ作成			式	1	1 港当り	データ作成			X 4
	テストラン			式	1	1 港当り	テストラン			X 4
	演算			式	1	1ケース当り	演算			X 4
	計算結果の整理			式	1	1ケース当り	計算結果の整理			X 4
	結果の検討			式	1		結果の検討			X 4
報告	告書作成		1	<u> </u>				<u> </u>		
	報告書作成			式	1	1業務当り	報告書作成			X 4
照達	l .		<u>l</u>	<u> </u>				I	1	
	照査			式	1	1業務当り	照査			X 4
打台			<u>l</u>	<u> </u>			<u> </u>	I	1	
	設計協議			式	1	1 式当り	設計協議	中間打合せ:	1 🛽	X 4
直接	安経費		l						1 -	
-"	(事務用品費)			(式)	1	1 式当り	事務用品費			X 4
	(旅費交通費)			(式)	1	1 式当り	旅費交通費			X 4
	成果			式	1	1 式当り	業務成果品費	電子納品: 印刷製本部数:	正副 2 部 3 部	X 4
≝業務費	1		<u> </u>	1				时柳衣个即数:	О ЦР	
業務費										
諸経費										
価格										

レベル	1, 2, 3, 4	V	ベル5	単位	数	積算用単位 【計上数	レベル6	明示すべき積算条件	明示すべき積算条件	積算
目、二	工種、種別、細別	規格	[記載例]	位	位	位】	積算要素	STATE C DESPONIT	(記載例)	条
美務										
R浅 測量	里									
深流	浅測量					,	1	T		
	測量準備			式	1	1式当り	測量準備費			B1
						1回当り	機材運搬費	往復平均距離区分:	25km未満	B1
	基準点測量			式	1	1km当り 【0.1】	踏査(陸上)費			В1
						1km当り 【0.1】	踏査(海上)費	T 16 16 51 05 54 57 1)	/+ IF and -+ 'H'	В1
						1地点当り	設標(陸上)費	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	徒歩200m未満 影響なし 影響なし	В1
						1地点当り	設標(海上)費	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	1.0km未満 影響なし 5km未満	В1
						1地点当り	測角·測距費	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	50m未満 影響なし 影響なし	В1
						30地点当り	整理計算費			B1
						1地点当り	主要基準点設置費(コンクリート杭)	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	徒歩100m未満 影響なし 影響なし	В1
						1地点当り	主要基準点設置費(金属製測点鋲)			B1
						1地点当り	補助基準点設置費	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	50m未満 影響なし 影響なし	В1
	水深測量			式	1	1業務当り	検潮基準測定費	下来引用巨力:	NO E 100	B1
						1日当り	検潮費			B1
						10日当り	検潮資料整理費			B1
						1箇所当り	簡易検潮器 設置・撤去費			В1
						1日当り	検潮、観測機器 損料費			В1
						1日当り	資料整理費			B1
						1箇所当り	量水標設置·撤去 費			B1
						1日当り	検潮費			B1
						10日当り	資料整理費			B1
						1業務当り 1km当り 【0.1】	議装テスト 音響測深	供用係数: 海域区分: 平均測深長: 平均測深間隔: その他現場: その他現向: 作業時間区分: 供用係数:	α = 1.65(標準) 港内水域 500m未満 100m未満 影響なし 両方向 5km未満 α = 1.65(標準)	B1
						1km当り 【0.1】	レッド測深			В1
						1km当り 【0.1】 1km当り	成果報告			В1
		1				1km当り 【0.1】	成果報告			B1
	成果			式	1		報告書作成費			В1
	協議・報告			式	1		打合せ協議	中間打合せ回数:	10	В1
直拍	接経費	_				,	1			
	(旅費交通費)			(式)	1		乗込・引上旅費 打合せ旅費	移動距離:	25km	В1
	(基地関係費)			(式)	1		測量基地設置 測量基地使用費用			B1
	(安全費)	1	CD 0141 + 047	(式)	1		安全対策費			B1
	成果	成果品部数	印刷製本:3部 電子納品:正副2枚	式	1		業務成果品費機材運搬			B1
	(その他)			(式)	1		(依何)建版 (伐木補償等 必要経費			В1

レベ	ル1、2、3、4	V	ベル5	単位	数	積算用単位 【計上数	レベル6	明示すべき積算条件	明示すべき積算条件	積算用
頁目、	工種、種別、細別	規格	[記載例]	位	位	位】	積算要素	ラボダ で (日本木)	(記載例)	条件
ŧ.	支術管理費									
	精度管理費			式	1		検測 精度管理表作成 機械器具検定費			В1
	成果検定費			式	1		成果検定費			B1 (諸経費対象
水路源	 則量	I		-	·	1				
7	水路測量									
	測量準備			式	1		(深浅測量 測量 準備を適用する)			
	基準点測量			式	1		(深浅測量 基準 点測量を適用す る)			
	水深測量			式	1		(深浅測量 水深 測量を適用する)			
	関連調査			式	1	1地点当り	底質判別費	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	1.0km未満 影響なし 5km未満	B2
						1地点当り	浮泥層調査費	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	1.0km未満 影響なし 5km未満	В2
						1km当り 【0.1】	岸線測量費	現場条件区分: 作業時間区分:	影響なし 影響なし	B2
						海岸線長 図上10cm 当り	資料整理費			B2
	成果			式	1		報告書作成費			B2
L	協議・報告			式	1		打合せ協議	中間打合せ回数:	1回	B2
Ī	直接経費	(深浅測量 直	[接経費を適用する	5)						В2
ŧ.	支術管理費	(深浅測量 技	術管理費を適用す	する)						В2
丁線源	前量									
_										
	測量準備			式	1		(深浅測量 測量 準備を適用する)			В3
	基準点測量			式	1		(深浅測量 基準 点測量を適用す る)			В3
	水準測量			式	1	1km当り 【0.1】	水準測量費			В3
						1km当り 【0.1】	縦断測量費	現場条件区分:	影響なし	В3
						1km当り 【0.1】	横断測量(通常)費	作業時間区分:	影響なし	В3
	. –					1km当り 【0.1】 100断面当	横断測量(砕波帯)費			В3
	成果			式	1	り	報告書作成費	平均測線長区分:	100m未満	В3
	協議·報告			式	1		打合せ協議	中間打合せ回数:	10	В3
	直接経費	(深浅測量 直	[接経費を適用する	5)						В3
Ī	旦 汝 柱 貝	いかえが玉 旧	は一段と短がり	-						

レベル1	. 2, 3, 4	ν·	ベル 5	単位	数	積算用単位 【計上数	レベル6	明示すべき積算条件	明示すべき積算条件	積算
項目、工程	種、種別、細別	規格	[記載例]	位	位	位】	積算要素		(記載例)	条
漁港施設村	幾能保全計画書作成	;								
現地記	調査									
Ī	計画準備			式	1	1業務当り	計画準備費			В8
						1回当り	機材運搬費	往復平均距離区分:	25km未満	В8
1	重点項目			式	1	1m2当り	陸上踏査	海域区分: 老朽度区分: 陸上現場条件区分:	港内水域 -0.2 影響なし	В8
						1m2当り	海上踏査	海域区分: 老朽度区分: 陸上現場条件区分:	港内水域 -0.2 影響なし	В8
						1m2当り	水中目視調査	海域区分: 透明度区分: 付着物区分: 水中現場条件区分: 水深区分:	港内水域 普通 被度30%以下 影響無し 3~5m	В8
100	詳細調査			式	1	1箇所当り	コンクリートコア 採取・補修	海域区分: 老朽度区分: 陸上現場条件区分:	港内水域 -0.2 影響なし	В8
						1箇所当り	コンクリートコア 圧縮試験費			В8
						1箇所当り	鋼矢板、鋼材の 肉厚測定	海域区分: 透明度区分: 付着物区分: 水中現場条件区分: 水深区分:	港内水域 普通 被度30%以下 影響無し 3~5m	В8
	(漁港施設機能保全)	計画書作成は「 T	設計業務」により別	途計	上を行	行う。)				
打合	₽.	(深浅測量 打	合せを適用する)							В8
直接網	経費	(深浅測量 直	接経費を適用する	5)						В8
技術的		(深浅測量 技	術管理費を適用す	トる)						В8
UAV空撮 UAV3			T	T		I	L	T		
	作業準備			式	1	1施設当り	作業準備			В9
ā	基準点設置			式	1	1点当り	基準点設置			В9
3	現地撮影作業			式	1	1km当り	現地撮影作業			В9
	写真整理			式	1	1km当り	写真整理			B9
直接網	経費	(深浅測量 直	接経費を適用する	5)						В9
技術的	管理費	(深浅測量 技	術管理費を適用す	├る)						В9
画像解析										
画像角	解析									
	設計計画			式	1	1施設当り	設計計画			B9 (測量調
	画像解析			式	1	1km当り	画像解析			B9 (測量調
1 1 1				式	1	1km当り	図面作成			В9
	図面作成					1	i	I .	1	
[式	1	1施設当り	成果取りまとめ			В9
	成果取りまとめ									B9 (測量調 B9
<u>.</u>	成果取りまとめ			式式	1	1施設当り				B9 (測量調 B9 (測量調 B9
打合十	或果取りまとめ 照査 せ			式	1	1施設当り	照査			B9 (測量調 B9 (測量調 B9 (測量調
打合十	成果取りまとめ 照査 せ 設計協議							中間打合せ回数:	10	B9 (測量調 B9 (測量調 B9 (測量調
打合十	成果取りまとめ 照査 せ 設計協議			式	1	1施設当り	照査	中間打合せ回数:	10	B9 (測量調 B9 (測量調 B9 (測量調 B9 (測量調
打合	成果取りまとめ 照査 せ 設計協議			式	1	1施設当り	照査	中間打合せ回数:	10	(測量調 B9 (測量調 B9 (測量調 B9 (測量調 B9 (測量調 B9 (測量調
打合十直接	或果取りまとめ 照査 せ 設計協議 経費			式	1	1施設当り	照査設計協議	中間打合せ回数: 移動距離:	1 🗆 25km	89 (測量調 89 (測量調 89 (測量調 89 (測量調 89

ν·	ベル1、2、3、4	V	ベル5	単	数	積算用単位 【計上数	レベル6	明示すべき積算条件	明示すべき積算条件	積算
項目	、工種、種別、細別	規格	[記載例]	位	位	位】	積算要素	711.7 C X 97.7(1)	(記載例)	条(
水中	調査業務									
	水中調査業務									
	水中調査			式	1	1施設当り	作業準備			В9
	打合せ	(深浅測量 打	合せを適用する)							В9
	直接経費	(深浅測量 直	接経費を適用する	5)						В9
	技術管理費	(深浅測量 技	術管理費を適用す	「る)						В9
	調査業務									
流況	調査									
	流況調査		1	1		1	T	T	T	
	調査準備			式	1	1業務当り	計画準備費			B4
		王安基準点	王要基準点∶○			1回当り	機材運搬費	往復平均距離区分:	25km未満	B4
	位置測量	数補助其準占	点 補助其淮占·<	式	1	1km当り 【0.1】	踏査(陸上)費			В4
						1km当り 【0.1】	踏査(海上)費			В4
						1地点当り	陸上設標費	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	徒歩200m未満 影響なし 影響なし	В4
						1地点当り	海上設標費	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	1.0km未満 影響なし 5km未満	В4
						1km当り 【0.1】	陸上測量費	現場条件区分: 作業時間区分:	影響なし 影響なし	В4
						1地点当り	海上測量費	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分: 供用係数:	1.0km未満 影響なし 5km未満 α=1.65(標準)	В4
						1地点当り	主要基準点設置 費 (コンクリート杭)	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	徒歩100m未満 影響なし 影響なし	В4
						1地点当り	主要基準点設置 費 (金属製測点鋲)			В4
						1地点当り	補助基準点設置 費	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	50m未満 影響なし 影響なし	В4
	流況観測			式	1	1業務当り	流速計作動点検費			В4
						1地点当り	流速計設置費	設置方式区分 平均移動距離区分 現場条件区分 水深区所 作業時間区分 流速計台数	浮吊方式 1.0km未満 影響なし 浮吊方式 5km未満 3台	В4
						1地点当り	流速計点検費	設置方式区分: 平均移動距離区分: 現場条件区分: 水深区分: 作業時間区分: 1地点当りの設置台数区分:	浮吊方式 1.0km未満 影響なし 浮吊方式 5km未満 1台	В4
						1地点当り	流速計撤去費	設置方式区分: 平均移動距離区分: 現場条件区分: 水深区分: 水深区分: 信観測器: 信息 流速計台数:	浮吊方式 1.0km未満 影響なし 浮吊方式 5km未満 30日 3台	В4
						1式当り	観測器具損料費	観測器具供用日数:	35日	В4
	解析			式	1		記録解析費	昼夜区分: 層数:	1昼夜 3層	B4 (測量調
	成果			式	1		報告書作成費	昼夜区分: 観測総台数:	1昼夜 6台	B4 (測量調
	打合 <u>せ</u>									
	打合せ			式	1		打合せ協議費	中間打合せ回数:	20	B4 测量調

	い1、2、3、4		ベル5	単位	数位	積算用単位 【計上数	- ,, -	明示すべき積算条件	明示すべき積算条 件	積算用 条 件
頁目、	、工種、種別、細別	規格	[記載例]	1111	177	位】	積算要素		(記載例)	采竹
Ī	直接経費	T	1			1	T	1	T	
	(旅費交通費)			(式)	1		乗込・引上旅費 打合せ旅費	移動距離:	25km	В4
	(基地関係費)			(式)	1		測量基地設置、 測量基地使用費用			B4
	(安全費)		Co Coldal Laste	(式)	1		安全対策費			B4
	成果	成果品部数	印刷製本:3部 電子納品:正副2枚	式	1		業務成果品費			B4
	(その他)			(式)	1		機材運搬、伐木 補償等必要経費			В4
ŧ	技術管理費	(深浅測量 技	術管理費を適用す	る)						В4
水質	調査									
7	水質調査									
	調査準備			式	1	1業務当り	計画準備費			B5
						1回当り	機材運搬費	往復平均距離区分:	25km未満	B5
	位置測量			式	1	1km当り 【0.1】	踏査(陸上)費			B5
						1km当り 【0.1】	踏査(海上)費			B5
						1地点当り	陸上設標費	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	徒歩200m未満 影響なし 影響なし	B5
						1地点当り	海上設標費	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	1.0km未満 影響なし 5km未満	B5
						1km当り 【0.1】	陸上測量費	現場条件区分: 作業時間区分:	影響なし 影響なし	B5
						1地点当り	海上測量費	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分: 供用係数:	1.0km未満 影響なし 5km未満 α=1.65(標準)	B5
						1地点当り	主要基準点設置費 (コンクリート杭)	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	徒歩100m未満 影響なし 影響なし	B5
						1地点当り	主要基準点設置費 (金属製測点鋲)			B5
						1地点当り	補助基準点設置 費	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	50m未満 影響なし 影響なし	B5
	水質調査			式	1	1地点当り	採水費	1地点当り採水層数区分: 採水水深区分: 平均移動距離区分: 採水回数区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	1層 10m未満 1.0km未満 1回 影響なし 5km未満	B5
						1回当り	試料運搬費	往復平均距離区分:	50km未満	B5
	分析	特記仕様書にて 明示		式	1		分析試験費			B5 (諸経費対象
	成果			式	1		報告書作成費	調査項目:	生活環境項目+その 他項目+健康項目等 +特殊項目、要監視 項目	B5 (測量調査
	協議•報告			式	1		打合せ協議	中間打合せ回数:	1回	B5
ī	直接経費									
	(旅費交通費)			(式)	1		乗込・引上旅費 打合せ旅費	移動距離:	25km	B5
	(基地関係費)			(式)	1		測量基地設置 測量基地使用費用			B5
	(安全費)			(式)	1		安全対策費			B5
	成果	成果品部数	印刷製本:3部 電子納品:正副2枚	式	1		業務成果品費			B5
	(その他)			(式)	1		機材運搬 伐木補償等必要経 費			B5
-	•		術管理費を適用す							

レベノ	ル1、2、3、4	<u></u> レ・	ベル5	単	数	積算用単位 【計 L 数	レベル 6	明テオズキ建管を出	明示すべき積算条	積算用
項目、	工種、種別、細別	規格	[記載例]	位	位	【計上数 位】	積算要素	- 明示すべき積算条件	(記載例)	条件
底質調]査							•	1	
底	質調査									
	調査準備			式	1		(水質調査を適用する)			В6
	位置測量			式	1		(水質調査を適用する)			В6
	底質調査			式	1	1地点当り	採泥費	採泥水深区分: 平均移動距離区分: 現場条件区分: 採泥回数区分: 作業時間区分:	10m未満 1.0km未満 影響なし 1回 5km未満	В6
						1回当り	試料運搬費	往復平均距離区分:	50km未満	В6
	分析	特記仕様書 にて明示		式	1		分析試験費			B6 (諸経費対
	成果			式	1		報告書作成費	調査項目:	生活環境項目+その 他項目+健康項目等 +特殊項目、要監視 項目	B6 (測量調査
	協議•報告			式	1		打合せ協議	中間打合せ回数:	1回	В6
直	接経費	(水質調査 直	接経費を適用する	3)						В6
技	術管理費	(深浅測量 技	術管理費を適用す	する)						В6
生物調	査業務									
環境生	物調査業務									
プ	プランクトン調査									
	調査準備			式	1	1業務当り	計画準備費			В7
						1回当り	機材運搬費	往復平均距離区分:	25km未満	В7
	位置測量			式	1	1km当り 【0.1】	踏査(陸上)費		-	В7
						1km当り 【0.1】	踏査(海上)費			В7
						1地点当り	陸上設標費	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	徒歩200m未満 影響なし 影響なし	В7
						1地点当り	海上設標費	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	1.0km未満 影響なし 5km未満	В7
						1km当り 【0.1】	陸上測量費	現場条件区分: 作業時間区分:	影響なし 影響なし	В7
						1地点当り	海上測量費	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分: 供用係数:	1.0km未満 影響なし 5km未満 α=1.65(標準)	В7
						1地点当り	主要基準点設置費 (コンクリート杭)	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	徒歩100m未満 影響なし 影響なし	В7
						1地点当り	主要基準点設置費(金属製測点鋲)			В7
						1地点当り	補助基準点設置費	作業時間区分:	50m未満 影響なし 影響なし	В7
	プランクトン調査			式	1	1日当り (〇地点)	プランクトン調査 試料採取費	採取水深区分: 平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	10m未満 1.0km未満 影響なし :5km未満	В7
	試料運搬			式	1	1式当り	試料運搬費	往復平均距離区分:	50km未満	В7
	分析試験			式	1	1式当り	分析試験費			B7 (諸経費対
	解析·考察			式	1	1式当り	種組成·優占種· 指標種等解析 費、生態特性、 海域特性考察費			B7 (測量調査
	協議・報告			式	1		打合せ協議	中間打合せ回数:	10	В7

レベル1	, 2, 3, 4	レ	ベル5	単	数	積算用単位	レベル 6	ロニナぐも建筑を出	明示すべき積算条	積算用
目、工種	重、種別、細別	規格	[記載例]	単 位	位	【計上数 位】	積算要素	明示すべき積算条件	件 (記載例)	条件
卵•稚									1	
ā	郡査準備			式	1		(プランクトン調 査 調査準備を 適用する)			В7
位	位置測量			式	1		(プランクトン調 査 調査準備を 適用する)			В7
	Ŋ•稚仔調査 忒料採取			式	1	1日当り (〇地点)	卵·稚仔調査試 料採取費	平均移動距離区分: 現場条件区分: 採取時間区分: 作業時間区分:	1.0km未満 影響なし 10分未満 5km未満	В7
部	式料運搬			式	1	1式当り	試料運搬費	往復平均距離区分:	50km未満	B7
5.	分析試験			式	1	1式当り	分析試験費			B7 (諸経費対象
角	₽析·考察			式	1	1式当り	明・権行の標本 成・優占種・餌生 物との関係等分 析費、分布特 性、海域特性、 漁場生産力等考 要表			B7 (測量調査
協	協議∙報告			式	1		打合せ協議	中間打合せ回数:	10	В7
底生生	∈物調査									
Ð	哥査準備			式	1		(プランクトン調 査 調査準備を 適用する)			В7
位	位置測量			式	1		(プランクトン調 査 調査準備を 適用する)			В7
庐	医生生物調査			式	1	1日当り (〇地点)	底生生物調査費	採取水深区分: 平均移動距離区分: 現場条件区分: 採取回数区分: 作業時間区分:	10m未満 1.0km未満 影響なし 1回 5km未満	В7
ā	式料運搬			式	1	1式当り	試料運搬費	往復平均距離区分:	50km未満	В7
5.	分析試験			式	1	1式当り	分析試験費			B7 (諸経費対象
角	解析・考察			式	1	1式当り	生物分析費、種 組成、優占種分 布特性、海域特 性等考察費			B7 (測量調査
協	協議∙報告			式	1		打合せ協議	中間打合せ回数:	10	B7
付着生	∈物調査									
訂	酒 查準備			式	1		(プランクトン調 査 調査準備を 適用する)			В7
位	位置測量			式	1		(プランクトン調 査 調査準備を 適用する)			В7
ŕ	计着生物調 査			式	1	1日当り(〇地点)	付着生物調査費	採取水深区分: 平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	10m未満 1.0km未満 影響なし :5km未満	В7
ā	式料運搬			式	1	1式当り	試料運搬費	往復平均距離区分:	50km未満	В7
5.	分析試験			式	1	1式当り	分析試験費			B7 (諸経費対象
角	¥析·考察			式	1	1式当り	種組成、優占種 分析、分布特性、水質・基質 等の関係およ質 の関係および調査個々の目的に 関する考察費			B7 (測量調査
- 1 ⊢	a議∙報告			式	!	 	いいしいかり	+	+	l

レベル1、	2, 3, 4	ν·	ベル5	単	数位	積算用単位 【計上数	レベル6	明示すべき積算条件	明示すべき積算条件	積算用
項目、工種	、種別、細別	規格	[記載例]	位	位	位】	積算要素	列水グ で収升本目	件 (記載例)	条件
藻場調:	査	1	T					T		
調	査準備			式	1		(プランクトン調 査 調査準備を 適用する)			В7
位:	置測量			式	1		(プランクトン調 査 調査準備を 適用する)			В7
藻	場調査			式	1	1日当り (Om)	藻場調査資料採 取	採取水深区分: 平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	10m未満 1.0km未満 影響なし :5km未満	В7
試	料運搬			式	1	1式当り	試料運搬費	往復平均距離区分:	50km未満	B7
分	析試験			式	1	1式当り	分析試験費			B7 (諸経費対象
解	析·考察			式	1	1式当り	種組成、優占 種、分布特性、 海域特性考察費			B7 (測量調査
協	議∙報告			式	1		打合せ協議	中間打合せ回数:	1回	B7
魚介類	調査									
調	査準備			式	1		(プランクトン調 査 調査準備を 適用する)			В7
位:	置測量			式	1		(プランクトン調 査 調査準備を 適用する)			В7
魚	介類調査			式	1	1日当り (〇地点)	魚介類調査資料 採取	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	1.0km未満 影響なし 5km未満	В7
試	料運搬			式	1	1式当り	試料運搬費	往復平均距離区分:	50km未満	В7
分	析試験			式	1	1式当り	分析試験費			B7 (諸経費対象
解	析•考察			式	1	1式当り	種組成、優占 種、分布特性、 海域特性考察費			B7 (測量調査領
協	議・報告			式	1		打合せ協議	中間打合せ回数:	10	B7
直接経	費	(水質調査 直	接経費を適用する	5)					•	B7
技術管:	理費	(深浅測量 技	術管理費を適用す	する)						В7
表測量費										
測量費										
諸経費										
調査費										
業務価格										

レベル	1、2、3、4	レ	ベル 5	単	数	積算用単位 【計上	レベル 6	明示すべき積算条	明示すべき 積算条件	積算用
項目、エ	種、種別、細別	規格	[記載例]	位	位	数位】	積算要素	件	(記載例)	条件
質調査業務										
直接調査										
直接	調査					4 🗆 🖟 12	<u></u>	湿度区人 .	50 + * #	1
	ボーリング			式	1	1日当り (m) 【0.1】	海上ボーリング費 (66mm,86mm,116mm)	深度区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	50m未満 影響なし 5km未満	H 5
						1日当り (m) 【0.1】	海上ボーリング費 (66mm,86mm,116mm)	深度区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	50m未満 影響なし 5km未満	H 5
						1m当り 【0.1】	土質ボーリング費 岩盤ボーリング費	深度区分: せん孔方向区分:	深度0~50m 鉛直下方	H 5
	原位置試験			式	1	1回当り	標準貫入試験 (海上)費	深度区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	50m未満 影響なし 5km未満	H 5
						1回当じ	標準貫入試験 (陸上)費			H 5
						1回当り	原位置ベーンせん断試験 (海上)費	深度区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	50m未満 影響なし 5km未満	H 5
						1回当り	原位置ベーンせん断試験 (陸上)費			別途積算 H 5
						1回当り	孔内水平載荷試験 (海上)費	深度区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	50m未満 影響なし 5km未満	H 5
						1回当り	孔内水平載荷試験 (陸上)費	載荷区分:	普通載荷	H 5
						1m当り 【0.1】	電気式静的コーン貫入 試験(海上)費	深度区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	50m未満 影響なし 5km未満	H 5
						1m当り 【0.1】	電気式静的コーン貫入 試験(陸上)費	深度区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	50m未満 影響なし 5km未満	H 5
						1m当り 【0.1】	P・S検層(海上)費	測定間隔区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	2m間隔 影響なし 影響無し	H 5
						1m当り 【0.1】	P・S検層(陸上)費	測定間隔区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	2m間隔 影響なし 影響無し	H 5
						1回当り	現場透水試験費	試験方法: 深度区分:	オーガー法 GL-10m以内	H 5
						1m当り 【0.1】	スウェーデン式 サウンディング費			H 5
						1m当り 【0.1】	オランダ式二重管コーン貫入試験費	区分:	20kN	H 5
						1m当り 【0.1】	ポータブルコーン貫 入試験費 砂置換法による密度	区分:	単管式	H 5 別途積算
						当り	試験費 球体落下試験[D値]			H 5 別途積算
						1点当り	費			別逐復昇 H5
	乱れの少ない 試料採取			式	1	1個当り	シンウォール サンプリング(海上) 費	深度区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	50m未満 影響なし 5km未満	H 5
						1個当り	ロータリー式 二重管サンプリング (海上)費	深度区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	50m未満 影響なし 5km未満	H 5
						1個当り		深度区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	50m未満 影響なし 5km未満	H 5
						1個当り	ロータリー式スリー ブ内蔵 二重管サンプリング (海上)費	深度区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	50m未満 影響なし 5km未満	H 5
						1本当り	シンウォールサンプ リング費			H 5
						1本当り	<u>リノク質</u> デニソンサンプリン グ費			H 5
						1本当り	ァ貝 トリプルサンプリン グ費			H 5
						10m当り 【0.1】	ピートサンプリング 費	深度区分:	5m以内	別途積算 H 5

ノベ	ル1、2、3、4	レ	ベル5	単位	数位	積算用単位 【計上	レベル 6	明示すべき積算条	明示すべき 積算条件	積算用
目、	工種、種別、細別	規格	[記載例]	位	位	数位】	積算要素	件	(記載例)	条件
	土質試験			式	1	(物理試験)				
						1個当り	土粒子の密度試験費			H 5
						1個当り	含水費試験費			H 5
						1個当り	粒度分析試験費	分析方法:	沈降+フルイ	H 5
						1個当り	液性限界試験費			H 5
						1個当り	塑性限界試験費			H 5
						1個当り	湿潤密度試験費			H 5
						1個当り	石の比重試験費			H 5
						(力学試験)				
						1個当り	一軸圧縮試験			H 5
						1個当り	三軸圧縮試験	規格: 土質:	非圧密非排水 粘性土	H 5
						1個当り	簡易圧縮試験			H 5
						1個当り	繰返し三軸試験			H 5
						1個当り	直接せん断試験	規格: 土質:	非圧密非排水 粘性土	H 5
						1個当り	圧密試験			H 5
						1個当り	透水試験			H 5
	報告書作成			式	1	(報告書作成	范 費)			
						1 式当り	試料整理とりまとめ			H 5
						1 式当り	断面図等の作成費			H 5
	業務成果品			式	1	1 式当り	業務成果品費			H 5
打	J合 _せ									
	打合せ			式	1	1 式当り	設計協議	中間打合せ:	1 回	H 5
坩	b盤情報データベース登	録検定費								
	地盤情報データベース 登録検定費			式	1	1 式当り				諸経費 対象外
直	ī接経費									
	(特許使用料等)			(式)	1		特許使用料			H 5
	(水道)			(式)	1		水道料			H 5
	(光熱・電力料)			(式)	1		光熱・電力料			H 5
	(その他)			(式)	1		その他経費			H 5

レベル	1、2、3、4	レ	ベル 5	単	数	積算用単位 【計上	レベル 6	明示すべき積算条	明示すべき 積算条件	積算用
項目、工	種、種別、細別	規格	[記載例]	位	位	数位】	積算要素	件	(記載例)	条件
間接調査										
間接	調査									
	準備			式	1	1 式当り	調査準備費			H 5
	位置測量			式	1	1地点当り	測量 (海上トランシット)	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	0.5km未満 影響なし 5km未満	H 5
						1 地点当り	測量 (海上トータルステー ション)	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	0.5km未満 影響なし 5km未満	H 5
						1 地点当り	測量(海上GPS)	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	0.5km未満 影響なし 5km未満	H 5
						1 km当り	測量(陸上)	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	0.2km未満 影響なし 影響なし	H 5
	(足場)			(式)	1	1 基当り	足場組立解体費 (スパッド台船)			H 5
						1箇所当り	(スパット日配) 海上足場設置・撤去 (単管足場)費	潜水士船の有無: 標識灯損料供用期間:	無 3日	H 5
						1箇所当り	スパッド台船設置費	引船運転時間: 水深区分: 足場損料供用期間 (日):	2時間運転 5mまで 5日 5日	H 5
						1箇所当り	スパッド台船撤去費	引船運転時間: 水深区分:	2時間運転 5mまで	H 5
						1箇所当り	スパッド台船移設費	引船運転時間: 水深区分:	2時間運転 5mまで	H 5
						1箇所当り	足場仮設 (陸上平坦足場)費			H 5
						1箇所当り	足場仮設 (陸上単管足場 (湿地足場))費			H 5
						1箇所当り	足場仮設 (陸上単管足場 (傾斜地足場))費	傾斜角度:	30 ° ~ 40 °	H 5
						1 式当り	損料(スパッド台船)	足場規格: 供用期間:	水深5m未満 3日	H 5
						1 式当り	損料(海上足場(単管 足場))	足場規格: 設置箇所数:	1~3m未満 2カ所	H 5
						1 式当り	作業船拘束費	引船規格: 拘束日数:	鋼D300ps 1日	H 5
	(運搬)			(式)	1	1 回当り	交通船運転			H 5
						1 回当り	交通車運転			H 5
						1回当り	機材運搬 (ボーリングマシンの み)費	機材等運搬区分: ボーリングマシン台 数: 往復平均距離区分:	機材等単独で運搬 1台 25km未満	H 5
						1 回当り	機材運搬 (スパッド台船)費			H 5
						1回当り	機材運搬 (海上単管足場)費			H 5
						1 式当り	試料運搬	乱さない試料数: 乱した試料数: 往復平均距離区分:	5試料 10試料 50km未満	H 5

	レ	ベル1、2、3、4	ν·	ベル5	単	数	積算用単位	レベル6	明示すべき積算条	明示すべき	積算用
		、工種、種別、細別	規格	[記載例]	位	位	【計上 数位】	積算要素	件 件	積算条件 (記載例)	条件
		(足場(鋼製櫓))	1,012	2 10 11110 3	(式)	1	1基当り	足場組立解体 (鋼製櫓)費		(40-4703)	H 5
							1箇所当り		鋼製櫓区分: 海上運搬距離区分: 足場損料供用期間(日): 標識灯損料供用期間(日):	高さ7m・重さ8.4t 8.2km以下 7日 7日	H 5
							1箇所当り	足場撤去(鋼製櫓)費	鋼製櫓区分: 海上運搬距離区分:	高さ7m・重さ8.4t 8.2km以下	H 5
							1箇所当り	足場移設(鋼製櫓)費	鋼製櫓区分: 海上運搬距離区分:	高さ7m・重さ8.4t 8.2km以下	H 5
							1式当り	損料(鋼製櫓)	供用日数:	3日	H 5
							1 式当り	作業船拘束費	作業船規格: 引船規格: 拘束日数:	ル−ン付台船80t吊 鋼D300ps 1日	H 5
		(運搬(鋼製櫓))			(式)	1	1 回当り	機材運搬(鋼製櫓)費			H 5
		(安全費)			(式)	1	1 式当り	安全(標識灯)費	標識灯規格: 本数: 供用日数:	型 1 本 3 日	H 5
							1 式当り	安全(浮標灯)費	浮標灯規格: 本数: 供用日数:	型 1 本 3 日	H 5
							1 式当り	安全(安全監視船)費	運転日数:	1日	H 5
		(水雷・傷害保険)			(式)	1	1式当り	水雷保険料	付保対象船舶: 保険期間: 対象隻数:	船 3ヶ月まで 1隻	H 5
							1 式当り	傷害保険料	対象人数: 保険期間:	1人 2ヶ月まで	H 5
		(借地料)			(式)	1	1 式当り	借地料			H 5
		(営繕費)			(式)	1	1式当り	営繕費			H 5
		(その他)			(式)	1	1 式当り	その他経費			H 5
		施工管理					1	I	T	Ī	
		(施工管理)			(式)	1	1式当り	施工管理費			H 5 0 1
		旅費交通費			1		T	Г	т	Г	
		(旅費交通費)			(式)	1	1 式当り	旅費交通費			H 5 0 0
純調	查費 諸経										
\vdash											
l i		等調査業務									
	791 171	解析等調査			式	1	1業務当り	既存資料収集・現地 調査			I 1
		解析等調査成果			式	1	1業務当り	資料整理とりまとめ (解析業務)			I 1
							1業務当り	断面図等の作成 (解析業務)			I 1
							1業務当り	総合的な解析 (解析業務)			I 1
	直接	経費						11			
		打合せ			式	1	1業務当り	打合せ協議	中間打合せ:	1 🛽	I 1
		(旅費交通費)			(式)	1	1 式当り	旅費交通費			I 1
直接	調査										
間接	調査	費									
	諸経	費									
解析	等調	査業務費									
調査	業務	費									